

## 取扱説明書

9V 型ワイドSVGA / Bluetooth® / USB / チューナー・DSP メインユニット  
**DMH-SF500**

ご購入いただきありがとうございます

- ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

### お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。

登録は弊社ホームページ「オーナーズリンク」にて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。

<https://car-users.pioneer.jp/>



なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。

必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

目次 (P5)

はじめに

初期設定と基本操作

ラジオを聴く /  
交通情報 (TI) を聴く

音楽を聴く /  
映像を見る /  
写真を見る

電話を使う

アプリを  
使う CarAVAssist  
Apple CarPlay  
Android Auto™

便利な  
機能 本機でスマホ操作  
天気予報を確認  
スマホの音声認識

設定とシステム情報

本機の接続 /  
取り付け

付録 故障かな?と思ったら  
メッセージ表示  
など

索引 (P106)

**DIUX**

Made for  
 iPhone




**Dolby**  
AUDIO

**carrozzeria**




# 安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに及ぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	<b>危険</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
	<b>警告</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	<b>注意</b>	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意(警告を含む)しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止(やってはいけないこと)の内容です。		

AV2-v3.1

## 接続・取り付け

### 警告



**本機の前面や通風口を塞いだり、紙やフロアマット、布で覆わない**  
放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

禁止



**DC24V車では使用しない**  
本機はDC12V⊖アース車専用です。DC24V車で使用すると火災や故障の原因となります。

禁止



**エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない**  
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。  
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

禁止

**取り付けやアース配線に、保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを使用しない**  
制御不能や発火、交通事故の原因となります。



禁止

**視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**

交通事故やケガの原因となります。

**電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない**

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

**本機は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない**

視界不良や本機がはがれて、事故の原因となります。

**車両メーカーが指定する禁止エリアや車両の操作を妨げる位置に、取り付けや配線をしない**

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

**適合車種以外には取り付けない**

交通事故やケガの原因となります。適合車種については、販売店にお問い合わせください。



強制

## エアバッグの動作を妨げないように、取り付け位置や角度の調整を行う

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。

車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

## 取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。

また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

## 説明書に従って接続・取り付ける

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

## コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

## コード類はしっかりと固定する

コードを固定する付属部品または市販部品を使用してください。ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、運転操作を妨げ事故の原因となります。また、乳幼児の首などに巻きつく危険があります。

**作業前はバッテリーの⊖端子を外す**  
＋と－経路のショートにより、火災、感電やケガの原因となります。

## パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

## 付属の部品を使用し、固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

## 取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

## 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。



強制

## 取り付け場所の汚れ(ごみ、ほこり、油)などを取り除き、しっかりと取り付ける

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

## モニター(タブレット)はハザードボタンやエアコン等のコントロールスイッチの操作、警告ランプや各種インジケータの視認を妨げないように取り付ける。

走行中の操作やランプの視認に支障があると交通事故の原因となります。



## 注意



禁止

## ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない

## 製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

## 直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

## 本機を不安定なところに取り付けない

落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

## コード類は途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となります。

## コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない

断線やショートによる火災や感電の原因となります。



禁止

## 水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けない

発煙や発火、故障の原因となります。



強制

## アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となります。

## アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水が侵入しないように配線する

雨水が車内に侵入すると、火災や感電の原因となります。

# 使用方法

## 警告



禁止

**画面だけを見ながらの運転はしない**  
必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

**大きな音量で使用しない**

警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

**ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

**液体で濡らさない**

発煙、発火、感電の原因となります。



分解禁止

**分解や改造をしない**

交通事故や火災、感電の原因となります。



禁止

**ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない**  
ケガや車両の変形および故障の原因となります。

**画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない**

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



強制

**実際の交通規制に従って走行する**  
ルート案内が実際の交通規制に反している場合があり、交通事故の原因となります。

**ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア）のヒューズを使用し、専門業者に依頼する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。ヒューズ交換は販売店などに依頼してください。

**夜間、トンネルなど暗い場所で使用する場合、製品の明るさは運転に支障のないように適切に調整する**

事故の原因となります。

## 注意



禁止

**本機は自動車用途以外で使用しない**  
発煙や発火、感電やケガの原因となります。



接触禁止

**スピーカーやアンプの放熱部に手を触れない**  
やけどの原因となります。



禁止

**本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない**  
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

**運転者は運転中に画像を注視しない**  
前方不注意となり交通事故の原因となります。

**可動部やメディア挿入口に手や指、異物を入れない**

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

## 異常時の問い合わせ

## 警告









強制

**万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する**

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

# 目次

本書の見かた .....	8	Wi-Fi <sup>®</sup> の設定と接続.....	24
本書の記載について.....	8	Wi-Fiの設定 .....	24
本書の見かた .....	8	Wi-Fiの接続 .....	24
はじめに .....	9	通信サービス利用規約および	
安全走行のために.....	9	プライバシーポリシーについて .....	26
バッテリー上がりを防ぐために .....	9	バックカメラ、リアモニター、	
液晶画面の正しい使いかた .....	9	ステアリングリモコンを	
電波に関するご注意.....	10	組み合わせたとき .....	26
USB 機器について .....	10	ラジオを聴く .....	27
iPhone について .....	11	ラジオの受信 .....	27
こんなことができます .....	12	バンドの切りかえ.....	27
本機を便利に使うには .....	13	放送局を選ぶ .....	27
各部の名称とはたらき .....	14	放送局の登録 .....	28
本機の電源について .....	14	交通情報 (TI) .....	28
初めて電源を入れるとき .....	15	iPhone / スマートフォンを	
スピーカーモード設定の変更 .....	15	USB接続して音楽を再生する .....	29
画面の基本操作について .....	16	再生を開始 .....	29
基本操作 .....	16	Bluetooth接続機器内の音楽を	
本機の画面について.....	17	再生する .....	31
ホーム画面 .....	18	AV プロファイルについて.....	31
通知画面 .....	20	再生を開始 .....	31
お気に入りの放送局画面 .....	20	USB機器内の音楽を再生する .....	34
ソース／アプリリスト画面 .....	21	本機に USB 機器を取り付ける .....	34
ソース／アプリリスト画面を表示する.....	21	本機から USB 機器を取り外す .....	34
ソース／アプリを選択する .....	21	再生を開始 .....	34
ソース／アプリ画面の共通操作 .....	21	USB機器内の動画／静止画を	
ソース／アプリを並べかえる .....	21	再生する .....	36
iPhone / スマートフォンと		AUX(外部入力)を使って映像／	
Bluetooth接続するとき .....	22	音声を再生する.....	37
Bluetooth の設定と接続.....	22		

電話を使う（ハンズフリー通話）... 38	各種設定をする..... 48
Phone メニュー ..... 38	設定画面の表示 ..... 48
電話のかけかた ..... 38	 システム設定 ..... 48
通話中の操作 ..... 40	 テーマ設定 ..... 52
受話音量の調節 ..... 40	 オーディオ設定 ..... 54
電話の受けかた ..... 40	 ビデオ設定 ..... 59
着信音量の調節 ..... 40	 通信設定 ..... 60
ハンズフリーエコー（残響音）の軽減 ..... 40	 カスタムメニュー ..... 60
	ワイド画面の拡大方法の変更 ..... 60
iPhone / スマートフォンアプリを 使って本機をカスタマイズする (CarAVAssist) ..... 41	本機のシステム情報を見る ..... 61
開始前の準備 ..... 41	システム情報画面の表示 ..... 61
データの転送 ..... 42	本機のファームウェアのバージョン ..... 61
本機のファームウェアの更新 ..... 42	本機の学習ステータス ..... 61
	ケーブルやリード線の接続及び 取り付けの確認 ..... 61
	本機のライセンス ..... 61
Apple CarPlayを利用する ..... 43	本機のファームウェアを バージョンアップする ..... 62
運転席位置の設定 ..... 43	
iPhone の接続 ..... 43	接続・取り付け上のご注意 ..... 64
音量調節 ..... 43	接続・取り付け部品の確認 ..... 64
分割画面の利用 ..... 43	
Android Autoを利用する ..... 44	車に本機を接続する ..... 65
運転席位置の設定 ..... 44	接続の前に知ってほしいこと ..... 65
スマートフォンの接続 ..... 44	システムの接続 ..... 66
Android Auto の自動起動設定 ..... 44	電源コードの接続 ..... 68
音量調節 ..... 45	外部アンプの接続 ..... 72
分割画面の利用 ..... 45	サブウーファースの接続 ..... 74
本機で iPhone / スマートフォンを 操作する (WebLink™) ..... 46	iPhone / スマートフォンの接続 ..... 76
WebLink を利用する ..... 46	
天気情報を確認する (Weather) ..... 46	車に本機を取り付ける ..... 77
	取り付けの前に知ってほしいこと ..... 77
iPhone / スマートフォンの 音声認識機能を使う ..... 47	本機取り付け ..... 78
iPhone の音声認識機能を使う (Siri) ..... 47	GPS アンテナの取り付け ..... 80
スマートフォンの音声認識機能を使う ..... 47	ハンズフリー通話用マイクの取り付け ..... 81
	動作を確認する ..... 82
	ディスプレイの角度と取り付け寸法 について ..... 83

付録.....	87
故障かな?と思ったら.....	87
こんなメッセージが表示されたら.....	89
保証書とアフターサービス.....	91
商標・著作権など.....	92
再生可能なメディアとファイルについて ...	95
用語解説.....	99
仕様.....	102
索引.....	106

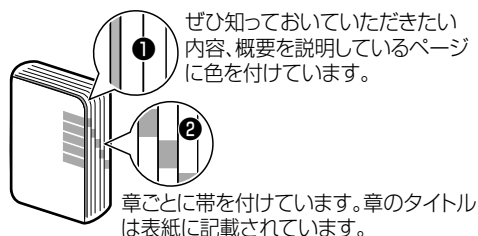
# 本書の見かた

## 本書の記載について

- 本書では便宜上、Android™ OS 搭載の端末を「スマートフォン」と表記しています。
- 本書では便宜上、Mass Storage Class で接続されている USB メモリーなどを「USB メモリー」と表記し、MTP 接続も含めて特に制限しない場合は「USB」または「USB 機器」と表記しています。
- 本書では「アプリケーションソフトウェア」を「アプリ」と表記しています。
- 本書に掲載しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

## 本書の見かた

### • 本書側面



### • 操作手順

1、2、3・・・

番号の順に操作すると、目的の機能を使うことができます。

### • 参照

「○○」(→PXX)または(→PXX)

参照していただきたい箇所を表記しています。

「○○」:参照箇所のタイトル情報を表記しています。

(→PXX):参照箇所のページを表記しています。

### • 注意

注意

機能を使う際の注意事項を表記しています。

### • メモ

メモ

操作手順の補足情報を表記しています。

### • 本体のボタン

ボタン、 ボタン、+/- (音量) ボタン

本機の左側のボタンを示しています。

### • 画面のアイコン

、、 など

画面に表示されるタッチキーを示しています。

### • 画面の文字列

ラジオ設定、時刻設定、テーマ設定など

タッチすることができる画面の文字列を示しています。

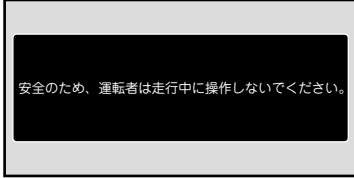


# はじめに

## 安全走行のために

パーキングブレーキのON / OFF、および車速を検知し、走行中に映像を見ることができないようになっています。

走行中は次のような画面が表示されます。



メッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

本機の操作は、安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

## 液晶画面の正しい使いかた

### ■ 取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障するおそれがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障するおそれがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

### ■ 液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合があります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をささぎってください。
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

### ■ LED バックライトについて

- LED バックライトの寿命は3万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。

### ■ お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布で拭き取ってください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

## 電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
  - 分解／改造すること。
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
  - 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声かとぎれたり、使えなくなる場合があります。また、相手の機器の動作に影響を与える場合があります。
  - 火災報知機・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、コンピューターなど）
  - 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
  - 自動制御機器・その他、Bluetooth 対応機器や VICS（道路交通網システム）
  - アマチュア無線局など

2.4 DS/OF/FH/XX 4

2.4 DS/OF/FH/XX 4  
①                      ②                      ③

- ① 「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「DS」、「OF」、「FH」、「XX」変調方式を表します。
- ③ 「4」想定される干渉距離（約 40 m）を表します。

## USB 機器について

- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

### ■ 本機との接続について

- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外（USB 扇風機など）は接続しないでください。
- USB 機器を本機に接続する際は、付属の USB 延長ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USB ハブを使用しての接続には対応していません。

### ■ 保管上のご注意

- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

### ■ 本機が対応する iPhone

- 本機は以下の iPhone に対応しています。本機で確認済みの iPhone のモデルは次のとおりです。これ以前のモデルについては保証できません。
  - iPhone 13 Pro Max
  - iPhone 13 Pro
  - iPhone 13
  - iPhone 13 mini
  - iPhone 12 Pro Max
  - iPhone 12 Pro
  - iPhone 12
  - iPhone 12 mini
  - iPhone SE (2nd generation)
  - iPhone 11 Pro Max
  - iPhone 11 Pro
  - iPhone 11
  - iPhone XR
  - iPhone XS Max
  - iPhone XS
  - iPhone X
  - iPhone 8
  - iPhone 8 Plus
  - iPhone 7
  - iPhone 7 Plus
  - iPhone SE (1st generation)
  - iPhone 6s
  - iPhone 6s Plus
- 最新の情報についてはカロッツェリアホームページ (<https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/ipod.html>) でご確認ください。
- 操作方法は、iPhone のモデルやソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- iPhone を接続するには、Lightning ケーブル - USB 変換ケーブル (例: 「CD-IU010」) が必要です。

#### ご注意

- iPhone は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPhone を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPhone は必ず固定してください。iPhone が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPhone の取り扱いについて詳しくは、iPhone の説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせて使用しているときに iPhone のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

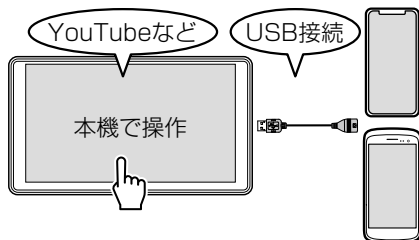
## こんなことができます

お持ちの iPhone / スマートフォンをつなぐことで、さまざまなエンターテインメントを楽しむことができます。音楽を聴いたり、映像を楽しんだり、お天気情報を知ることができます。

### 本機の大画面で iPhone / スマートフォンを操作したい

本機に iPhone / スマートフォンを接続して、Apple CarPlay または Android Auto を使用することによって、本機からタッチ、スワイプ、ドラッグなどの操作ができます。

また、WebLink 互換のアプリケーションを使用することによって、本機に接続した iPhone / スマートフォンの画面を本機に映して、YouTube などを大画面で楽しむことができます。



**Apple CarPlay を利用する** → P43

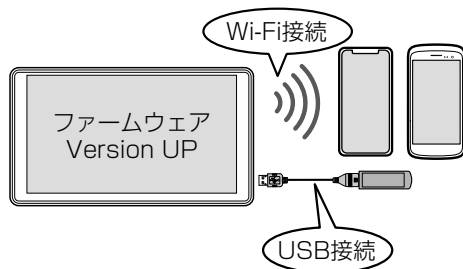
**Android Auto を利用する** → P44

**本機で iPhone / スマートフォンを操作する (WebLink)** → P46

### 本機の最新機能を利用したい

本機に USB メモリー、iPhone / スマートフォンなどを USB 接続または Wi-Fi 接続して、本機のファームウェアを更新することができます。ファームウェアを更新することによって、本機を最新の状態にすることができます。

Wi-Fi 接続でファームウェアを更新する場合は、デバイスに CarAVAssist をインストールする必要があります。



**Bluetooth の設定と接続** → P22

**iPhone / スマートフォンの接続** → P76

**スマートフォンアプリを使って本機をカスタマイズする (CarAVAssist)** → P41

### 今いる場所の天気を知りたい

本機を Wi-Fi ネットワークに接続することにより、インターネット経由で現在地付近の気象情報を表示することができます。

**Wi-Fi の設定と接続** → P24

**天気情報を確認する (Weather)** → P46



# 本機を便利に使うには

ここでは、利用目的別に本機の機能を紹介します。

目的の機能を利用する前に、各機能のページを参照して正しく利用してください。

## アプリを使いたい

アプリを利用して、本機の設定や操作ができます。

CarAVAssist を  
利用する  
→ P41

Apple CarPlay  
を利用する  
→ P43

Android Auto を  
利用する  
→ P44

iPhone / スマートフォンのアプリから、本機の操作や設定ができます。CarAVAssist は、本機をカスタマイズしたり最新にバージョンアップできる便利なアプリです。

## 便利な機能を使いたい

本機で iPhone / スマートフォンの操作や音声操作をしたり、天気情報の確認ができます。

本機で iPhone / スマート  
フォンを操作する  
(WebLink) → P46

天気情報を確認する  
(Weather)  
→ P46

iPhone / スマートフォン  
の音声認識機能を使う  
→ P47

本機に天気情報を表示したり、iPhone / スマートフォンの画面を表示して操作したり、マイク機能を使って iPhone / スマートフォンの音声認識機能を使うことができます。

## 別売品を使いたい

別売のバックカメラ、リアモニター、ステアリングリモコンを使うことができます。

バックカメラの  
設定  
→ P49

リアモニターの  
接続  
→ P66

ステアリング  
リモコンの設定  
→ P50

別売品の各設定、接続を行うことにより使用することができます。

## エンターテイメントを楽しみたい

Bluetooth 接続、または USB 接続によって本機と接続します。

Bluetooth Audio  
で再生する  
→ P31

USB 機器を接続  
して再生する  
→ P34

AUX(外部入力)  
を使って再生する  
→ P37

対応した Bluetooth 機器や USB 機器を本機に接続して音楽を聴いたり、動画や静止画を再生できます。

## ラジオや交通情報 (TI) を聴く / 電話を使いたい

ラジオ、交通情報 (TI) を聴けます。また、電話をハンズフリー通話で使えます。

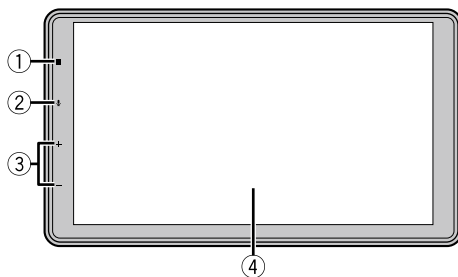
ラジオを聴く  
→ P27

交通情報 (TI) を  
聴く  
→ P28

電話を使う  
→ P38

FM、AM ラジオにはそれぞれ 2 つのバンドがあり、切りかえて使うことができます。また、電話をハンズフリーで通話できます。

## 各部の名称とはたらき





### ① ボタン

ホーム画面を表示します (→ P18)。  
ホーム画面表示中に押すと、直前に表示されていた AV ソース画面を表示します。  
長く押すと、交通情報 (TI) を受信します。もう一度長く押すと、交通情報 (TI) が OFF になります (→ P28)。

### ② ボタン

音声認識対応端末が Bluetooth または USB 経由で本機に接続されているときに押すと、音声認識操作ができます。  
長く押すと、Bluetooth 接続可能な機器を検索して表示します。

### ③ + / - (音量) ボタン

音量を調節します。画面上に表示される  /  で音量を操作できます。

### ④ 画面

液晶画面です。各ソース等の画面が表示されます。画面上でタッチ等の操作を行うことができます (→ P16)。

## 本機の電源について

本機に電源ボタンはありません。車のエンジンスイッチを ON (ACC を ON) にすると自動的に電源が入り、エンジンスイッチを OFF にすると切れます。

### ■ Power OFF モードについて

ソースの選択画面で Power OFF を選ぶと、ほぼすべての機能が停止した状態になります。本体ボタンのいずれかを押すと Power OFF モードは解除されます。

以下の操作によっても解除されます。

- ・車のシフトレバーを (R) にしてバックカメラを表示させたとき。
- ・本機の電源を入れ直したとき (ACC OFF から ON にしたとき)。

### ■ デモモードについて

デモモードは、各ソースや本機の機能を表示する機能です。

デモモードは、デモモードの設定がオン (→ P50) で目つぶらばく操作をしていないときに表示されます。本体ボタンや画面をタッチするとデモモードは解除されます。

工場出荷時はオンに設定されています。

デモモードは、本機を初めて接続したとき、およびバッテリー交換後、初めて車のエンジンスイッチを ON (ACC を ON) にしたときに表示されます。エンジンスイッチを OFF (ACC を OFF) することで、設定はオフになります。

# 初めて電源を入れるとき

## 1 エンジンスイッチをONにする

起動画面が数秒間表示され、初期起動時の設定画面が表示されます。

## 2 スピーカーモードを設定する

車の現在のスピーカー配置と接続方法に合わせてスピーカーモードを選択します。

右の参考例を元を選択してください。

スタンダードモード	フロント・リアの4スピーカーシステム、またはフロント・リア・サブウーファーの6スピーカーシステムを構築できます。
ネットワークモード	高・中・低音域のそれぞれの音域（バンド）を専用のアンプとスピーカーで再生する3-wayマルチアンプ・マルチスピーカーシステムを構築できます。

接続方法については、P68、72を参照してください。

## 3 OKにタッチする

免責画面が表示されます。

## 4 OKにタッチする

設定が完了し、ホーム画面が表示されます（→P18）。

## スピーカーモード設定の変更

スピーカーモード設定をセットした後は、工場出荷時の状態に戻さないと変更することはできません。実際の車のスピーカー構成などを変更してスピーカーモードを変更する必要があるときは初期化を実施して最初からやり直してください。

### ご注意

- 設定を初期化するとオーディオ設定が初期値に戻ります。

## 1 [ ] ボタンを押し、画面を左にスワイプする

## 2 [ ]、[ ] の順にタッチする

## 3 設定初期化にタッチする

## 4 初期化にタッチする

本機が再起動後、初期起動時の設定画面が表示されます。

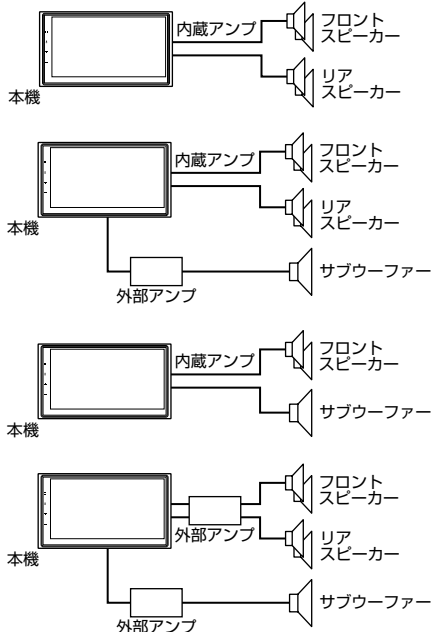
### スピーカーモード設定時の注意

スピーカーモードを設定するときは、スピーカーシステムに合わせてスピーカーモードを選択してください。

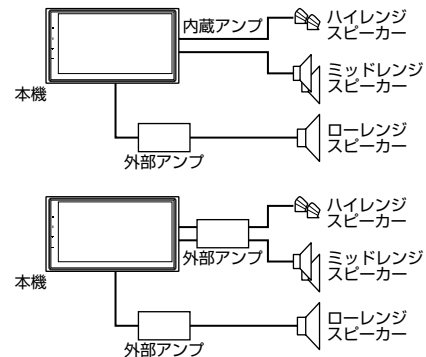
### ご注意

- ネットワークモードに対応したスピーカーシステムを接続している場合は、スピーカーモード設定をスタンダードモードに設定しないでください。スピーカーが破損するおそれがあります。

### スタンダードモードシステム例



### ネットワークモードシステム例



# 画面の基本操作について

## ご注意

- 安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

## 基本操作

本機はタッチパネルを使って操作します。

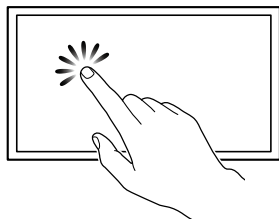
## ご注意

- 画面は指でタッチしてください。指以外でタッチすると、画面を傷つけるおそれがあります。

本書では、以下の用語を使って画面の操作を説明しています。

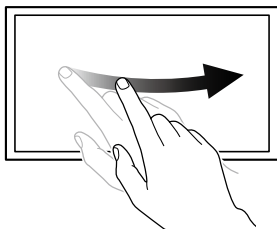
### • タッチ

指で軽く目的の箇所をたたく操作です。



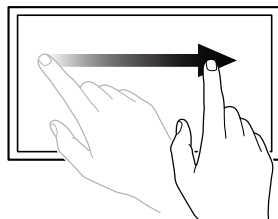
### • スワイプ

指を画面に触れたまま、指を滑らせる操作です。



### • ドラッグ

指を画面に触れたまま、目的の場所まで指をスライドする操作です。



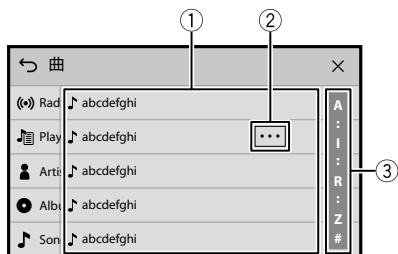
## ■ 共通のタッチキー

設定画面などで表示される、すべての操作に共通のタッチキーです。

	画面を閉じます。
	前の画面に戻ります。設定内容は保持されます。

## ■ リスト画面の操作

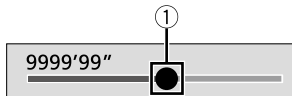
本機では、機能や目的に応じてリスト画面が表示されます。



- ① 目的の項目にタッチします。
- ② 選んだ項目名を全文字表示します。
- ③ 項目のインデックスです。タッチした文字の項目へ移動します。



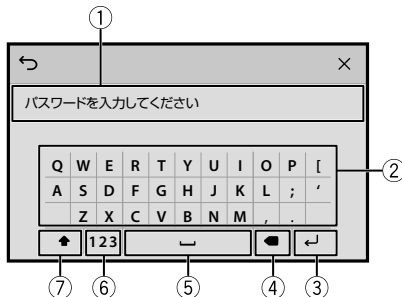
## ■ タイムバーの操作



- 再生したい時間までドラッグします。指を離れた位置（時間）から再生されます。再生時間は、タイムバーに合わせて表示します。

## ■ 文字の入力

本機の文字入力は、QWERTY キーボード方式です。文字にタッチして入力します。フリック入力もできます。



- 入力した文字を表示します。
- タッチして文字を入力します。入力した文字は①のエリアに表示されます。
- 入力した文字を確定します。
- カーソル左側の文字を 1 文字削除します。
- スペースを入力します。
- ひらがな／カタカナ／アルファベット／数字／記号を切りかえます。
- 大文字と小文字を切りかえます。

初期設定と基本操作

## 本機の画面について

■ ボタンを押すとホーム画面が表示されます。ここから様々な画面を表示することができます。ここでは、ホーム画面とホーム画面をスワイプして表示される画面について説明します。

通知画面  
(→P20)



ホーム画面  
(→P18～19)



ソース／アプリリスト画面  
(→P21)



お気に入りの放送局画面

(→P20)

\* 画面は一例です。

## ホーム画面

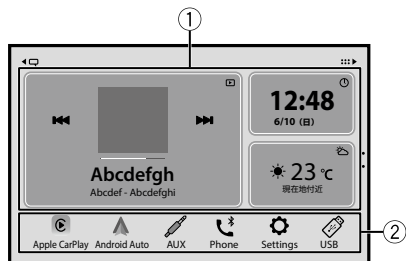
ホーム画面には「ウィジェットエリア」と「お気に入りソース／アプリエリア」があります。

ホーム画面のレイアウトは、変更することができます。

CarAVAssist を使用すると、Bluetooth 接続された機器のホーム画面の壁紙やウィジェット、お気に入りのアイコンのレイアウトを本機と同期させることができます。この機能を使用するには、機器に CarAVAssist をインストールする必要があります (→ P41)。

### ご注意

- 画面操作は、安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。



\* 画面は一例です。

- ① ウィジェットエリア**  
タッチすると、ウィジェットに配置されたソース／アプリ画面を表示します。  
長くタッチすると、ウィジェットをカスタマイズできます。カスタマイズ方法については、「ウィジェットエリアのカスタマイズ」を参照してください (→ P19)。
- ② お気に入りソース／アプリエリア**  
タッチすると、選択したソース／アプリ画面を表示します。  
よく使うソース／アプリのアイコンを配置すると便利です。

## ■ ウィジェットについて

ホーム画面上でウィジェットを見ることで表示されている各ソース、およびアプリ画面の内容を確認できます。

## ■ ウィジェットエリアのカスタマイズ

ウィジェットエリアを長くタッチすると、ウィジェットのカスタマイズができるようになります。

ウィジェットエリアにウィジェットは4つまで配置できます。



\*画面は一例です。

①	<b>ウィジェットエリア</b> お好みの位置にウィジェットを配置できます。 よく使うウィジェットを、リストエリア(②)から選び、ウィジェットエリア(①)へドラッグします。 ウィジェットエリアに空きがない場合は、ウィジェットを入れかえてください。
②	<b>リストエリア</b> 選択可能なウィジェットが表示されます。 左右にスワイプすることで、表示されていないウィジェットを確認することができます。
	ウィジェットのサイズを変更できます。 ウィジェットエリアのウィジェットに長くタッチすると角に●(③)が表示され、●(③)をドラッグして変更したいサイズにします。
	ウィジェットのカスタマイズを終了します。

## ウィジェットを入れかえる

- 1 ボタンを押し、ウィジェットエリアを長くタッチする  
ソース/アプリの一覧が表示されます。
- 2 ウィジェットエリアから移動したいウィジェットを、リストエリアへドラッグする
- 3 ウィジェットエリアへ移動したいウィジェットを、リストエリアからウィジェットエリアへドラッグする
- 4 配置が完了したら にタッチする

## ■ お気に入りソース/アプリエリア

よく使うソース/アプリをお気に入りソース/アプリエリア(→P18)に配置したり、画面配置や並び順を変更できます。

## お気に入りソース/アプリエリアの配置を変更する

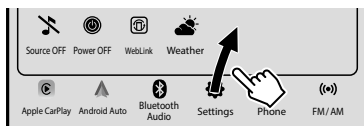
- 1 ボタンを押し、お気に入りソース/アプリエリアを長くタッチする  
ソース/アプリの一覧が表示されます。
  - 2 にタッチする
  - 3 **アイコン配置:下(画面下配置)** または **アイコン配置:上(画面上配置)** を選ぶ
  - 4 配置が完了したら にタッチする
- ## アイコンの並び順を変更する

- 1 ボタンを押し、お気に入りソース/アプリエリアを長くタッチする  
ソース/アプリの一覧が表示されます。
- 2 アイコンを配置したい箇所へドラッグする
- 3 配置が完了したら にタッチする

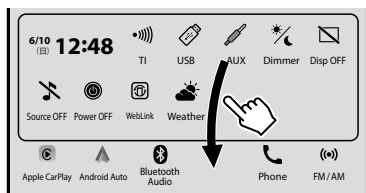
## ■ 表示したいお気に入りソース/アプリエリアのアイコンを変更する

お気に入りソース/アプリエリアには6つまで配置できます。 (Apple CarPlay アイコン) と (Android Auto アイコン) は、お気に入りソース/アプリエリアからソース/アプリの一覧に戻すことはできません。

- 1 ボタンを押し、お気に入りソース/アプリエリアを長くタッチする  
ソース/アプリの一覧が表示されます。
- 2 お気に入りソース/アプリエリアから入れかえたいアイコンをソース/アプリの一覧にドラッグで戻す



### 3 ソース／アプリの一覧から、お気に入りソース／アプリエリアに表示させたいアイコンを空いたエリアにドラッグする



### 4 配置が完了したら **×** にタッチする

#### 通知画面

iPhone / スマートフォンにインストールされているアプリからの通知を受信します。



- 通知機能は、CarAVAssist がインストールされている iPhone / スマートフォンに、Bluetooth 接続する必要があります。Bluetooth 接続の詳細については、「Bluetooth 機器を登録／接続する」(→ P22) を参照してください。

#### 通知画面



- ① タッチして、通知の詳細を表示します。

#### お気に入りの放送局画面

よく使う放送局を、お気に入り画面に表示することができます。

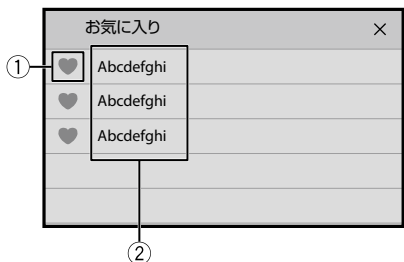
登録方法については、「お気に入り画面に放送局を登録する」を参照してください (→ P28)。

#### お気に入り画面



- ① お気に入りの放送局を表示します。タッチした放送局を選局します。
- お気に入りの放送局をリスト表示します。(リスト画面参照)
- お気に入りリストに放送局が 4 つ以上ある場合に、お気に入りの放送局を更新します。タッチするとお気に入りリストの次の 3 局を表示します。

#### リスト画面



- ① お気に入りの放送局へ登録／削除します。
- ② 受信可能な放送局を表示します。タッチした放送局を選局します。

# ソース／アプリリスト画面

## ソース／アプリリスト画面を表示する

- 1 ■ ボタンを押し、画面を左にスワイプする  
ソース／アプリリスト画面が表示されます。

### ソース／アプリリスト画面



- ① **ソースリスト**  
タッチしたアイコンのソースを表示します。
- ② **Wi-Fi 接続**  
タッチすると、Wi-Fi 設定画面が表示されます (→ P24)。
- ③ **Bluetooth 接続端末**  
Bluetooth 接続しているときにタッチすると、ハンズフリー可能な機器のリストを表示します。Bluetooth 接続していないときにタッチすると、検索を開始または機器選択画面を表示します。  
☎メモ  
• Apple CarPlay または Android Auto を実行しているときは、本機に接続されている選択できる端末リストが表示されます。
- ④ **アプリリスト**  
タッチしたアイコンのアプリが表示されます。

## ■ サポートするソースとアプリ

本機は以下のソースおよびアプリに対応しています。

- ラジオ (→ P27)
- 交通情報 (TI) (→ P28)
- USB (→ P34、36)

以下のソースおよびアプリは、本機以外の機器と接続することで使用できます。

- Bluetooth Audio (→ P31)
- AUX (→ P37)
- Weather (→ P46)

## ソース／アプリを選択する

- 1 ■ ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2 選択したいソースまたはアプリのアイコンにタッチする

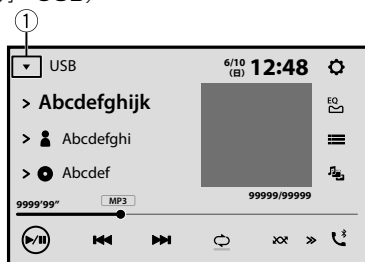
## ☎メモ

- Source OFF は AV ソースのときのみ操作可能です。
- Source OFF を選択すると AV ソースは終了します。
- Power OFF を選択すると、本機のほとんどの機能がオフになります。  
以下の場合、Power OFF モードは解除されます。
  - 車がロック中に、リアビューカメラから映像が入力されたとき
  - 本機のボタンを押したとき
  - エンジンスイッチのオン／オフを切りかえたとき (ACC オフ／ACC オン)

## ソース／アプリ画面の共通操作

- 1 ■ ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2 選択したいソースまたはアプリのアイコンをタッチする

Source OFF を選択すると、AV ソースは終了します。  
(例：USB)



AV ソース操作画面で表示される共通のタッチキーには以下のものがあります。

①	ソースとアプリのリストを表示します。
	設定画面を表示します (→ P48)。
	イコライザーカーブを切りかえます (→ P56)。
	ハンズフリー通話をします (→ P38)。

## ソース／アプリを並べかえる

ソースはお好みの順番で並べかえることができます。

- 1 ソース画面の▼をタッチする
- 2 画面上にタッチする
- 3 ソース／アプリを移動させたい位置までドラッグする  
ソース／アプリの順番が変わります。

## Bluetooth の設定と接続

ハンズフリー機能や Bluetooth Audio 機能を利用するためには、機器を本機に Bluetooth 接続します。

また、CarAVAssist のデータ転送にも使用します。

### ■対応する Bluetooth プロファイル

本機のプロファイルは仕様を参照してください(→P104)。

・HFP (Hands Free Profile) とは、ハンズフリー通話するためのプロファイルです。

・SPP (Serial Port Profile) とは、シリアル通信するためのプロファイルです。

#### 📌メモ

・Bluetooth 接続ができないときは、「故障かな? と思ったら」(→P87)を参照してください。

### ■ Bluetooth 機器を登録 / 接続する

・本機は 5 台の Bluetooth 機器を登録できます。

・すでに 5 台登録している場合は、登録済の Bluetooth 機器を削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。削除する場合は、**はい** をタッチしてください。他の Bluetooth 機器を削除する場合は**機器一覧**をタッチして一覧から削除してください。

・登録した 5 台のうち、電話機能として同時に 2 台の Bluetooth 機器を接続することができますが、Bluetooth Audio 機器として接続できるのは常に 1 台です。

## 1 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

## 2 Bluetooth 機器を操作して Bluetooth 機器一覧画面を表示する

## 3 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

## 4 、 の順にタッチする

## 5 機器登録 / 削除 にタッチする

リスト画面が表示されます。

リスト画面に接続したい Bluetooth 機器がすでに表示されている場合は、手順 7 に進みます。

## 6 にタッチする

周辺の Bluetooth 機器を自動的に探します。

Bluetooth 機器が見つかったら、リスト表示されます。

## 7 登録する Bluetooth 機器名のとらに にタッチする

#### 📌メモ

・CarAVAssist と接続するには、機器名をタッチしてください。

## 8 Bluetooth 機器を操作してペアリングを許可する

#### 📌メモ

・スマートフォンをお使いの場合は、電話帳へのアクセス許可を求めるメッセージがステータスバーにのみ表示されることがあります。その場合は、ステータスバーを下にドラッグして、通知パネルを表示して操作してください。

## 9 **はい** にタッチする

ペアリングが完了します。

ペアリングが完了すると、自動的に本機と Bluetooth 機器との接続が開始されます。

**Bluetooth Audio 機器を再生する場合 (→P31)**

**電話を使う場合 (ハンズフリー通話) (→P38)**

#### 📌メモ

・一度接続が完了した Bluetooth 機器は、本機に登録され、その後の接続に全て失敗しても次回からリスト表示されます。

・本機は Bluetooth 接続でハンズフリー通話の電話機 2 台を同時に接続することができます。

・2 台の Bluetooth 機器がすでに HFP により接続されているとき、新たに接続しようとしている機器が HFP 接続機器だった場合は、先に接続していた 2 台の機器のうち最初に接続していた方を切断して、新たな機器を代わりに接続します。

・Bluetooth 接続完了まで 30 秒から 1 分程度かかります。

### 2 台の機器を HFP 接続中のときの Bluetooth Audio 機器の接続

HFP 接続に対応した機器 2 台の HFP 接続を維持したまま、3 台目を Bluetooth Audio 機器として接続したい場合は、AV ソース画面で機器切りかえをするか、Bluetooth 機器側から接続してください。

## ■登録機器を削除する

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする


2 、 の順にタッチする

3 機器登録 / 削除 にタッチする

4 削除したいBluetooth機器名の右側にある  にタッチする

5 はい にタッチする

リスト画面から Bluetooth 機器名が削除されます。


6  にタッチする

設定が終了します。

## ■Bluetooth の設定をする

### ご注意







・パーキングブレーキが解除されている場合は操作できません。安全な場所に車を停めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

## 3 Bluetooth設定にタッチする

Bluetooth 設定画面が表示されます。以下の各設定内容を確認して、必要に応じて設定をしてください。

自動接続	<p>本機と Bluetooth 機器の自動接続を設定できます。</p> <p>タッチするごとに、オン⇄オフが切りかわります。</p> <p><b>オン</b>：最後に HFP 接続した Bluetooth 機器に自動で HFP 接続します。</p> <p><b>オフ</b>：自動接続されません。</p> <p> <b>メモ</b></p>
自動接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動接続される順番は、本機に登録された順になります。</li> <li>2 台の HFP 機器を自動的に接続した場合は、最初に接続された機器が Phone メニューの操作対象になります。</li> <li>自動接続をオンに設定していても、Bluetooth 機器の状況によっては接続できないことがあります。</li> <li>自動接続はハンズフリー接続機器のみ設定できます。</li> <li>Bluetooth Audio 機器は自動接続がオフの場合でも、自動接続されます。</li> </ul>
自機検出	<p>Bluetooth 機器側から周辺の機器をサーチした際に本機を検出できるようになります。</p> <p>タッチするごとに、オン⇄オフが切りかわります。</p> <p><b>オン</b>：周辺の Bluetooth 機器側から、本機を検出できるようになります。</p> <p><b>オフ</b>：周辺の Bluetooth 機器側から、本機を検出しなくなります。</p> <p> <b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定をオフにしても、Bluetooth 機能は使用できます。</li> </ul>
パスキー	<p>本機のパスキーを変更できます。</p> <p>パスキーを入力し、 にタッチします。</p> <p> <b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>C (クリア) にタッチすると、入力した番号を消去します。</li> <li>パスキーは、8 桁まで入力できます。</li> </ul>
自機情報	<p>本機の自機名称や BD アドレスを確認できます。</p>
自動受話	<p>かかってきた電話に自動応答するかしないかを設定できます。</p> <p><b>オン</b>：着信5秒後に自動で通話できます。</p> <p><b>オフ</b>： をタッチ後、通話ができます。</p> <p> <b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一方が通話中に、もう一方にかかってきた着信には自動受話機能は動きません。</li> </ul>

Ring Tone	Bluetooth 機器側の着信音がオフの場合、本機の着信音を使うかどうかを設定できます。 タッチすることにより、オン⇄オフが切りかわります。 <b>オン</b> ：本機の着信音を使用します。 <b>オフ</b> ：着信音は鳴りません。
姓名変換	姓名の順序を入れかえます。
Bluetooth メモリクリア	本機に登録された Bluetooth 機器の電話帳関連情報等をクリアできます。 <b>クリア</b> にタッチし、「クリアしてよろしければ OK を押してください。」と表示されたら <b>OK</b> をタッチしてください。クリアが開始します。 完了すると「クリアしました。」と表示されます。 <b>ご注意</b> ・クリア中は車のエンジンスイッチを OFF (ACC OFF) にしないでください。
音質設定	Bluetooth Audio の音質を設定します。設定をタッチしてください。 <b>音質優先</b> ：高音質で再生します。 <b>接続性優先</b> ：通常の音質で再生します。 <b>メモ</b> ・高音質で再生しているときに音が途切れる等の症状があった場合は、接続性優先に切りかえてください。

#### 4 **X** にタッチする

設定が終了します。

### ■ Bluetooth 機器を切りかえる

Bluetooth 機器を複数台登録した場合、切りかえて使用できます。

#### 1 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

#### 2 **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする

#### 3 **⚙️**、**📶** の順にタッチする

#### 4 **機器登録 / 削除** にタッチする

#### 5 切りかえたい Bluetooth 機器名の下にある **📶** にタッチする

選択した Bluetooth 機器への接続を行います。

## Wi-Fi® の設定と接続

Weather などの機能を使用するために Wi-Fi 接続します。

### ご注意

- ・Wi-Fi で使用時の通信料は、お客様のご負担となります。
- ・スマートフォンを接続する場合、スマートフォン側の通信を使用するため、スマートフォンの通信料がお客様のご負担となります。

## Wi-Fi の設定

#### 1 **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする

#### 2 **⚙️**、**📶** の順にタッチする

#### 3 **Wi-Fi 設定** にタッチする

以下の各設定内容を確認して、必要に応じて設定をしてください。

Wi-Fi	Wi-Fi 接続のオン / オフを切りかえます。 オンに切りかえると、Wi-Fi 接続が利用可能な状態になります。
アクセスポイント設定	Wi-Fi アクセスポイントを設定します (→ P25)。
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	IP アドレスを表示します。

#### 4 **X** にタッチする

設定が終了します。

### ご注意

- ・パーキングブレーキが解除されている場合、一部機能は操作できません。安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

## Wi-Fi の接続

#### 1 **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする

#### 2 **⚙️**、**📶** の順にタッチする

#### 3 **Wi-Fi 設定** にタッチする

#### 4 **Wi-Fi** をオンに設定する

#### 5 **アクセスポイント設定** にタッチする



## 6 🔍 にタッチする

接続可能な端末またはアクセスポイントが表示されます。

## 7 接続したい端末またはアクセスポイントにタッチする

パスワードが必要な場合は、パスワード入力画面が表示されます。

## 8 パスワードを入力し、**接続**にタッチする

「アクセスポイントに接続しました」と表示され Wi-Fi に接続されます。

本機を初めて Wi-Fi 接続したときには、「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」への同意画面が表示されます。表示された場合は手順 9 に進んでください。

## 9 規約を確認して**次へ**にタッチする

次の規約画面が表示されます。

### 📝メモ

- 利用規約の表示枠内の画面を下から上にスワイプするか、表示枠の右端にあるスクロールバーを上から最下部に移動しながら規約を確認してください。最下部に移動すると**次へ**にタッチ可能になります。
- 最後の規約画面を表示するまでチェックボックスは有効になりません。

## 10 手順9を繰り返す

## 11 最後の規約画面で「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシーに同意します」のチェックボックスをタッチしてチェックを入れる

## 12 決定にタッチする

### 📝メモ

- インターネットを経由したサービスを利用するには、「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」に同意する必要があります。
- 同意しない場合は、サービスを利用できない場合があります。「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」は、システム設定の**利用規約 / プライバシー**から変更することもできます (→ P26)。

## ■ アクセスポイントを設定する

Wi-Fi の接続先であるアクセスポイントの設定を行います。

## 1 📄 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

## 2 ⚙️、📶 の順にタッチする

## 3 Wi-Fi設定にタッチする

## 4 アクセスポイント設定にタッチする

登録済みアクセスポイント一覧画面が表示されます。

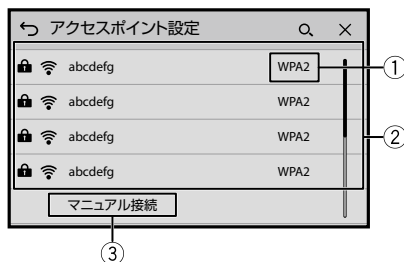
### 登録済みアクセスポイント一覧画面




①	登録済みの端末名を表示します。アクセスポイント名にタッチして、接続します。また接続中のアクセスポイント名にタッチすると、接続が切断されます。
	タッチして、ネットワーク接続の自動/手動を切りかえます。
	本機に登録したアクセスポイントが複数ある場合に、自動接続する端末の優先度を変更できます。優先順位を変更したい位置へ端末名をドラッグし、にタッチします。
	アクセスポイントを検索します。
	アクセスポイントを削除します。

### アクセスポイント追加設定画面

🔍 をタッチして検索すると下記の画面が表示されます。



①	Wi-Fi のネットワークセキュリティタイプです。
②	接続可能なアクセスポイントを表示します。表示されているアクセスポイント名をタッチして接続します。パスワードが必要な場合は、パスワード入力画面が表示されます。

③	表示されていないネットワークがある場合、接続したいネットワークのネットワーク名 (SSID)、セキュリティ、パスワードを入力して手動で接続できます。
	接続可能なアクセスポイントを再検索します。

## 通信サービス利用規約および プライバシーポリシーについて

本機が Wi-Fi 機能を利用して通信可能な状態になると「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」の画面を表示します。

同意いただくことにより、Wi-Fi を使った通信サービスが利用できます。同意を行う手順については、「Wi-Fi の接続」の手順 9 以降を参照してください (→ P25)。

また、すでに同意している場合、行った同意を取り消すこともできます。

### ■ 同意を取り消す

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 利用規約/プライバシーにタッチする

4 取消にタッチする

「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシーに同意します」のチェックボックスからチェックが外れます。

5 決定にタッチする

6 はいにタッチする

## バックカメラ、リアモニター、 ステアリングリモコンを 組み合わせたとき

本機では別売のバックカメラ、リアモニター、ステアリングリモコンを接続して利用することができます。利用には準備や設定が必要になります。

それぞれの準備や設定については次の内容をご覧ください。

バックカメラ	「バックカメラの準備」(→ P26)。
リアモニター	「リアモニターの準備」(→ P26)。
ステアリングリモコン	「ステアリングリモコンの設定」(→ P50)。

### ■ バックカメラの準備

別売のバックカメラユニットを接続すると、車両後退時の後方映像を本機のディスプレイに表示できます。

あらかじめ、バック信号線の接続 (→ P70) と、カメラ設定 (バックカメラ入力、カメラ極性設定、駐車アシスト線表示設定、駐車アシスト線調整) (→ P49) を行ってください。

#### ご注意

・バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

1 車両のシフトレバーを R (リバース) の位置にする

#### メモ

・シフトレバーを R (リバース) 以外の位置にすると、バックカメラの映像が消えます。

### ■ リアモニターの準備

本機に別売のリアモニターを接続すると、映像ソースを後部座席でも楽しめます。

リアモニターに表示できる映像は、以下のとおりです。

- ・ WebLink
- ・ USB 機器内の動画
- ・ AUX

#### ご注意

・タッチキーや操作画面は表示されません。  
・リアモニターには、パーキングブレーキの ON / OFF に関係なく映像が表示されます。リアモニターは、走行中に運転者が映像を見ることができない位置に設置してください。

#### メモ

・音声だけのソースを再生しているときは何も表示されません。

# ラジオを聴く

## ラジオの受信

1 **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 **FM/AM** にタッチする

ラジオ画面が表示されます。

### 代表的な画面



### 使用する主なタッチキー

1	プリセットチャンネルを選びます (→ P27)。
6	長くタッチすると、現在の周波数をチャンネルに保存します。
>	プリセットされた放送局の周波数を表示します。 登録されているプリセットチャンネルを順番に表示します。
FM1 AM1	バンドを切りかえます。 タッチすることにより、バンドが切りかわります。 FM1 ⇄ FM2 AM1 ⇄ AM2 (→ P27)
BSM	BSM を実行します (→ P28)。
< >	周波数を順に切りかえます。 タッチし続けてから離すと、現在の周波数から最も近い放送局を自動的に探します。

## バンドの切りかえ

FM、AM にはそれぞれ 2 つのバンドがあり、各バンドに切りかえることができます。

1 **FM1** または **AM1** にタッチする

タッチすることにより、以下のように切りかわります。

FM1 (バンド 1) ⇄ FM2 (バンド 2)

AM1 (バンド 1) ⇄ AM2 (バンド 2)

### メモ

・バンド 1 とバンド 2 を切りかえて使うことで、より多くの放送局を登録できます。例えば、バンド 1 には、ふだんよく聴く放送局を登録しておきます。旅行などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド 2 に切りかえてベストステーションズメモリー (→ P28) を行うと便利です。

## 放送局を選ぶ

放送局やチャンネルの選局は、マニュアル選局とプリセット選局があります。プリセット選局とは、本機に登録されている放送局(プリセットチャンネル)から選局する方法です。プリセットチャンネルは、バンドごとにそれぞれ 6 局まで登録できます。

### ■ マニュアル選局

1 **◀/▶** にタッチする

周波数が切りかわります。

### メモ

・**◀/▶** にタッチし続けてから離すと、現在の周波数から最も近い放送局を自動的に探します。

### ■ プリセット選局

1 **1 ~ 6** にタッチする

選んだ放送局を受信します。

### ■ ラジオの放送局名を選ぶ

受信中の周波数に対して、放送局名を選んで表示させることができます(工場出荷時の状態では放送局名は表示されません)。一度、放送局名を設定した後も別の放送局名に変更できます。

1 **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 **⚙**、**✕** の順にタッチする

3 **AVソース設定** にタッチする

4 **ラジオ設定** にタッチする

5 **放送局名選択** にタッチする

放送局名の設定がない場合は「設定無し」と表示され、「設定無し」を押すとリスト表示(放送局名一覧)されます。

## 6 放送局名一覧から、放送局名を選ぶ

選んだ放送局名に変更されます。



- ・本機に登録されていない放送局名は表示できません。
- ・選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていない場合、「データ無し」と表示されます。

### 放送局の登録

#### ■ 自動でプリセットチャンネルを登録する

BSMは、受信状態の良い放送局を探して、プリセットチャンネルに自動的に登録する機能です。

#### 1 **FM1** または **AM1** にタッチして、登録したいバンドを選ぶ

#### 2 **BSM** に長くタッチする

BSMが始まります。

登録が完了すると、プリセットチャンネル1に登録された放送局を受信します。



- ・BSMとは、ベストステーションズメモリーの略です。
- ・登録動作中に**Cancel**にタッチすると、BSMを中止できます。
- ・受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、以前に登録した放送局が残ることがあります。

#### ■ 手動でプリセットチャンネルを登録する

バンドごとに6局ずつ登録できます。お好みの放送局をお好みの順番で登録できます。

#### 1 **FM1** または **AM1** にタッチして、登録したいバンドを選ぶ

#### 2 **◀/▶** にタッチして、登録したい放送局を受信する

#### 3 お好みのプリセットチャンネルに長くタッチする

選んだ番号に周波数が表示され、登録が完了します。

#### ■ お気に入り画面に放送局を登録する

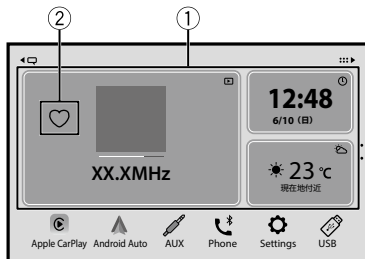
よく使う放送局を、お気に入り画面に登録することができます(→P20)。

#### 1 ラジオ画面で登録したい放送局を受信する

## 2 **■** ボタンを押す

## 3 ウィジェットエリアの♡にタッチする

♡の色がピンク色になると登録が完了します。



- ① ウィジェットエリアです。
- ② お気に入りの放送局へ登録/削除します。削除する場合、タッチするとピンク色から元の色に変わります。

## 交通情報 (TI)

高速道路などで放送されている交通情報 (TI) ラジオの周波数を簡単な操作で切りかえることができます。

#### 1 **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする

#### 2 **■** にタッチする

前回受信した周波数と同じ周波数の交通情報 (TI) を受信します。



- ・受信をやめるときは、**■** ボタンをもう一度長く押しします。

#### 3 **◀/▶** にタッチして、周波数を切りかえる

**1620 kHz** ⇄ **1629 kHz**


#### 4 **+ / -** (音量) ボタンを押して、音量を調節する


交通情報 (TI) を受信しているときに音量を調節すると、交通情報 (TI) 用の音量として設定できます。

# iPhone / スマートフォンを USB 接続して音楽を再生する

ここでは、本機と iPhone / スマートフォンを USB 接続して Apple CarPlay または Android Auto を使って再生する方法を説明しています。

iPhone / スマートフォンを Bluetooth 接続して音楽を再生する場合は、「Bluetooth 接続機器内の音楽を再生する」(→ P31) を参照してください。

Apple CarPlay のアプリ (  ) から再生する場合は、「Apple CarPlay を利用する」の「iPhone の接続」(→ P43) を参照してください。

Android Auto のアプリ (  ) から再生する場合は、「Android Auto を利用する」の「スマートフォンの接続」(→ P44) を参照してください。

## ご注意

- iPhone / スマートフォンとヘッドホン / イヤホンの接続を切ってから、本機に接続してください。接続を切らず本機と接続するとノイズが発生する場合があります。

## メモ

- iPhone のモデルやデータ量によっては、再生開始までに時間がかかる場合があります。
- Apple Music の詳細については、次のサイトを参照してください。  
<https://www.apple.com/jp/music/>

## 再生を開始

### 1 iPhone / スマートフォンを本機に USB で接続する

iPhone を接続する場合 (→ P76)

スマートフォンを接続する場合 (→ P76)

### 2 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

### 3 ソースリストに表示されている以下のアイコンにタッチする

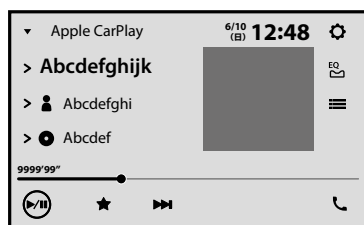
iPhone の場合 :  Apple CarPlay

スマートフォンの場合 :  Android Auto

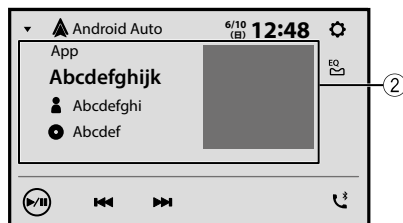
#### 代表的な画面 (Apple CarPlay)



#### 代表的な画面 (Apple Music のラジオ)
















#### 代表的な画面 (Android Auto)



音楽を聴く / 映像を見る / 写真を見る

## 使用する主なタッチキー

①*	曲情報を表示します。 iPhone オーディオ再生中のときには、リストを表示して曲を探します。
②	曲情報を表示します。
	再生を一時停止します。 一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
	前のファイルを選択できます。
	次のファイルを選択できます。
	タッチするごとに、リピート再生する範囲を切りかえます。
*	 : 通常の再生をします。  : 選択したリスト内の全ての範囲をリピート再生します。  : 再生中の曲をリピート再生します。
	シャッフル再生する範囲を切りかえる タッチするごとに、オフ ⇄ オンが切りかわります。
*	 : 通常の再生をします。  : 選択したリスト内でシャッフル再生します。  <b>メモ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>iPhone にアルバム単位でシャッフル再生できるアプリがインストールされている場合は、本機でもアルバム単位でシャッフル再生ができます。</li> </ul>
	<p>Apple Music のラジオ画面でタッチすると、下記設定が表示されます。</p> <p><b>これと似た曲を再生</b> : タッチすると、現在選択している曲に似た曲が再生されます。</p> <p><b>これと似ていない曲を再生</b> : タッチすると現在選択している曲をもう一度再生しないように設定します。</p> <p><b>iTunes ウィッシュリストに追加</b> : タッチすると、現在選択している曲が iTunes のウィッシュリストに追加されます。</p> <p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生するコンテンツによっては、設定されない場合があります。</li> </ul>
	<p>曲を選択します。</p> <p>カテゴリーをタッチして、リストからタイトルを選択してください。</p>

\* Apple CarPlay のみ。

# Bluetooth 接続機器内の音楽を再生する

AV プロファイルに対応した Bluetooth Audio 機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio 機器内の音楽データを本機で再生することができます。

AV プロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

## ご注意

- Bluetooth 機器を使うには、接続の設定が必要です。設定を行っていない場合は、「Bluetooth の設定と接続」(→P22) をご覧になり、設定を行ってください。

## AV プロファイルについて

AV プロファイルの種類	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.5	○	△	△	△

○：できます。

△：Bluetooth Audio 機器により異なります。

×：できません。

- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (Audio / Video Remote Control Profile)とは、音楽の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

## メモ

- 本機では同時に2台のBluetooth接続を行えますが、Bluetooth Audio 機器としては常に1台だけの再生になります。もう一台の機器を再生したい場合は、機器を切りかえてから再生してください。


## 再生を開始

### Bluetooth Audio 設定

-  ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 、 の順にタッチする
- AV ソース設定にタッチする
- Bluetooth Audio がオンになっていることを確認する  
オンになっていない場合は、Bluetooth Audio をタッチしてオンに切りかえます。

### Bluetooth Audio 機器を再生する

機器をお使いになるには、あらかじめ本機に Bluetooth Audio 機器を登録する必要があります(→P22)。

-  ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- ソース/アプリリスト画面の Bluetooth Audio をタッチする

Bluetooth Audio 機器は、ソースが Bluetooth Audio に切りかえられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります(一番最近に接続された Bluetooth Audio 機器を優先して接続を試みます)。

## メモ

- 接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。始まらない場合は再生ボタンを押ししてください。
- 優先で接続する Bluetooth Audio 機器を変更したい場合は、Bluetooth 設定メニューで行ってください(→P32)。
- Bluetooth Audio 機器が別の AV プロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio 機器の全ての AV プロファイルの接続を解除してから再度接続してください。



①	トラックナンバーを表示します。
	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
	タッチするとファイルを前後にスキップして、目的のファイルを再生します。
	タッチするごとに、リピート再生する範囲を切りかえます。
	タッチするごとに、ランダム再生と通常の再生を切りかえます。
	リストを表示して聞きたい曲／ファイルを選ぶことができます。再生したい項目にタッチすると、選んだ曲／ファイルの再生が始まります。 メモ ・フォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内の項目をリスト表示します。
	接続中の Bluetooth Audio 機器との接続を切断し、他の機器に接続先を切りかえます (→ P32)。

A2DP + AVRCP 接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。

#### メモ

- ・自動的に再生が始まらない場合は、 にタッチしてください。
- ・ にタッチしても再生が開始されない場合は、Bluetooth Audio 機器側で再生を開始させてください。
- ・A2DP+AVRCP Ver1.3 以降で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます (Bluetooth Audio 機器によっては表示されない場合もあります)。また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にそれらの情報が表示されませんが、再生が始まると再表示されます。
- ・お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。
- ・接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- ・リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (1 曲リピート中の選曲操作など) を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。

## ■ リストから選んで再生する

リストを表示して聞きたい曲／ファイルを選ぶことができます。

### 1 にタッチする

リストが表示されます。

### 2 再生したい項目にタッチする

選んだ曲／ファイルの再生が始まります。

#### メモ

- ・フォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内の項目をリスト表示します。

## ■ Bluetooth Audio 機器の接続について

### 接続する Bluetooth Audio 機器を切りかえる

Bluetooth Audio 機器を複数台登録した場合、切りかえて使用できます。

#### 注意

- ・切りかえたい機器の Bluetooth 機能が ON になっていないと、接続できません。

### 1 にタッチする

### 2 切りかえたい Bluetooth Audio 機器にタッチする

選択した Bluetooth Audio 機器への接続を行います。

#### メモ

- ・切りかえ先の機器の種類や機器状態によって、切りかえ前の AV ソースが維持されることがあります。その場合は Bluetooth Audio 経由で再生したいソースに手動でソースを切りかえてください。

### 接続が切断された場合

#### 注意

- ・接続中の Bluetooth Audio 機器との接続が切れても、以下の場合は、自動的に再接続を行います。
  - AV ソースを切りかえた場合
  - ACC を OFF / ON した場合

#### メモ

- ・お使いになる電話機によっては、Bluetooth Audio を使用中は電話機がデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったん本機のシステム設定メニューの **Bluetooth Audio** をオフ (→ P31) にすることで、Bluetooth Audio 接続を行わないようにすることができます (Bluetooth Audio 機器の音楽再生ソフトも終了させてください)。



## Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合

### で注意

- お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては、Bluetooth Audio 機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、Bluetooth Audio 機器側から本機をサーチし、Bluetooth Audio 機器側での操作で本機に接続してください。

### メモ

- 自動接続処理は 1 分以内に接続が完了しないと中断されます。
- Bluetooth Audio 機器側の接続操作は、Bluetooth Audio 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

# USB 機器内の音楽を再生する

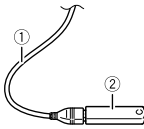
接続した USB 機器に記録されている音楽の再生を行います。



・詳しいファイル対応については「再生可能なメディアとファイルについて」(→ P95) をご覧ください。

## 本機に USB 機器を取り付ける

- 1 USB機器を、USBケーブル（付属）に接続する



- |   |              |
|---|--------------|
| ① | USB ケーブル（付属） |
| ② | USB 機器       |

### ご注意

・ USB ハブを使用しての接続には対応していません。



・ USB 機器によっては、正しく動作しない場合があります。

## 本機から USB 機器を取り外す

- 1 車のエンジンスイッチをOFF (ACC をOFF) にする
- 2 USBケーブル（付属）からUSB機器を取り外す

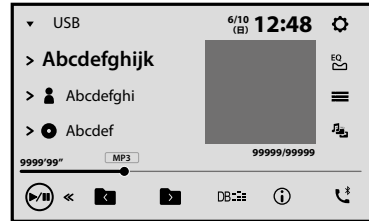
## 再生を開始

- 1 USB機器を、USBケーブル（付属）に接続する
- 2 ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 3 **USB** にタッチする

フォルダー順に再生されます。

フォルダーに再生可能な音楽ファイルがない場合は、次のフォルダーを再生します。

## 代表的な画面（オーディオ）



## 使用する主なタッチキー

- |   |   |
|---|---|
| ① | 再生中の音楽ファイル情報を表示します。ミュージックブラウザモード (→ P35) のときには、リストを表示して曲を探します。  |
|   | 再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。  |
|   | タッチするとファイルを前後にスキップして、目的のファイルを再生します。   |
|   | タッチすることにより、リピート再生する範囲を切りかえます。<br>: 再生中の USB 機器全体の音楽ファイルをリピート再生します。<br>: 再生中のフォルダー内の音楽ファイルをリピート再生します。<br>: 再生中の音楽ファイルをリピート再生します。 |

## ■ミュージックブラウザモードで曲を選ぶ

データベースを構築することで、アルバム名、アーティスト名などの項目別リストからお好みの曲を選んで再生できます。

### ご注意

- USB 機器を MTP 接続している場合は使用できません。

### メモ

- 本機能は tag 情報が書き込まれている音楽ファイルが対象になります。

## 1 DB にタッチする

「メモリに保存しました」とメッセージが表示されます。

## 2 目録にタッチする

tag 欄のリスト選択画面が表示されます。

## 3 カテゴリにタッチして曲を絞り込む

アーティスト	アーティスト名から選曲できます。
アルバム	アルバム名から選曲できます。
曲	曲名で選曲できます。
ジャンル	ジャンルから選曲できます。

## 4 聞きたい曲にタッチする

選んだ曲の再生が始まります。

### メモ

- ミュージックブラウザモードが解除されてしまった場合は、手順2~4の操作を行うことで、再びミュージックブラウザモードになります。
- リストが表示されない場合は、手順1から操作して、データベースを保存しなおしてください。
- データベースは本機に保存されます。同じコンテンツが保存されている限り、データベースを再度作成する必要はありません。

選んだリピート再生の範囲内で、USB 機器内の曲をランダムに再生します。タッチするごとに、オフ⇄オンが切りかわります。

### リピート範囲が のとき

USB 機器全体をランダムに再生します。



### メモ

- 音楽と画像が混在している USB 機器の場合は、現在選択中のデータ範囲でランダムに再生します。

### リピート範囲が のとき

フォルダー内の曲をランダムに再生します。

### メモ

- リピート範囲が  の場合、ランダム再生をオンにするとリピート再生の範囲が自動的に  に切りかわります。



(オン)



(オフ)



前/次にある機能を表示します。



音楽、動画、静止画を切りかえます。

Music : 音楽

Video : 動画

Photo : 静止画

### ご注意

- USB 機器を MTP 接続している場合は使用できません。

リストを表示して聞きたい曲 / 音楽ファイルを選ぶことができます。再生したい項目にタッチすると、選んだ曲 / 音楽ファイルの再生が始まります。

### メモ

- フォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内の項目をリスト表示します。



次のフォルダーまたは1つ前のフォルダーを選ぶことができます。




ミュージックブラウザモード用データベースを作成します。



再生情報の表示を切りかえます。

### メモ

- タイムバーの  を指でドラッグして再生位置を指定することもできます。

# USB 機器内の動画／静止画を再生する

接続した USB 機器に記録されている動画／静止画の再生を行います。JPEG 画像は、スライドショーで再生できます。

再生中の画面にタッチすると操作画面が表示されます。

## ご注意

- JPEG 画像はリアモニターには表示されません。

## メモ

- 詳しいファイル対応については「再生可能なメディアとファイルについて」(→ P95) をご覧ください。

USB 機器の接続については「本機に USB 機器を取り付ける」(→ P34) をご覧ください。





## 代表的な画面 (動画)

















## 代表的な画面 (静止画)



## 使用する主なタッチキー

①	タッチキーを非表示にします。再度画面にタッチするとタッチキーが表示され、再生／一時停止などの操作ができるようになります。
 *1	再生を一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
 *1	早戻し／早送りします。
 *1	早戻し／早送り中にタッチすると、速度が変わります。 4 倍速 → 10 倍速 → 32 倍速
 *1	再生を停止します。次回再生をしたとき、最後に視聴した位置から再生できます。 <b>メモ</b> • 2 回タッチして再生を停止すると、次回再生をしたとき、最初から再生されます。

 *1	タッチすることにより、映像がコマ送りされます。長くタッチすると、スロー再生が始まります。  にタッチすると通常再生に戻ります。 <b>ご注意</b> • コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。 • コマ戻りと戻り方向のスロー再生はできません。
 *1	再生中のファイルが DivX® の場合、言語を切りかえます。
 *1	前／次のファイルを選択できます。
 *1	タッチすることにより、リピート再生する範囲を切りかえます。  : 再生中の USB 機器全体の動画／静止画ファイルをリピート再生します。  : 再生中のフォルダー内の動画／静止画ファイルをリピート再生します。  : 再生中の動画ファイルをリピート再生します。
 *1	選んだリピートの範囲内で、USB 機器内の動画や静止画の順番を変えて再生します。タッチすることにより、オフ ⇄ オンが切りかわります。 <b>リピート範囲が  のとき</b> USB 機器全体をランダムに再生します。 <b>メモ</b> • 音楽と画像が混在している USB 機器の場合は、現在選択中のデータ範囲でランダムに再生します。
 (オン) *2	
 (オフ) *2	
 *1	<b>リピート範囲が  のとき</b> フォルダー内をランダムに再生します。

# AUX(外部入力)を使って映像／音声を再生する

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続して、映像や音声を再生します。

本機背面のAUX入力端子に、別売のAV入力用変換ケーブル(CD-VRM200)を差し込み、外部機器を接続します(→P66)。

1 **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 **⚙️**、**✖️**の順にタッチする

3 **入力／出力設定**にタッチする

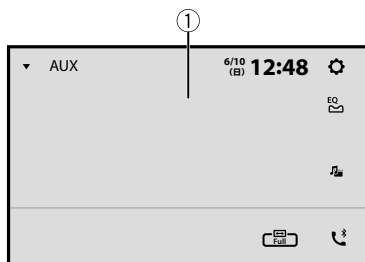
4 **AUX入力設定**がオンであることを確認する

オンになっていない場合は、**AUX入力設定**をタッチしてオンに切りかえます。

5 **■** ボタンを押し、画面を左にスワイプする

6 **AUX**にタッチする

代表的な画面



使用する主なタッチキー

①	タッチキーを非表示にします。画面にタッチすると再表示します。
	「音声のみ」と「映像と音声」を切りかえます。
	画像の拡大方法を切りかえます(→P60)。

	音楽、動画、静止画を切りかえます。 Music : 音楽 Video : 動画 Photo : 静止画
	<b>ご注意</b> • USB 機器をMTP 接続している場合は使用できません。
	ファイルリストを表示します。
	次のフォルダーまたは1つ前のフォルダーを選ぶことができます。
	JPEG 画像を本機画面の壁紙に使用できます。 壁紙を設定したい画面は以下から選択できます。
	<b>AV 画面として:</b> AV ソース画面の壁紙として使用できます。
*2	<b>Home 画面として:</b> ホーム画面の壁紙として使用できます。
	<b>AV/Home 画面として:</b> AV ソース画面とホーム画面の壁紙として使用できます。
	タッチすることにより、時計回りに90度ずつ回転します。
*2	画像の拡大方法を切りかえます(→P60)。

\*1 動画のときのみ表示されます。

\*2 静止画のときのみ表示されます。

**メモ**

• テーマ設定からも壁紙を設定できます(→P52)。

音楽を聴く／映像を見る／写真を見る

# 電話を使う (ハンズフリー通話)

本機は Bluetooth 接続と USB 接続の 2 つの方法でハンズフリー通話ができます。

本書では、Bluetooth 接続した iPhone / スマートフォンなどの電話機を使って、ハンズフリー通話をする方法を説明しています。ハンズフリー通話を利用するにはあらかじめ Bluetooth 接続してください (→ P22)。


USB 接続をした iPhone / スマートフォンの場合、Apple CarPlay または Android Auto を利用して通話します。通話する方法については Apple CarPlay または Android Auto のサポートサイトをご確認ください。

## メモ

- ・本機は 5 つまでの機器を Bluetooth 接続の接続先として登録できます。
- ・登録した機器のうち、HFP に対応した電話機は同時に 2 台まで接続できます。

## Phone メニュー

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2  にタッチする





- ① 次の項目が表示されます。
- ・接続されている電話機名
  - ・接続されている電話機の本機への登録番号 (例: \*1)
  - ・電波状態
  - ・電池残量


## メモ


- ・2 台の電話機を同時に接続している場合は、電話機を切りかえます。
- ・接続する電話機を変更すると、ホーム画面のウィジェットエリア、お気に入りのソース / アプリエリアのアイコン、通知の設定、壁紙の設定が変更されます。詳しくは「CarAVAssist」(→ P41) をご覧ください。


② 検索言語が表示されます。

 プリセットダイヤルから電話をかけます (→ P39)。

 電話帳から電話をかけます (→ P39)。

 発信履歴から電話をかけます (→ P38)。

 電話番号を入力して電話をかけます (→ P38)。

 iPhone の音声認識操作ができます (→ P47)。


## 電話のかけかた


いろいろな方法で電話をかけることができます。


### ■ 電話番号を入力して電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。


1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2  にタッチする

3  にタッチする

4 電話番号を入力し、 にタッチする


発信を開始します。


発信中  にタッチすると、発信を中止します。

### ■ 発信履歴から電話をかける

本機と接続中の履歴 (発信、着信、不在着信) を表示し、電話をかけることができます。

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2  にタッチする

3  にタッチする

4 表示したい履歴を選んでタッチする

 発信履歴

 着信履歴

 不在着信履歴

5 相手先を選んでタッチする

発信を開始します。

## メモ

- 発信履歴、着信履歴、不在着信履歴は、各 80 件まで保存されます。新しい履歴ができたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 電話機の Bluetooth プロファイルの内、PBAP を有していることが前提です。PBAP があっても、発信履歴が表示できないことがあります。


## 電話帳から電話をかける


電話機から転送した電話帳情報を使って電話をかけます。あらかじめ、電話機の電話帳を本機に転送してください。


電話帳の転送方法については、電話機の取扱説明書をご覧ください。

## メモ

- 電話帳は、登録した電話機ごとに、それぞれ 1 000 件ずつ保存できます。
- 電話帳は、本機に登録された電話機ごとに読み込まれます。接続する電話機を切りかえると、表示される電話帳の内容も切りかわります。
- 登録した電話機によりメモリダイヤルの読み込みに制限がある場合があります。
- PBAP に対応していない電話機は、自動的に電話帳が転送されません。その場合は、手で電話帳の転送操作をしてください。電話帳の転送方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 電話帳内の件数、電話機の機種により、転送に時間がかかる場合があります。(電話帳の転送中は、本機から発信することはできません。)
- 正しく電話帳が読み込めなかった場合は、以下を行うってから再度電話帳を本機に転送してください。
  - Bluetooth 機器を再度接続 (ペアリング) する。
  - 車のエンジンスイッチを OFF → ON (ACC OFF → ON) にする

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2  にタッチする

3  にタッチする

4 相手先を選んでタッチする

## メモ

- リスト右側に表示されたひらがなの部分を操作すると、頭文字でのサーチができます。


5 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする


発信を開始します。

## プリセットダイヤルから電話をかける

発信履歴または電話帳から、よく連絡する相手を電話機ごとに 6 件まで登録できます。

### プリセットダイヤルに登録する


1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2  にタッチする

3  または  を表示させる


## メモ


- リスト右側に表示されたアルファベットの部分を操作すると、頭文字でのサーチができます。


4 登録したい電話番号の右側にある  にタッチする

プリセットダイヤルに登録されます。

### プリセットダイヤルから電話をかける


1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする


2  にタッチする


3  にタッチする


4 相手先を選んでタッチする  
発信を開始します。

### プリセットダイヤルを削除する

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2  にタッチする

3  にタッチする

4 削除したい番号の右側の  にタッチする

5 確認画面の  にタッチする

## 通話中の操作

通話中は、通話中メニューが表示され、マイク感度の調整やプライベートモードの**オン/オフ**、電話を切るなどの操作ができます。



	電話を切ります。
	テンキー操作ができます。
	プライベートモードの <b>オン/オフ</b> を切りかえます。ハンズフリー通話を一時的に使わずにスマートフォンで通話したいときはプライベートモードを <b>オン</b> にします。
	マイク感度を3段階で調整できます。

### メモ

- 電話機側で操作することもできます。
- 本機に電話機を2台同時に接続している場合、1台目のプライベートモードを**オン**にしていれば、1台目の通話を維持したまま2台目にかかってきた電話もとることができま

## ■ 2台同時接続時の着信と受話

本機に電話機をHFPによって2台同時に接続している場合、1台目が通話中(発信中、着信中、キャッチホン中も含め)に2台目に電話が掛かってくると、「2台目の着信」と表示されます。

2台目への着信を受けるときの1台目の動作は、1台目のプライベートモードの**オン/オフ**によって異なります。

1台目のプライベートモードが <b>オン</b> のとき	1台目の通話を維持したまま、2台目にかかってきた電話をとりま
1台目のプライベートモードが <b>オフ</b> のとき	1台目の通話を終了し、2台目に掛かってきた電話をとりま

### メモ

- 2台目のプライベートモードを**オン**にして電話に出た場合も、1台目の通話を維持したまま2台目にかかってきた電話をとることができま

## 受話音量の調節

通話中の受話音量を調節できます。

### 1 通話中に、+ / - (音量) ボタンを押す

#### メモ

- 本体ボタンを押すと画面上に音量調整のタッチキーが表示されタッチキーでも受話音量を調節できます。

## 電話の受けかた

### 1 クルマのスピーカーから着信音が流れたら、にタッチする

電話につながり、通話ができます。

電話を切るときは、にタッチします。

#### メモ

- 電話帳に登録されている電話番号と一致すると、電話帳に登録された名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、相手の電話番号や名前は表示されません。
- 電話機を操作して電話に出ると、プライベートモードでの通話になります。
- 2台同時接続時の着信と受話については「2台同時接続時の着信と受話」(→P40)を参照してください。
- 電話機側で応答保留にしても、にタッチすることで応答保留を解除できます。

## 着信音量の調節

着信音の音量を調節できます。

### 1 着信中に、+ / - (音量) ボタンを押す

## ハンズフリーエコ (残響音) の軽減

エコは相手の声車が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声マイクに入らないようにすることでエコを軽減できます。また、電話回線状況、使用する電話機、通話相手の環境によりエコが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする
- お互いに一呼吸おいて話す

ただし、本機内部のエコキャンセラーのしくみ上、完全にエコをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。



# iPhone / スマートフォンアプリを使って本機をカスタマイズする (CarAVAssist)

CarAVAssist を利用して、本機の設定をしたり、ソフトウェアを更新することができます。

iPhone / スマートフォンから App Store または Google Play から CarAVAssist をダウンロードし、iPhone / スマートフォンにインストールしてください。

CarAVAssist の詳細については、CarAVAssist のヘルプをご確認ください。



## で注意

- 運転中に CarAVAssist の操作はしないでください。安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

## メモ

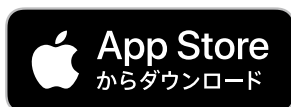
- CarAVAssist 利用時には、Apple CarPlay、Android Auto が起動していないことを確認してください。

## 開始前の準備

### iPhone

このアプリは iOS 12.0 以降と互換性があります。

CarAVAssist は App Store からダウンロードできます。



### スマートフォン

このアプリは、Android 6.0 以降と互換性があります。

CarAVAssist は Google Play からダウンロードできます。



検索キーワードを入力する場合は、「CarAVAssist」と入力することをお勧めします。





## ■ CarAVAssist の機能について

iPhone / スマートフォンを使って、本機の機能をカスタマイズできます。以下は一例です。


- 本機のウィジェットを含むホーム画面をカスタマイズする。
- 本機の壁紙をカスタマイズする。
- スマートフォンで受信したお知らせを、本機に表示する。
- 本機の最新ファームウェアをダウンロードする。

## データの転送

iPhone / スマートフォンを使って、本機のウィジェットを含むホーム画面や壁紙などの情報を転送できます。

- 1 iPhone / スマートフォンを、Bluetoothで本機に接続する (→P22)
- 2  ボタンを押し、ホーム画面を左にスワイプする
- 3  にタッチし、データ転送画面にする
- 4 iPhone / スマートフォンで、CarAVAssistを起動する
- 5 CarAVAssistの画面から本機をAVメインユニット登録する
- 6 CarAVAssistの画面上部にあるBluetooth接続ボタンをタッチする  
データの転送が可能な状態になります。
- 7 使用する転送モードにタッチする

Bluetooth 接続が切れた場合は、再度手順 1 から操作を行いデータの転送が可能な状態にしてください。

	iPhone / スマートフォンから本機に転送します。
	本機から iPhone / スマートフォンに転送します。

iPhone / スマートフォンから本機に転送する場合は転送が開始されると「転送を開始します」、転送が終ると「設定の読み込みが完了しました」と表示されます。

本機から iPhone / スマートフォンに転送する場合は「転送が完了しました」と表示されません。

## 本機のファームウェアの更新




CarAVAssistを使用して、本機のファームウェアを更新することができます。

### ご注意

- 更新中は、本機や iPhone / スマートフォンの電源を切らないでください。
- 最新ファームウェアにアップデートすると、旧バージョンに戻すことはできません。

### メモ

- パーキングブレーキがかかっている状態のときに、アップデートが可能です。

- 1 CarAVAssistを使用して、iPhone / スマートフォンに更新ファイルをダウンロードする
- 2 iPhone / スマートフォンと本機をWi-Fiで接続する (→P24)
- 3  ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 4 、 の順にタッチする
- 5 システム情報にタッチする
- 6 **ファームウェアバージョンアップ** にタッチする
- 7 **CarAVAssist** にタッチする

画面の指示に従い、ファームウェアを更新します。

ファームウェアの更新に成功したら本機は自動で再起動します。

エラーメッセージが表示された場合は、再度手順 1 から操作をやりなおしてください。

# Apple CarPlay を利用する

本機に iPhone を接続して、Apple CarPlay を利用することによって、本機の画面からタッチ、スワイプ、ドラッグなどの操作ができます。

iPhone のアプリを本機に表示して操作したり、Siri による音声認識でも本機を操作することができます。Apple CarPlay を利用するには、iPhone ヘインストールが必要です。

## メモ

- iPhone やアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Apple CarPlay に対応している iPhone については、以下を確認してください。  
<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>
- Apple CarPlay についての詳細は、Apple CarPlay サポートサイトをご確認ください。
- Apple CarPlay 利用時には、CarAVAssist が終了していることを確認してください。
- Apple CarPlay は Apple Inc. が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更する場合があります。

## 運転席位置の設定

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 運転席位置 にタッチする

タッチすることにより、レフト⇄ライトが切りかわります。

レフト	左ハンドル車の場合選択します。
ライト	右ハンドル車の場合選択します。

## iPhone の接続

1 本機に iPhone を USB で接続する  
(→P76)

2 ホーム画面のお気に入りソース / アプリエリアにある Apple CarPlay アプリのアイコン にタッチする

Apple CarPlay の画面が表示されます。

## メモ

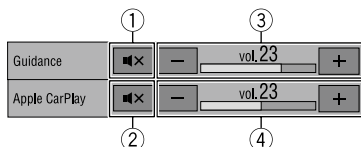
- Apple CarPlay の接続が完了すると、 ボタンを押し、Siri 機能を使用することができます。
- iPhone と本機が Bluetooth で接続されていたときは、Apple CarPlay の接続が完了すると Bluetooth 接続は終了します。
- Android などの別の端末と本機が Bluetooth で接続されているときは、Apple CarPlay の接続が完了すると Bluetooth オーディオ接続のみが継続されます。

## 音量調節

Apple CarPlay を使用している場合は、メインの音量とは別に、Siri (接続した iPhone で利用可能な場合) またはガイド音量を調節できます。

1 Apple CarPlay 画面を表示中に、**+ / - (音量) ボタン**を押す

音量設定メニューが 4 秒間表示されます。



- ① ガイド音声をミュートします。
- ② メイン音声をミュートします。
- ③ または にタッチしてガイド音声の音量を調節します。
- ④ または にタッチしてメイン音声の音量を調節します。メイン音量は + / - (音量) ボタンでも調節できます。

## メモ

- 音量設定メニューの表示が消えたときは、+ / - (音量) ボタンを押すと再度表示されます。
- Enhanced Siri を使用している場合、ミュート機能は使用できません。

## 分割画面の利用

Apple CarPlay と連携することで表示される画面と他のソース画面を分割で表示できます。

Apple CarPlay の地図画面を表示しながら、ラジオを操作したい場合などに便利です。

1 Apple CarPlay 画面を表示中に、 にタッチする

分割画面表示に切りかわります。

全画面に戻りたい場合は にタッチしてください。

## メモ

- iPhone や iOS のバージョンによっては、利用できない可能性があります。
- をタッチして分割画面に表示するソースを切りかえることができます。
- Apple CarPlay と本機の画面位置は、「運転席位置の設定」(→P43) で設定した内容によって異なります。

# Android Auto を利用する

本機に Android Auto 対応スマートフォンを接続して、Android Auto を利用することによって、本機の画面からタッチ、スワイプ、ドラッグなどの操作ができます。  
スマートフォンのアプリを本機に表示して操作したり、音声認識でも本機を操作することができます。Android Auto を使用する場合は、スマートフォンへの専用アプリのインストールが必要です。

## ご注意

- ・システム設定メニューの入力/出力設定で USB MTP をオンに設定している場合は、Android Auto を使用できません (→ P48)。

## メモ

- ・スマートフォンやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- ・車の画面で Android Auto を使用するには、Android 8 以降搭載の Android スマートフォン、通信可能なデータプランおよび Android Auto アプリが必要です。
- ・Android 10.0 以降のスマートフォンでは、専用アプリのインストールは必要ありません。
- ・Android Auto についての詳細は、Android Auto サポートサイトをご確認ください。
- ・Android Auto は Google Inc. が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更する場合があります。

## 運転席位置の設定

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 **運転席位置** にタッチする

タッチするごとに、レフト⇄ライトが切りかわります。

レフト	左ハンドル車の場合選択します。
ライト	右ハンドル車の場合選択します。

## スマートフォンの接続

1 本機にスマートフォンをUSBで接続する (→P76)

2 ホーム画面のお気に入りソース／アプリエリアにある Android Auto アプリのアイコン にタッチする

Android Auto の画面が表示されます。

## メモ

- ・Android Auto の接続が完了すると、 ボタンを押して音声認識を使用することができます。
- ・スマートフォン以外の電話機で通話中に Android Auto の接続が完了すると、通話後に Bluetooth 接続がスマートフォンに切りかわります。

## Android Auto の自動起動設定

Android Auto を起動したときに、自動的に Android Auto 画面を表示させるかどうかを設定することができます。

## メモ

- ・Android Auto は、スマートフォンが接続されている場合のみ、自動的に起動します。
- ・初めて接続した場合は、Google 認証の画面が表示されます。画面に従って操作してください。

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

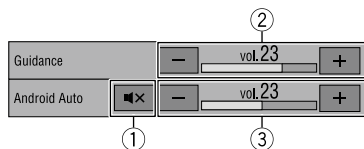
3 **Android Auto オート起動** にタッチし、オンにする

## 音量調節

Android Auto を使用している場合は、音楽やラジオ音声などのメインの音量とは別に、音声認識またはガイド音量を調整できます。

### 1 Android Auto画面を表示中に、 + / - (音量) ボタンを押す

音量設定メニューが 4 秒間表示されます。



- |   |   |
|---|---|
| ① | メインの音声をミュートします。   |
| ② | ■ または ■ にタッチしてガイド音声の音量を調節します。                               |
| ③ | ■ または ■ にタッチしてメイン音声の音量を調節します。メイン音量は + / - (音量) ボタンでも調節できます。 |

#### メモ

- 音量設定メニューの表示が消えたときは、+ / - (音量) ボタンを押すと再度表示されます。

## 分割画面の利用

Android Auto と連携することで表示される画面と他のソース画面を分割で表示できます。

例えば地図画面を表示しながら、ラジオを操作したい場合などに便利です。

### ■ 分割画面の設定

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 **Android Auto画面拡縮ボタン** にタッチし、オンにする

### ■ 分割画面表示にする

1 Android Auto画面を表示中に、  
 または にタッチする

分割画面表示に切りかわります。

分割画面を終了する場合は、手順 1 とは反対の または にタッチしてください。

#### メモ

- をタッチして分割画面に表示するソースを切りかえることができます。
- Android Auto と本機の画面位置は、「運転席位置の設定」(→ P44) で設定した内容によって異なります。

# 本機でiPhone / スマートフォン を操作する (WebLink™)

接続している iPhone / スマートフォンの画面を本機とミラーリングすることができます。また、WebLink 互換のアプリケーションを使用することができます。

YouTube などの動画を本機の画面で楽しむこともできます。

WebLink を使用するには、WebLink Host アプリを iPhone / スマートフォンにインストールする必要があります。WebLink Host アプリについて詳しくは、以下を確認してください。

<https://www.abaltatech.com/weblink/>

## 🔗メモ

- WebLink は iOS 15 以上の iPhone、Android 9.0 以上のスマートフォンに対応しています。
- DRM など、著作権で保護されたファイルは再生できません。

## 📌ご注意

- スマートフォンは、システム設定メニューの入力/出力設定で USB MTP をオンに設定している場合は、WebLink を使用できません (→ P48)。
- WebLink でアクセスしたコンテンツや機能については、アプリやコンテンツの提供者の責任であり、この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- WebLink でアクセスした当社以外のコンテンツやサービスの提供は予告なく変更または中止されることがあります。
- 運転中は本機で利用可能なコンテンツと機能が制限されます。
- WebLink Cast™ 機能使用時、iPhone のミュージックアプリの音声は出力されません。

## WebLink を利用する

**1** iPhone / スマートフォンに WebLink Host アプリをインストールする

**2** iPhone / スマートフォンで WebLink Host アプリの利用規約に合意する

**3** iPhone / スマートフォンを本機に USB で接続する

iPhone を接続する場合 (→ P76)

スマートフォンを接続する場合 (→ P76)

**4** 🗄️ ボタンを押し、画面を左にスワイプする

**5** WebLink にタッチする

## 6 本機の画面で操作する

WebLink アプリの起動後、アプリのアイコンをタッチすると操作画面が表示されます。

🗄️ WebLink ソース画面のメインメニューを表示します。

## 🔗メモ

- WebLink 互換のアプリケーションが起動した状態で本機に iPhone / スマートフォンを USB 接続すると、操作画面が表示されます。
- 本機から音が聞こえない場合は、「Bluetooth の設定と接続」(→ P22) をご覧になり、本機との Bluetooth 接続を確認してください。

## 天気情報を確認する (Weather)

現在地付近の気温、日ごとおよび時間ごとの天気予報を表示できます。気象サービスと位置情報サービスは、GPS アンテナを使用して位置と時間を特定しています。

## 📌ご注意

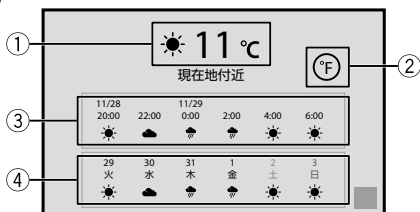
- Weather を使うには、Wi-Fi 接続が必要です。
- Weather を使うには、通信サービス利用規約およびプライバシーポリシーに同意する必要があります (→ P26)。

## 🔗メモ

- Wi-Fi 接続については、「Wi-Fi の設定と接続」(→ P24) を参照してください。

**1** 🗄️ ボタンを押し、画面を左にスワイプする

**2** Weather にタッチする



- ① 現在地付近の気温を表示します。
- ② 気温の単位を°C (摂氏) / °F (華氏) に切りかえます。
- ③ 時間ごとの天気予報を表示します。
- ④ 日ごとの天気予報を表示します。

# iPhone / スマートフォンの音声認識機能を使う

iPhone / スマートフォンが Bluetooth または USB 経由で本機に接続されているときに  ボタンを押すと、音声認識操作ができます。(→ P14)

## iPhone の音声認識機能を使う (Siri)

本機を使って iPhone の音声認識による操作ができます。

iPhone に iOS 6.1 以上が搭載され、iPhone で Siri の設定を ON にしている場合は、Siri アイズフリー（音声認識）機能が使えます。

Siri アイズフリー以外の場合は、音声コントロールとして動作します。

### メモ

- ・音声認識で操作できる機能は、iPhone の iOS のバージョンによって異なります。
- ・音声認識機能については、iPhone の取扱説明書をご覧ください。
- ・はっきりと、ゆっくり発声してください。

## 1 iPhone を本機に接続する

Bluetooth で接続する場合 (→ P22)

USB で接続する場合 (→ P76)

## 2 ボタンを押す

iPhone の音声認識操作ができます。

## 3 マイクに向かって話す

発声した内容に関連するアクションや情報表示をします。

## ■ Phone メニューから音声認識操作

Phone メニュー (→ P38) も音声認識操作ができます。

あらかじめ Bluetooth 接続してください (→ P22)。

## 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする




## 2 にタッチする

## 3 にタッチする

## 4 マイクに向かって話す

発声した内容に関連するアクションや情報表示をします。

### メモ

- ・iPhone に iOS 6.1 以上が搭載され、iPhone で Siri 機能が ON に設定されている場合は、画面には「音声認識 / 応答中」と表示されます。「音声認識 / 応答中」以外の場合は「音声コントロール」と表示されます。
- ・終了するには、 にタッチして音声認識ウィンドウを閉じるか、 にタッチします。再度  にタッチすると音声認識を再開します。

## ■ 2 台同時接続時の音声認識操作

音声認識操作する電話機を切りかえて操作することができます (音声認識操作での切りかえを行った場合は、Phone メニューでの操作対象になる電話機も切りかわります)。あらかじめ 2 台を Bluetooth 接続してください (→ P22)。

## 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

## 2 にタッチする

## 3 にタッチする

## 4 操作したい電話機のキーにタッチする

音声認識を始めるタッチキーに出ている番号は登録された機器の番号です (→ P22)。

操作したい電話機の音声認識操作ができます。

## スマートフォンの音声認識機能を使う

本機を使ってスマートフォンの音声認識操作ができます。

スマートフォンの音声認識機能を使うには、Android Auto の画面を表示する必要があります (→ P44)。

## 1 Android Auto 画面を表示中に、

### ボタンを押す

スマートフォンの音声認識操作ができます。

## 2 マイクに向かって話す

発声した内容に関連するアクションや情報表示をします。



# 各種設定をする







設定画面では、各種の設定をすることができます。


## ご注意

・パーキングブレーキが解除されている場合、一部機能は操作できません。安全な場所に車を停めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

## 設定画面の表示


- 1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする
- 2  にタッチする
- 3 設定したい項目にタッチする

	カスタムメニュー (→ P60)
	システム設定 (→ P48)
	テーマ設定 (→ P52)
	オーディオ設定 (→ P54)
	ビデオ設定 (→ P59)
	通信設定 (→ P60)

- 4  にタッチする

設定が終了します。

## システム設定

設定画面を表示 (→ P48) し、 をタッチすることで AV ソースや操作音など、システムに関する設定を行います。

### AV ソース設定

 フォン設定 (→ P27)

 Bluetooth Audio (→ P31)

### 操作音 (→ P48)

### 入力/出力設定

 USB MTP (→ P48)

 AUX 入力設定 (→ P49)

### カメラ設定

 バックカメラ入力 (→ P49)

 カメラ極性設定 (→ P49)

 駐車アシスト線表示 (→ P49)

 駐車アシスト線調整 (→ P49)

### デモモード (→ P50)

### ステアリングリモコン設定 (→ P50)

### 設定初期化 (→ P51)

### 時刻設定 (→ P51)

### ディマー設定

 明るさ切替 (→ P51)

 昼/夜切替 (→ P51)


 ディマー時間設定 (→ P52)


### 画質調整 (→ P50)

### システム情報

 ファームウェア情報 (→ P61)

 ファームウェアバージョンアップ (→ P62)

 センサー学習状況 (→ P61)

 接続状態 (→ P61)

 ライセンス (→ P61)

### 利用規約/プライバシー

「通信サービス利用規約およびプライバシーポリシー」を表示します (→ P26)。

## ■ 操作音の設定

操作音を出すか、出さないかを設定できます。

- 1 システム設定 (→ P48) の **操作音** にタッチする

タッチすることにより、オン⇄オフが切りかわります。

## ■ USB MTP の設定

- 1 システム設定 (→ P48) の **入力/出力設定** → **USB MTP** にタッチする

- 2 設定を選んでタッチする

オフ	スマートフォンで Android Auto、WebLink を使用するときを設定します。
オン	スマートフォンを MTP 接続モードで使用するときを設定します。

## ご注意

・オンに設定している場合は、Android Auto、WebLink を使用できません。

## メモ

・MTP 接続は、お使いになる USB 機器側で MTP 接続モードへの切りかえが必要ことがあります。モードの切りかえ方法については、お使いになる USB 機器の説明書をご覧ください。



## ■ AUX 入力を設定する

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を本機の AUX 入力端子に接続して視聴したい場合、オンに設定します(→P66)。

### 1 システム設定 (→P48)の**入力/出力設定**→**AUX入力設定**にタッチする

タッチすることにより、オン⇄オフが切りかわります。

#### ご注意

- ・オフのときは AUX ソースが選択できません。

## ■ バックカメラの入力を設定する

バックカメラの接続の有無を設定します(→P66)。

### 1 システム設定 (→P48)の**カメラ設定**にタッチする

### 2 **バックカメラ入力**をタッチする

タッチすることにより、オン⇄オフが切りかわります。

## ■ バックカメラの極性を設定する

### 1 システム設定 (→P48)の**カメラ設定**にタッチする

### 2 **カメラ極性設定**をタッチする

タッチすることにより、High ⇄ Low が切りかわります。

High	車のシフトレバーをリバース (R) に切りかえたときに、接続状態画面(→P61)の「バック信号」の表示が High になる車両の場合はこちらを選びます。
Low	車のシフトレバーをリバース (R) に切りかえたときに、接続状態画面(→P61)の「バック信号」の表示が Low になる車両の場合はこちらを選びます。

#### ご注意

- ・バックカメラ入力がオフのときはカメラ極性設定を変更できません。
- ・バックカメラの映像に正しく切りかわるように、必ずバック信号線を接続してください。
- ・通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーを R (リバース) にしても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。

## ■ 駐車アシスト線の表示を設定する

バックカメラの表示に、駐車アシスト線を表示するかどうかを設定できます。

駐車アシスト線を表示したい場合はオンに設定します。

### 1 システム設定 (→P48)の**カメラ設定**にタッチする

### 2 **駐車アシスト線表示**をタッチする

タッチすることにより、オン⇄オフが切りかわります。

## ■ 駐車アシスト線を調整する

バックカメラに表示する駐車アシスト線を調整できます。

### 1 システム設定 (→P48)の**カメラ設定**にタッチする

### 2 **駐車アシスト線調整**をタッチする

◀/▶/▲/▼/◀▶/◀▶にタッチして調整します。

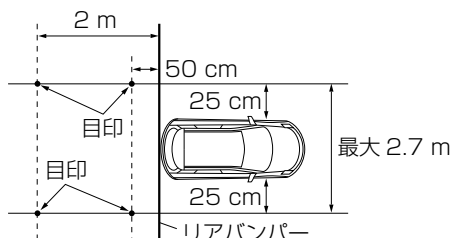
初期値にタッチすると、設定が初期値に戻ります。

#### ご注意

- ・安全な場所に車を停めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。
- ・車から降りて駐車した車の位置を確認する場合は、必ずエンジンスイッチを OFF にしてください。

#### メモ

- ・バックカメラ画像に表示される駐車アシスト線は、実際の車幅と距離と異なる場合があります。駐車アシスト線は直線で表示されます。
- ・夜間や暗い場所などでは、バックカメラに表示される画像が見にくい場合があります。
- ・駐車アシスト線を設定する前に、梱包テープなどで以下の位置に目印をつけると設定しやすくなります。
- ・ガイドラインが画面の端になり調整できないことがあります。バックカメラはできるだけ車の中央、低過ぎない位置に取り付けてください。



## ■ デモモードを設定する

デモを表示するか、表示しないかを設定します。

### 1 システム設定 (→P48)の**デモモード**にタッチする

タッチするごとに、オフ⇄オンが切りかわります。通常はオフにします。

#### ご注意

- ・運転中のデモモードは、前方不注意などの原因となる場合があります。運転中はデモモードを解除するか、設定をオフにしてください。

#### メモ

- ・車のエンジンを止めた状態で、デモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

## ■ ステアリングリモコンの設定

別売のステアリングリモコンアダプターまたはステアリングリモコンケーブルを使用する場合に設定します。

#### メモ

- ・対応ケーブルについて詳しくは、弊社ホームページでご確認ください。  
([https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/steering\\_remotecontrol/](https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/steering_remotecontrol/))

### 1 **ボタン**を押し、画面を左にスワイプする

### 2 **Source OFF**にタッチして、ソースをOFFにする

### 3 システム設定 (→P48)の**ステアリングリモコン設定**をタッチする

アダプター	別売のステアリングリモコンアダプターを使用する場合に選択します。
学習	別売のステアリングリモコンケーブルを使用する場合に選択します。

**アダプター**を選択した場合、「設定中です・・・ステアリングリモコンを触らないでください」のメッセージが表示された後に「ステアリングリモコンの設定が完了しました。」とメッセージが表示されます。手順6に進みます。

**学習**を選択した場合は、「設定中です・・・ステアリングリモコンを触らないでください」のメッセージが表示された後に車両のステアリングスイッチ登録画面が表示されます。手順4に進みます。

## 4 車両のステアリングスイッチに登録する機能にタッチする

AV Source	AV ソースを切りかえます。
	消音します。
	音量を大きくします。
	音量を小さくします。
Mode	現在表示中の画面と Apple CarPlay / Android Auto の画面に切りかえます。Apple CarPlay / Android Auto が利用できない場合は、現在表示中の画面と画面の非表示を切りかえます。
	▲ / ▼ / ▶ / ◀ の操作をします。
Band	バンドを切りかえます。
	音声操作をします。
	通話中の電話を切ります。
	電話を受けます。
	の操作をします。

## 5 機能を登録する車両のステアリングスイッチのキーを長く押す

指定した機能が登録されます。他の機能を登録する場合は、手順4～5を繰り返します。

ステアリングリモコンを操作するメッセージが表示されたら、メッセージにしたがって操作してください。

## 6 OKにタッチする

設定が終了します。

## ■ 画質を調整する

各ソースおよびバックカメラ画像の画質を調整します。

### 1 システム設定 (→P48)の**画質調整**にタッチする

黒の濃さ	明暗を調整します。 - 24 (明) ~ 24 (暗) の範囲で調整できます。
コントラスト	白黒の差を調整します。 - 24 (差が減少) ~ 24 (差が増大) の範囲で調整できます。
色の濃さ	濃淡を調整します。 - 24 (淡) ~ 24 (濃) の範囲で調整できます。
色合い	赤色と緑色のバランスを調整します。 - 24 (赤) ~ 24 (緑) の範囲で調整できます。

明るさ	周囲の明るさに合わせた明るさの調整をします。 1 (暗) ~ 48 (明) の範囲で調整できます。
色温度	暖色系と寒色系のバランスを調整します。 - 3 (暖色系) ~ 3 (寒色系) の範囲で調整できます。

#### ご注意

- ・カメラによっては調整ができない場合があります。
- ・映像信号設定が「NTSC」以外は、色合いの調整はできません。
- ・運転中は画質調整の操作はできません。

#### メモ

- ・▲/▼にタッチすると、調整項目が切りかわります。
- ・黒の濃さ、コントラスト、明るさは、イルミネーションのオン/オフに応じ、個別に設定ができます。

## ■ 設定の初期化

#### ご注意

- ・一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- ・必要な情報は事前に控えておいてください。

## 1 システム設定 (→P48)の**設定初期化**にタッチする

## 2 初期化にタッチする

設定が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。

#### メモ

- ・初期化中は、しばらくの間黒画面になり、その後、初めて電源を入れた時と同じスピーカーモード設定の画面が出ます。

## ■ 時計の設定

時刻と時計の表示を設定します。

#### メモ

- ・時刻を表示させるにはGPS アンテナの接続が必要です。

## 1 システム設定 (→P48)の**時刻設定**にタッチする

## 2 設定を選んでタッチする

日/月/年	左から日、月、年 (西暦) の順に表示します。
月/日/年	左から月、日、年 (西暦) の順に表示します。
年/月/日	左から年 (西暦)、月、日の順に表示します。

## 3 設定を選んでタッチする

12H	12 時間表示
24H	24 時間表示

## 4 タイムゾーンの**+**/**-**にタッチする

調節できる範囲は、UTC-12.0h ~ UTC+14.0h (0.25 h) です。

#### メモ

- ・お住まいの地域が日本の場合は UTC+9 を設定してください。
- ・時計のデザインを変更することもできます。変更方法については、「時計のデザインを設定する」(→P53)を参照してください。

## ■ 画面の明るさを調節する

#### メモ

- ・**外觀モード** (→P53) を**ディマー**に設定すると、**明るさ切替**の設定に従ってライトモードとダークモードが切りかわります。

## 1 システム設定 (→P48)の**ディマー設定**→**明るさ切替**にタッチする

## 2 設定を選んでタッチする

オート	クルマのライトに連動して明るさを自動で切りかえます。
マニュアル	明るさを手動で昼用または夜用に切りかえます。
ディマー時間連動	明るさを指定した時刻で切りかえます。

## ■ 画面の明るさを切りかえる

画面の明るさを手動で昼用または夜用に切りかえることができます。

#### ご注意

- ・設定するには、**明るさ切替**を**マニュアル**に設定する必要があります (→P51)。

## 1 システム設定 (→P48)の**ディマー設定**にタッチする

## 2 **昼/夜切替**にタッチする

タッチするごとに、昼 ⇄ 夜 が切りかわります。

昼	画面を明るくします。
夜	画面を暗くします。

## ■ 画面の明るさを切りかえる時間を設定する

画面の明るさの切りかえ時間を変更できます。

### ご注意

- ・切りかえ時間を設定するには、**明るさ切替でディーマー時間運動**に設定する必要があります(→P51)。

## 1 システム設定(→P48)の**ディーマー設定** →**ディーマー時間設定**にタッチする

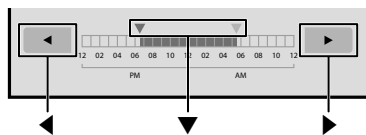
## 2 オンまたはオフにタッチする



オン          オフ

## 3 **▼**をドラッグするか、**◀/▶**にタッチして、切りかえ時間を設定する

切りかえ時間は 15 分刻みで設定できます。



### メモ

- ・ディーマーのオンとは、画面の明るさを絞る暗くすることです。(夜用)
- ・2つの**▼**が同じポイントに置かれている場合、切りかえ時間は 0 時間です。

## 🗨️ テーマ設定

設定画面を表示(→P48)し、**🗨️**をタッチすることで壁紙やイルミネーションの設定など、画面のカスタマイズを行います。

壁紙(→P52)

イルミネーション(→P53)

テーマ設定(→P53)

時計(→P53)

ホーム画面 UI カスタマイズ(→P19)

外観モード(→P53)

オープニング画面設定(→P53)

## ■ 壁紙を設定する

プリセットの壁紙もしくはオリジナル画像を USB 機器から取り込んで(→P36)、壁紙として設定することができます。

壁紙はホーム画面と AV ソースの操作画面に設定することができます。

### ご注意

- ・USB 機器から取り込んだ画像を設定したい場合は、事前に USB 機器内の静止画再生中に壁紙に設定したい JPEG 画像をダウンロードします(→P36)。

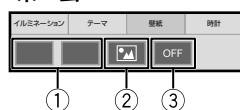
## 1 テーマ設定(→P52)の**壁紙**にタッチする

## 2 ホームまたは**AV**にタッチする

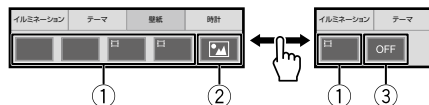
ホーム画面と AV ソースの操作画面のどちらを設定するのかを選択します。

## 3 設定を選んでタッチする

ホーム



AV



- ① 本機にすでに設定されている壁紙を選択します。
- ② USB 機器から取り込んだ JPEG 画像を選択します。

### メモ

- ・取り込んだ画像によっては、画面上の文字が見えづらくなることがあります。  
背景フィルター オフになっている場合は、タッチして背景フィルター オンに切りかえてください。改善されることがあります。

- ③ 非表示にします。

### メモ

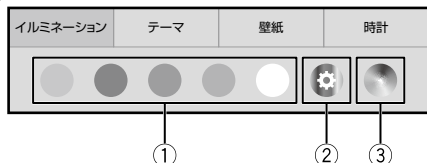
- ・CarAVAssist(→P41)を使用すると、Bluetooth 接続された機器の壁紙などを本機と同期させることができます。
- ・ライトモードまたはダークモードの画面で壁紙がどのように表示されるか確認することができます。

## ■ ボタンのイルミネーションを設定する

ディスプレイのホームボタン、音声認識ボタン、音量ボタンのイルミネーションを5種類のプリセットカラー、カスタムカラー、レインボーから設定することができます。

### 1 テーマ設定 (→P52)の イルミネーションにタッチする

### 2 設定を選んでタッチする



- ① 本機ですでに設定されている色から選択します。
- ② タッチするとカラーバーが表示されます。◀/▶をタッチ、またはカラーバーをドラッグして希望の色に調整します。⌘を長くタッチすると、その時点の色を保存します。他の色に変更した後でも、もう一度、⌘にタッチすると、保存した色を呼び出します。
- ⓐ タッチすると色が自動で切りかわるモードに設定されます。

#### 🔗メモ

- レインボーを選択中にカスタムカラーのアイコンにタッチすると、その時点で色の変化が止まり、その色を基に調整できます。

## ■ 画面の色を変更する

5種類の色から画面の色を変更します。

#### 📌ご注意

- 外観モードがライトに設定されている、または明るさがライトモードの切りかわっている場合は設定できません (→P53)。

### 1 テーマ設定 (→P52)のテーマにタッチする

### 2 設定を選んでタッチする

## ■ 時計のデザインを設定する

### 1 テーマ設定 (→P52)の時計にタッチする

### 2 ホームまたはAVにタッチする

ホーム画面とAVソースの操作画面のどちらを設定するかを選択します。

### 3 設定を選んでタッチする

OFF (時計を表示しない) は、手順2でAVを選択した場合のみ表示されます。

## ■ 画面の外観モードを切りかえる

画面の外観をライトモードまたはダークモードに切りかえます。日差しが強い日中はライトモード、車内が暗いときにはダークモードに設定します。

#### 🔗メモ

- この設定は、Apple CarPlayまたはAndroid Autoで表示される画面にも適用されます。

### 1 テーマ設定 (→P52)の外観モードにタッチする

### 2 設定を選んでタッチする

ディマー	ディマーの設定に連動してライトモードとダークモードを切りかえます (→P51)。
ライト	ライトモードに設定します。
ダーク	ダークモードに設定します。

## ■ オープニング画面を設定する

USB機器を接続して、本機のオープニング画面をお好みの画像に変更できます。

### 1 テーマ設定 (→P52)の オープニング画面設定にタッチする

### 2 設定を選んでタッチする


読み込み	USB機器からオープニング画面の画像を読み込みます。
初期化	オープニング画面の画像を初期設定に戻します。

メッセージに従い操作します。

#### 📌ご注意

- USB機器から読み込むことのできるファイルは、以下の条件を満たす必要があります。
  - 形式: BMPまたはJPEG
  - ファイルサイズ: 3.5 MB以下
  - 画像サイズ (px): 1024 × 600
- USB機器に複数の画像ファイルが保存されている場合は、お好みの画像を読み込まないことがあります。USB機器には変更する画像のみ保存してください。

## オーディオ設定

設定画面を表示 (→ P48) し、 をタッチすることで音量バランスやイコライザーなど、オーディオに関する設定を行います。

フェーダー/バランス (→ P54)

バランス (→ P54)

ラウドネス (→ P54)

ソースレベルアジャスター (→ P54)

サウンドレトリバー (→ P55)

スピーカー出力レベル (→ P55)

リスニングポジション (→ P55)

タイムアライメント (→ P56)

イコライザー (→ P56)

サブウーファー (→ P57)

カットオフ (→ P57)

パスブースト (→ P58)

リアスピーカー出力 (→ P58)

ミュート設定 (→ P58)

サブウーファー設定

サブウーファーを設定できます。(カットオフと同じ画面を表示します。)

設定値の保存 (→ P59)

設定値の読出し (→ P59)

### ご注意

・ FM ラジオを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定できません。

## 前後左右の音量バランスを調節する

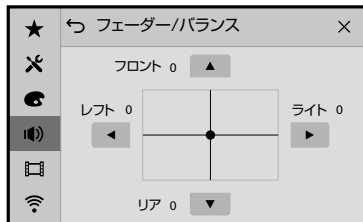
### ご注意

・ スピーカーモードが「スタンダードモード」 (→ P15)、且つオーディオ設定メニューでリアスピーカー出力がサブウーファーに設定されているときは、前後のバランス調整はできません (→ P58)。手順 1 ではバランスのタッチキーになります。

・ スピーカーモードが「ネットワークモード」に設定されているときは、前後のバランス調整はできません (→ P15)。手順 1 ではバランスのタッチキーになります。

## 1 オーディオ設定 (→P54)のフェーダー/バランスにタッチする

## 2 / / / にタッチする



フロント、リア、LEFT、RIGHTのバランスを調節できます。調節できる範囲は、0 ~ 25 です。

## ■ 小さな音を聞きやすくする

## 1 オーディオ設定 (→P54)のラウドネスにタッチする

## 2 効果を選んでタッチする



オフ / Low (小) / Mid (中) / High (大)

## ■ 各ソースの音量をそろえる

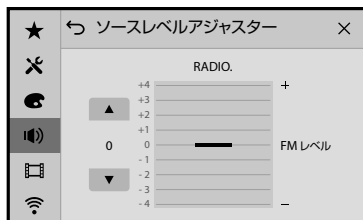
### ご注意

・ ソースが FM ラジオのときは設定できません。

## 1 調節するソースを選ぶ (→P21)

## 2 オーディオ設定 (→P54)のソースレベルアジャスターにタッチする

## 3 / にタッチする



ソースレベルアジャスターのレベルを調節できます。調節できる範囲は、+ 8 dB (+ 4 Step) ~ - 8 dB (- 4 Step) です。

## メモ

- 以下は同じ設定になります。
  - AM ラジオと交通情報 (TI)
  - USB 機器と iPhone(USB 接続時)、スマートフォン連携機能での音声
  - Bluetooth Audio と iPhone(Bluetooth 接続時)

## サウンドレトリバーを切りかえる

圧縮音源を再生するときに効果的です。

圧縮音源は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされています。「サウンドレトリバー」は、デジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補充して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生できます。

## 1 オーディオ設定 (→P54)のサウンドレトリバーにタッチする

オフ、モード1、モード2から選択できます。

オフ	サウンドレトリバー機能を使用しません。
モード1	圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。
モード2	圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。

## スピーカーの出力レベルを調整する

「スピーカー出力レベル」の設定は、「リスニングポジション」の設定と、各スピーカーの設定があります。

リスニングポジションごとに、スピーカーの出力レベルを設定できます。

## メモ

- サブウーファーの出力レベルは「サブウーファー」設定がオンの場合に設定できます。

## 1 オーディオ設定 (→P54)のスピーカー出力レベルにタッチする

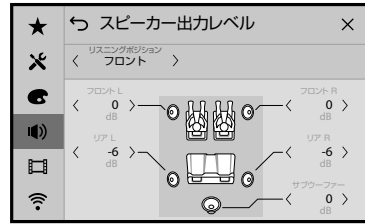
## 2 画面左上のリスニングポジションの< または > にタッチしてリスニングポジションを選ぶ

フロントL、フロントR、フロント、All、オフから選択できます。

## で注意

- スピーカーモードが「ネットワークモード」に設定されているときは「All」は選択できません。

## 3 調整したいスピーカーの< / > にタッチする



スピーカーモードによって調整するスピーカーが異なります。

スタンダードモード	フロントL、フロントR リアL、リアR サブウーファー
ネットワークモード	ハイL、ハイR ミッドL、ミッドR サブウーファー

調整できる範囲は、- 24 dB ~ 10 dB です。

## リスニングポジションを選ぶ

乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション(聞く位置)を選ぶことで、音像の定位を適切に補正することができます。

## 1 オーディオ設定 (→P54)のリスニングポジションにタッチする

## 2 リスニングポジションを選んでタッチする



フロント	同乗者が助手席にいるとき
フロントL	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
フロントR	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
All	同乗者が後部座席にいるとき
オフ	設定をオフにするとき

## で注意

- スピーカーモードが「ネットワークモード」に設定されているときは「All」は選択できません。

## メモ

- リスニングポジションの設定が変更されると、スピーカー出力レベルの設定も変更されます。
- リスニングポジションの設定を変更すると「タイムアライメント」の設定も変更されます。

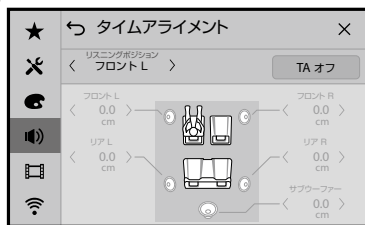
## ■ タイムアライメントを調整する

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。

### 1 オーディオ設定 (→P54)の

#### タイムアライメントにタッチする

### 2 タッチしてTAオンに切りかえる



タッチすることにより、**TA オフ**⇔**TA オン**が切りかわります。

### 3 画面左上のリスニングポジションの [ ] または [ ] にタッチして、フロントLまたはフロントRを選ぶ

タイムアライメントを調整するには、フロントLまたはフロントRを選択してください。

## メモ

- リスニングポジションの設定が変更されると、スピーカー出力レベルの設定も変更されます。

### 4 調整したいスピーカーの [ ] / [ ] にタッチする

タッチすることにより、スピーカーの距離が 0 cm ~ 350 cm の間で、1.4 cm 単位で切りかわります。

### 5 他のスピーカーを調整したい場合は、手順4を繰り返す

## ご注意

- 他のオーディオメニューの設定項目において、そのスピーカーが有効にされていないときは調整できません。
- オーディオ設定メニューで「サブウーファー」のオン/オフの設定がオフに設定されているときは、サブウーファーは調整できません (→ P57)。

## ■ イコライザーを使う

### 音質を手軽に調整する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、音質を手軽に調整できます。

AV ソース画面上の [ ] にタッチしても設定できます。

以下からお好みのカーブを選びます。

S.Bass (Super Bass)	低域が厚みを持ち、迫力ある重低音が響きます。
Powerful	低域と高域が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
Natural	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
Vocal	中高域が厚みを持ち、伸びやかなヴォーカルを際立たせます。
Flat	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切りかえて、イコライザーの効果を確認するときに使用してください。
Custom1 Custom2	お好みに合わせて調整できます。 <b>Custom1</b> 、 <b>Custom2</b> 共に、すべてのソースに共通のイコライザーカーブとして登録されます。

### イコライザーカーブを細かく調整する

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数ごとにレベルを調整できます。

## メモ

- Custom2**以外のカーブを選んでいるときに調整すると、自動的に**Custom1**に登録されます。
- Custom2**を選んでいるときに調整すると、**Custom2**の調整内容が更新されます。

### 1 オーディオ設定 (→P54)のイコライザーにタッチする

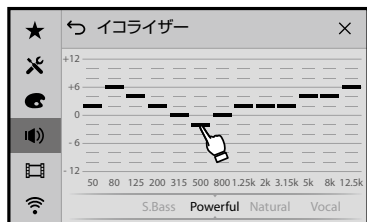


## 2 調整したいカーブS.Bass ~ Custom2をドラッグしてセンターマークに合わせる

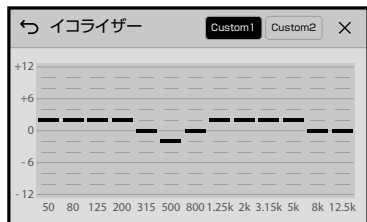


## 3 イコライザー画面をタッチして Custom画面にする

画面右上に Custom1 と Custom2 が表示されます。



## 4 調整する周波数のバーを移動して調整する



調節できる範囲は、+12 dB ~ -12 dB (2 dB / ステップ) です。

## ■ サブウーファースのオン/オフを設定する

サブウーファースを組み合わせる場合はオンに切りかえてください。

## 1 オーディオ設定 (→P54)のサブウーファースにタッチする

タッチすることにより、オン ⇄ オフが切りかわります。

## ■ カットオフ周波数、スロープを設定する

カットする起点となる周波数を選択します。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。またそのカットの緩急を傾斜 (スロープ) で設定します。

ある周波数から下の音域をカットし、上の音域を出力するフィルターをハイパスフィルター (HPF) と呼び、逆にある周波数から上の音域をカットし、下の音域を出力するフィルターをローパスフィルター (LPF) と呼びます。カットオフのサブウーファース設定はサブウーファースの設定をオンにしている時に可能になります。

## 1 オーディオ設定 (→P54)の カットオフにタッチする

## 2 〇/〇にタッチする

タッチすることにより、調整するスピーカーが以下のように切りかわります。

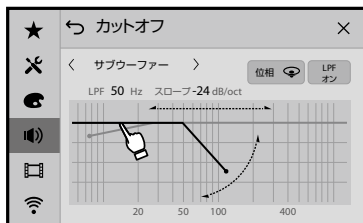
スピーカーモードがスタンダードモードの場合  
サブウーファース ⇄ フロント ⇄ リア

フロント	HPF が設定できます。
リア	HPF が設定できます。
サブウーファース	LPF が設定できます。

スピーカーモードがネットワークモードの場合  
サブウーファース ⇄ Mid HPF ⇄ Mid LPF ⇄ High

High	HPF が設定できます。
Mid	HPF と LPF が設定できます。
サブウーファース	LPF が設定できます。

## 3 周波数カーブをドラッグする



各スピーカーのカットオフ周波数が調整できます。

## 4 周波数カーブの下端のポイントをドラッグする

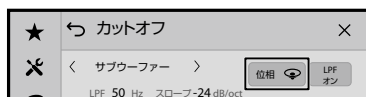
各スピーカーのスロープを設定します。傾きが急なほどその音域のカットが鋭くなります。

## 位相を切りかえる

サブウーファー（スピーカーモードがスタンダードモードの場合）、または High / Mid / サブウーファー（スピーカーモードがネットワークモードの場合）の位相を切りかえることができます。

フロント / リアまたは High / Mid スピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分も含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転（干渉）し、打ち消し合い音量が上がらないことがあります。このような場合は、位相を正相または逆相に切りかえてみて、聴感上で良いと感じる方に設定してください。

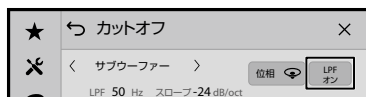
### 1 にタッチして切りかえる



	ノーマル（正相）	フロント / リアまたは High / Mid スピーカーと同時に音が出力されます。
	リバース（逆相）	フロント / リアまたは High / Mid スピーカーとタイミングをずらして音が出力されます。

## LPF / HPF のオン / オフ

### 1 にタッチして、オンまたはオフを切りかえる



タッチすることにより、**LPF オン** ⇄ **LPF オフ** / **HPF オン** ⇄ **HPF オフ** が切りかわります。

## ■ 低い音を強調する

### 1 オーディオ設定 (→P54) の **バスブースト** にタッチする

### 2 レベルを選んでタッチする

バスブースターのレベルを調節できます。調節できる範囲は、**0 ~ +6** です。

## ■ リアスピーカー出力を設定する

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選べます。

### メモ

・スピーカーモードが **スタンダードモード** に設定されているときに **リアスピーカー出力** を設定できます。

### 1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

### 2 **Source OFF** にタッチして、ソースをOFFにする

### 3 オーディオ設定 (→P54) の **リアスピーカー出力** にタッチする

タッチすることにより、リア ⇄ サブウーファーが切りかわります。

リア	リアスピーカーを接続する場合に切りかわります。
サブウーファー	サブウーファーを接続する場合に切りかわります（リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続できます）。

### 注意

・オーディオ設定メニューの **サブウーファー** のオン / オフの設定をオンにしていないと、サブウーファーの出力はされません (→P57)。

### メモ

・再生するコンテンツの音声フォーマットによってはサブウーファー出力がされない場合があります。  
・リアスピーカーの RCA 出力、リード線出力とも、同時に変更されます。

## ■ ミュートを設定する

AV、iPhone、スマートフォンのガイダンス再生時のソース音量を設定します。

### 1 オーディオ設定 (→P54) の **ミュート設定** にタッチする

### 2 ソース音量を選んでタッチする

ATT	現在の音量より 10 dB 低くなります。
ミュート	消音します。
オフ	現在の音量を変更しません。

## ■ オーディオ設定を保存する

調節したオーディオ設定を保存できます。

次の設定を保存できます：

- ・ イコライザー
- ・ スピーカー出力レベル
- ・ リスニングポジション
- ・ カットオフ
- ・ タイムアライメント

### 1 オーディオ設定 (→P54)の 設定値の保存にタッチする

### 2 OKにタッチする

## ■ 保存したオーディオ設定を読み出す

### 1 オーディオ設定 (→P54)の 設定値の読出しにタッチする


### 2 保存したサウンド設定読出しにタッチ する

「サウンド設定を読み込みました。」と表示  
されます。

#### ご注意

- ・ サウンド設定初期化にタッチすると、初期設定値を  
読み込みます。保存した設定は削除されません。

## ビデオ設定

設定画面を表示 (→P48) し、をタッチする  
ことでスライドショーや映像信号に関する設定を行  
います。

## ■ スライドショー設定

スライドショーは、USB 内の画像を順々に自動  
的に表示する機能です。

#### ご注意

- ・ スライドショー設定は JPEG 画像の再生時のみ設定  
できます。

### 1 設定画面 (→P48)の→ スライドショー設定にタッチする

### 2 希望の時間にタッチする

5 秒	5 秒に設定します。
10 秒	10 秒に設定します。
15 秒	15 秒に設定します。
手動設定	手動で設定します。

#### メモ

- ・ キー操作で画像を切りかえたいときは、**手動設定**を選  
びます。

## ■ 映像信号設定

RCA 映像／音声入力端子や AUX 入力端子に接  
続する外部機器やバックカメラに合わせて映像信  
号を固定したい場合に設定します (通常はオート  
のままでお使いください)。

### 1 設定画面 (→P48)の→ 映像信号設定にタッチする


### 2 AUX または バックカメラ をタッチし て映像信号を選ぶ

AUX	AUX ソースの映像信号を設 定します (→P49)。
バックカメラ	カメラの映像信号を設定しま す (→P49)。

AUX、バックカメラのそれぞれに対して、以  
下の中から設定ができます。


オート	設定の判別を自動で行う場合
PAL	PAL 形式に固定する場合
NTSC	NTSC 形式に固定する場合
PAL-M	PAL-M 形式に固定する場合
PAL-N	PAL-N 形式に固定する場合
SECAM	SECAM 形式に固定する場合

## 通信設定

設定画面を表示 (→ P48) し、 をタッチすることで通信に関する設定を行います。

機器登録／削除	Bluetooth 接続する機器の登録／削除をします (→ P22)。
Bluetooth 設定	Bluetooth 接続に関する詳細設定をします (→ P23)。
Wi-Fi 設定	Wi-Fi 接続に関する詳細設定をします (→ P24)。
運転席位置	ハンドル位置の設定をします (→ P43、44)。
Android Auto オート起動	Android の自動接続設定をします (→ P44)。
Android Auto 画面拡縮ボタン	Android Auto の画面拡縮ボタンの設定をします (→ P45)。


## ★ カスタムメニュー

設定画面を表示 (→ P48) し、 をタッチすることでカスタムメニューを表示します。

任意のメニュー項目を選択し、カスタムメニューとして登録できます。よく使うメニュー項目を登録すると便利です。カスタムメニューのタッチキーは各ソースの設定画面にも表示されますので、お好みの設定画面へのアクセスを短縮できます。

### ■ メニューを登録する

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2  にタッチする

3 登録したい項目を表示させる

4 登録したいメニュー項目の★マークにタッチする


★マークが☆ (黄色) に変わり、登録済みであることを示します。

 メモ

- 登録を取り消すには、もう一度☆マークにタッチします。
- 12 項目登録できます。

### ■ メニューを削除する

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする


2  にタッチする

カスタムメニューが表示されます。

3 削除したいメニュー項目を長くタッチする  
メニューが削除されます。


### ■ 登録したメニューを使う

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2  にタッチする

カスタムメニューが表示されます。


 メモ

- 他の設定画面からカスタムメニューを表示させる場合は  をタッチしてください。


3 登録したメニューにタッチする

## ワイド画面の拡大方法の変更

画像 (動画を含む) の拡大方法を切りかえることができます。

1  にタッチする

2 切りかえたいモードにタッチする

Full (フル)	画面いっぱいになるように表示します。 <b>ご注意</b> ・画像によっては、全画面表示にならない場合があります。
Zoom (ズーム)	画像を上下に拡大して表示します。
Normal (ノーマル)	そのまま表示します。
Trimming (トリミング)	縦横比率を維持したまま、画面一杯になるように引き伸ばして表示します。画面と画像の縦横比率が異なると、画像の一部がカットされて表示されます。  メモ ・画像のみ対応します。

**ご注意**

- 縦横比と一致しないモードで表示すると正しく表示されない場合があります。
- 本機のソフトウェアのバージョンによっては使用できる機能が異なる場合があります。

 メモ

- USB 機器内の動画、USB 機器内の静止画、AUX など、画像系の AV ソースごとに設定が保持されます。
- Zoom (ズーム) に設定すると表示が粗くなります。
- 画像ファイルは Normal (ノーマル) または Trimming (トリミング) に設定することができます。

# 本機のシステム情報を見る

本機のソフトウェアのバージョンなどのシステム情報を確認することができます。

## システム情報画面の表示

1 ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 システム情報 にタッチする

4 確認したい項目にタッチする

- ・ファームウェア情報 (→ P61)
- ・ファームウェアバージョンアップ (→ P62)
- ・センサー学習状況 (→ P61)
- ・接続状態 (→ P61)
- ・ライセンス (→ P61)

5 にタッチする

設定が終了します。

## 本機のファームウェアのバージョン

本機のファームウェアのバージョンを確認できます。

1 **ファームウェア情報** にタッチする

メモ

- ・最新のファームウェアにバージョンアップする場合は、「本機のファームウェアを更新する」(→ P62)を参照してください。

## 本機の学習ステータス

センサーの学習ステータスを確認します。現在のセンサー値と速度パルスの総数を確認できます。

1 **センサー学習状況** にタッチする

■ **トリップまたはパルス数をリセットする**

1 **トリップ** または **パルス数** にタッチして、**はい** にタッチする

■ **センサー学習をリセットする**

1 **センサー学習** にタッチする

距離学習リセット	トリップに保存されているすべての学習結果を消去します。
オールリセット	学習ステータスが削除されます。

メモ

- ・取り付け位置や角度を変更した場合、**オールリセット** にタッチして、センサー学習をリセットしてください。

## ケーブルやリード線の接続及び取り付けの確認

ケーブルやリード線が本機と車両に正しく接続されているか、取り付けた位置が正しいかを確認できます。

1 **接続状態** にタッチする

GPSアンテナ	GPS アンテナの接続状態と受信感度を表示します。 <b>OK:</b> 正しく接続されている <b>未接続:</b> 接続が正しくない
測位状態	GPS の測位状態 (2 次元測位、3 次元測位、未測位)、または測位に使用される衛星の数 (オレンジ)、および信号を受信した衛星の数 (黄色) を表示します。4 つ以上の衛星からの信号を受信した場合、現在の位置を測定できます。
取付位置	本機が正しく設置されているかを表示します。 <b>OK:</b> 正しく設置されている <b>取付角度許容範囲外:</b> 本機の設置角度の制限を超える極端な角度で設置されている <b>振動許容範囲外:</b> 本機がしっかりと固定されていない
車速パルス	本機で検出した速度パルス値を表示します。
バック信号	車のシフトレバーを「R」(リバース位置) にすると、信号が High または Low に切りかわります。表示される信号は、車種によって異なります。

メモ

- ・GPS の測位状態が悪い場合は、GPS アンテナの設置位置を変更してください。

## 本機のライセンス

本機に使われているソフトウェアのライセンスを確認できます。

1 **ライセンス** にタッチする

# 本機のファームウェアをバージョンアップする


## ■ 本機のファームウェアを更新する

USB メモリーを接続して、本機のファームウェアのバージョンを更新できます。

ファームウェアについての情報や更新についての詳細は、パイオニアのホームページをご覧ください。

### ご注意

- ・更新作業中は、エンジンスイッチを OFF にしないでください。
- ・走行中は操作できません。必ず、パーキングブレーキをかけてから操作をしてください。

1  ボタンを押し、画面を左にスワイプする

2 、 の順にタッチする

3 **システム情報** にタッチする

4 ファームウェアのバージョンアップ  
ファイルを格納したUSB機器を、  
USBケーブル（付属）を使って接続  
する (→P34)

5 **ファームウェアバージョンアップ** に  
タッチする

6 **USB** にタッチする

7 メッセージを確認後、**次へ** にタッチ  
する

8 メッセージを確認後、**開始** にタッチ  
する

ファームウェアの更新を開始します。

完了すると「アップデートが完了しました。」  
と表示され本機は再起動します。

## ■ CarAVAssist でファームウェアを更新する

CarAVAssist を使用した本機のファームウェア  
更新方法については「本機のファームウェアの更  
新」(→P42) を参照してください。



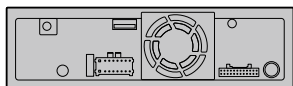
## 接続・取り付け上のご注意

- ・接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- ・車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

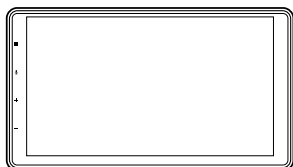
## 接続・取り付け部品の確認

### ■ 本体関係

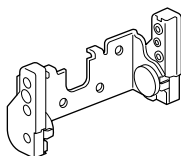
- ① 本体 × 1



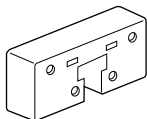
- ② ディスプレイ × 1



- ③ ディスプレイ取付ブラケット × 1



- ④ スペーサー × 1



### ■ ネジ (呼び径×ネジ長さ、ネジ色)

- ⑤ 皿ネジ (5 mm × 8 mm、銀色) × 6
- ⑥ バインドネジ (5 mm × 8 mm、銀色) × 6
- ⑦ 粘着剤付きバインドネジ (4 mm × 12 mm、銀色) × 4
- ⑧ 粘着剤付きバインドネジ (4 mm × 30 mm、銀色) × 4
- ⑨ セレーション付ネジ (2 mm × 4 mm、黒色) × 4

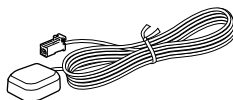
\* セレーション付ネジ 2 個は予備ネジです。

### ■ マイク・GPS アンテナ関係

- ⑩ ハンズフリー通話用マイク × 1



- ⑪ GPS アンテナ × 1



- ⑫ 金属シート × 1



- ⑬ クランプ × 3

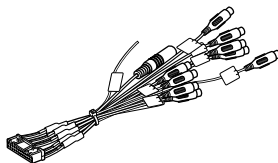


### ■ コード関係

- ⑭ 電源コード × 1



- ⑮ RCA 入出力ケーブル × 1



- ⑯ USB ケーブル × 1



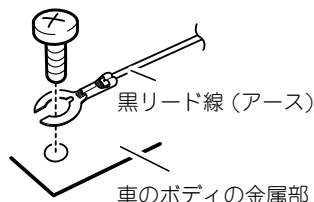


# 車に本機を接続する

## 接続の前に知ってほしいこと

### ■ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線(アース)を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチに ACC が無い車では使用できません。必ず、エンジンスイッチに ACC がある車でご使用ください。車がキーレスの場合は、最寄りの販売店にご相談ください。
- 赤リード線(アクセサリ電源)は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。**接続すると車のバッテリーが消耗します。**
- 若草色リード線(パーキングブレーキスイッチ)は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。**接続しないと一部の機能が使用できなくなります。**
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障するおそれがあります。
- スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの(-)リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機のアンプには BTL という回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースに接続したり、複数のスピーカーの(-)リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーの使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線(アース)は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。

- ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合、必ず本機の青/白リード線(アンテナコントロール)を車側のアンテナブースターの電源に接続してください。接続を忘れるとラジオ放送の受信ができません。

### ☑メモ

- アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります(ラジオが ON にならないと、ブースターが ON にならない車もあります)。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

## ■ 接続のポイント

### ノイズ防止のために

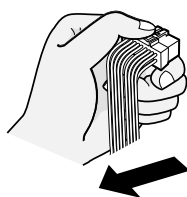
- アンテナコードは、スピーカーコード、および電源リード線などと束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。
- ノイズ防止のため、次のものは本機や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
  - \* FM / AM アンテナおよびそのアンテナコード
  - \* GPS アンテナおよびそのアンテナコードそれぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。**一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。**アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

### 電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源を取ることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

## ■ コネクタ着脱のポイント

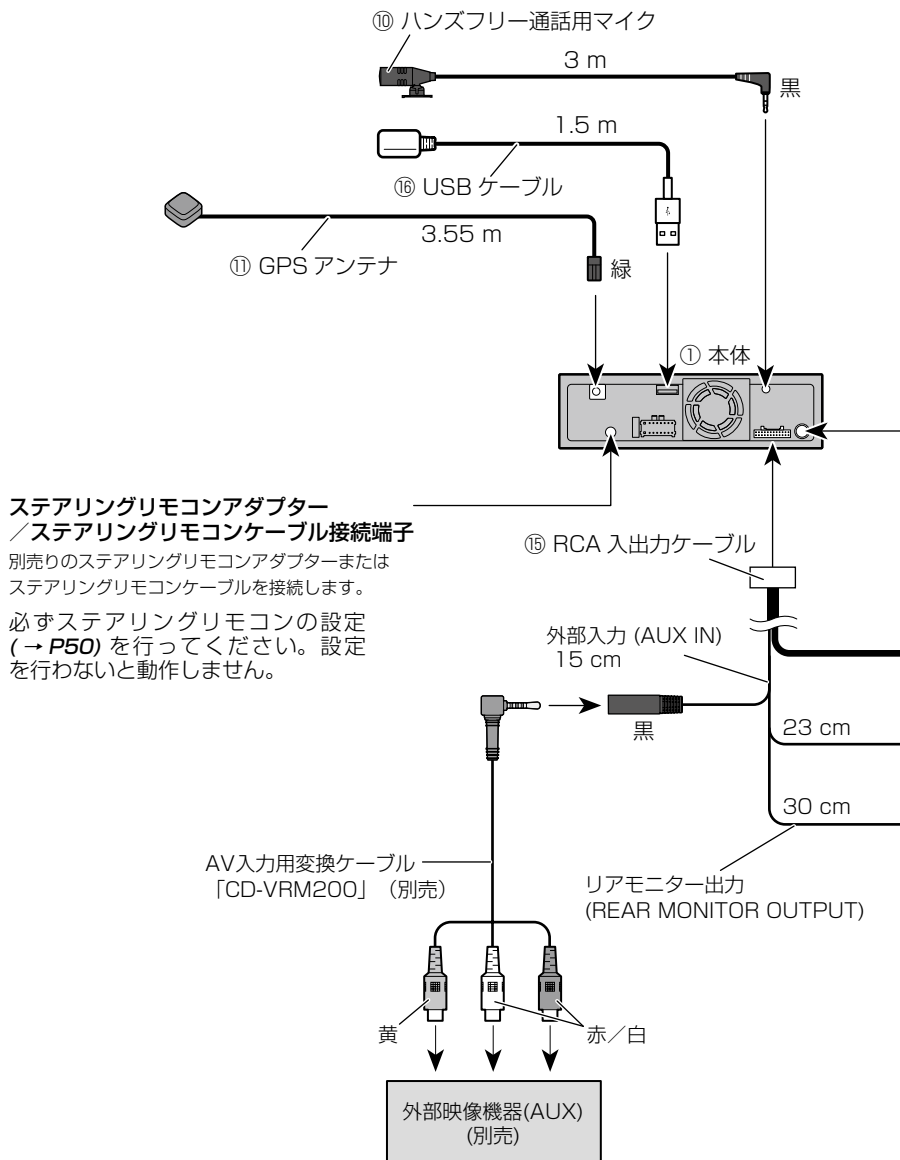
- コネクタは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクタを外すときは、コネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



例：電源コードの場合

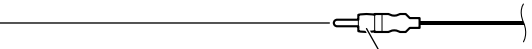
## システムの接続

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

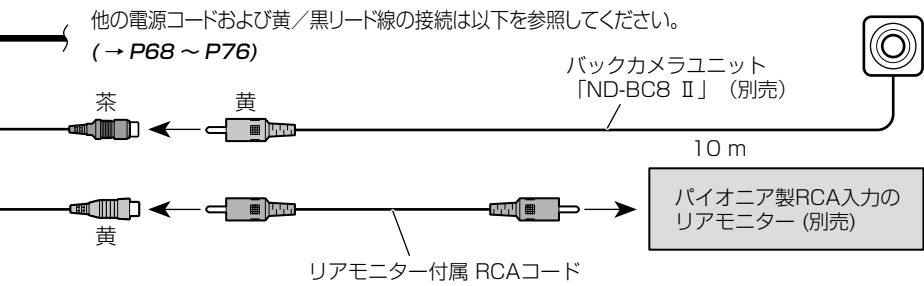


### メモ

- 本機に外部映像機器を接続したときは、システム設定の「AUX 入力設定」をオンに設定してください (→ P49)。



車載ラジオ用アンテナプラグ



**ご注意**

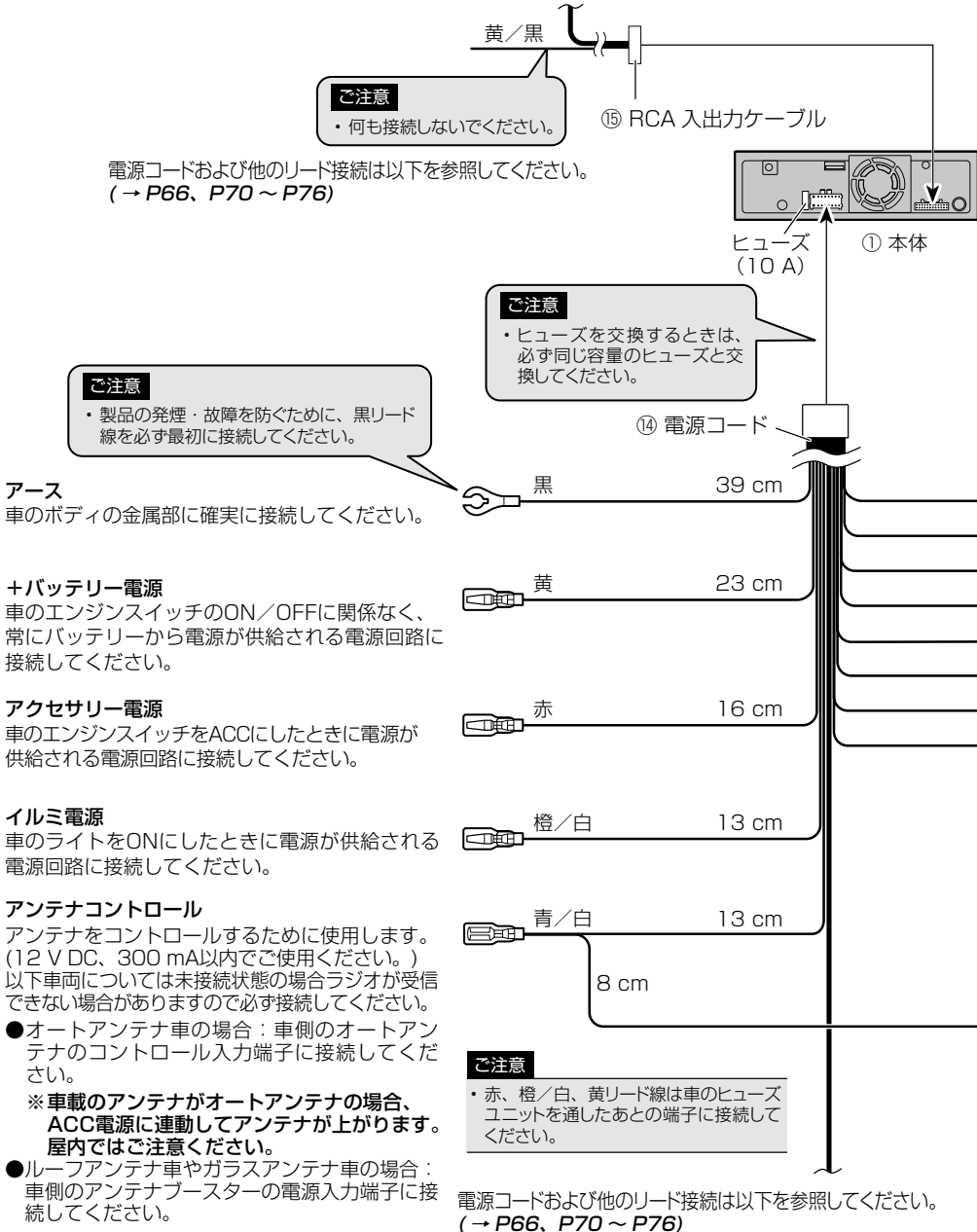
- 接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。
- パイオニア製以外のモニターを接続した場合は画像が乱れる場合があります。また、フロントモニターに表示される映像と画質は異なります。

本機の接続／取り付け

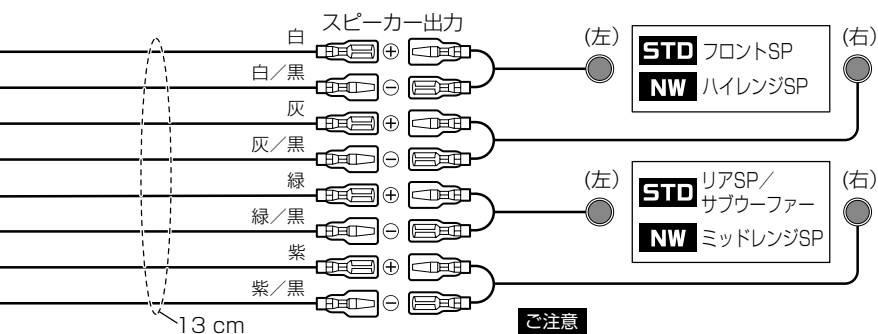
## 電源コードの接続

### ■アース・バッテリー電源・アクセサリ電源などの接続

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

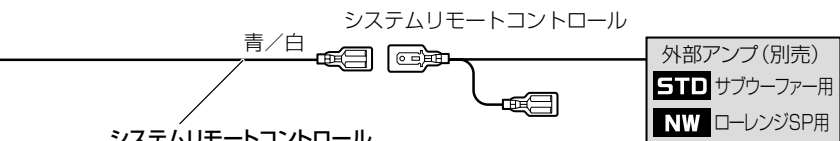


(バック信号入力・車速信号・パーキングブレーキコードは次ページです)



**ご注意**

- ・スピーカーを接続しないスピーカーリード線には何も接続しないでください。



**システムリモートコントロール**

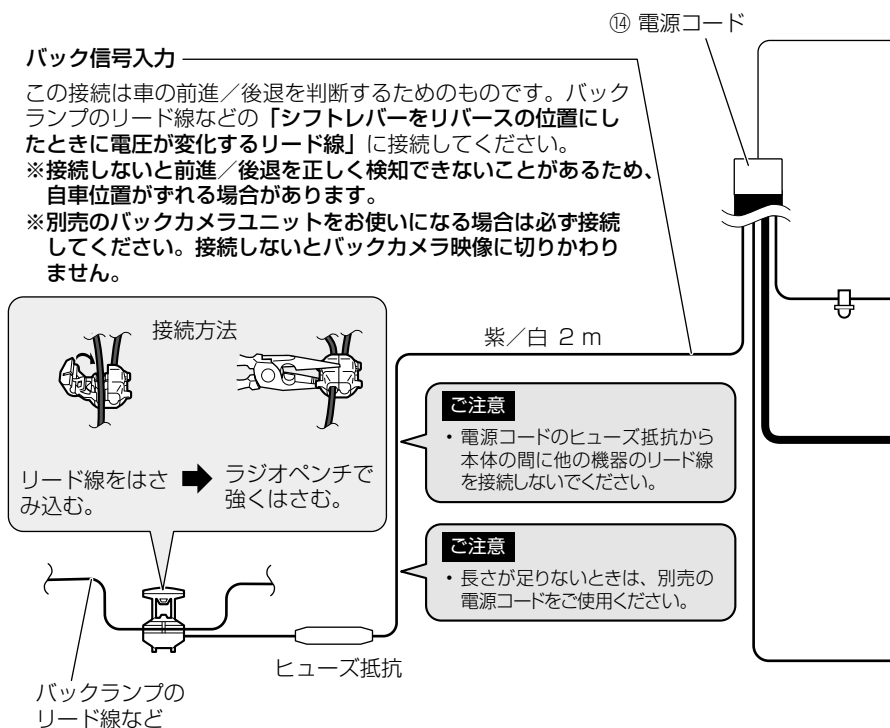
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

**STD** :スピーカーモード設定がスタンダードモードのとき

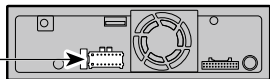
**NW** :スピーカーモード設定がネットワークモードのとき

## ■バック信号入力・車速信号・パーキングブレーキコードの接続

- ・ 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



① 本体



車のインジェクション  
コンピューター



車速信号

車の走った距離を検出するために使用します。  
必ず車の車速検出回路に接続してください。  
インジェクションコンピューターの車速検出回路の位置および車速検出回路リード線の線径は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

市販のエレクトロタップ  
(配線コネクター)

車速検出回路  
のリード線

ピンク 2 m (線径 : AVS 0.3sq / AWG 22)

ご注意

- 必ず電源コード側と車両側の車速検出回路リード線の線径に合ったエレクトロタップ (配線コネクター) を使用してください。線径が合っていない物を使用すると接触不良の原因となります。

電源コードおよび他の  
リード線の接続は以下  
を参照してください。

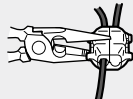
(→ P66 ~ P68,  
P72 ~ P76)

パーキングブレーキコード

若草色 2 m



接続方法

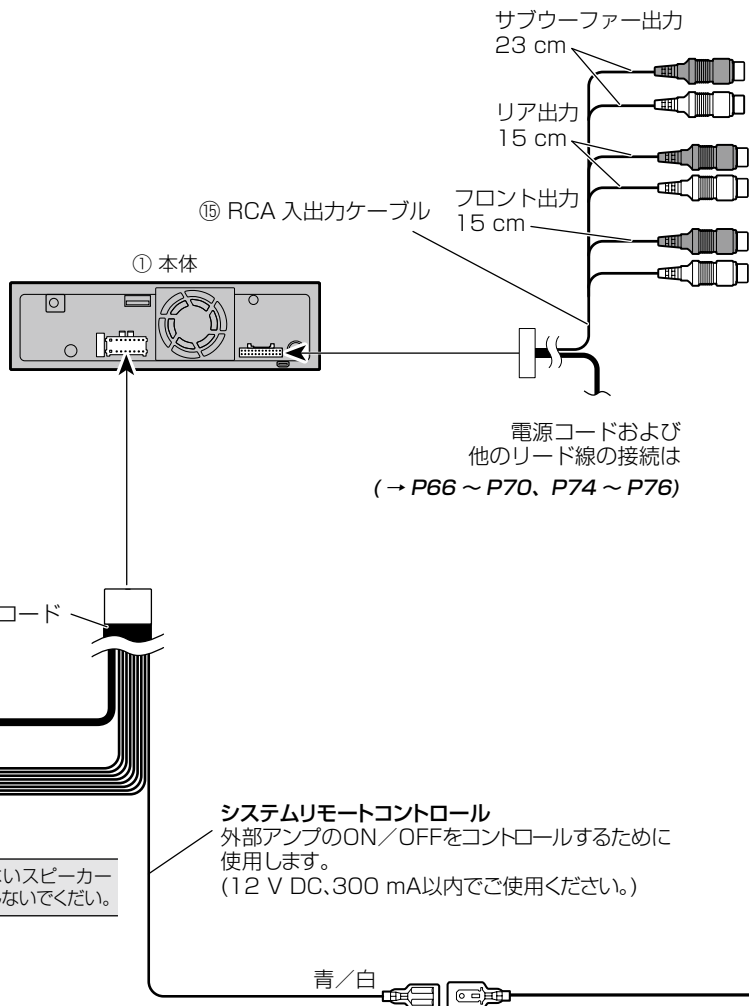


パーキングブレーキ  
スイッチの+側リー  
ド線をはさみ込む。

ラジオペンチで  
強くはさむ。

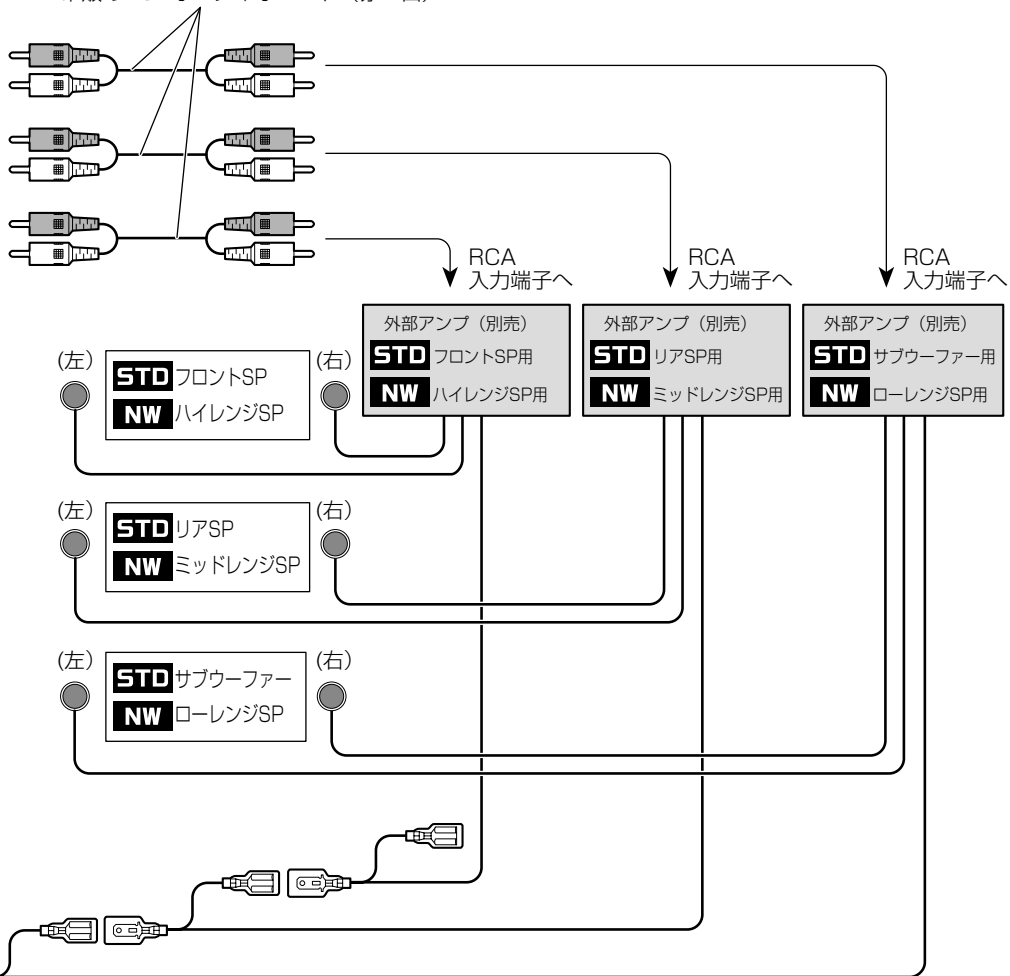
## 外部アンプの接続

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。





市販のRCAオーディオコード（赤・白）



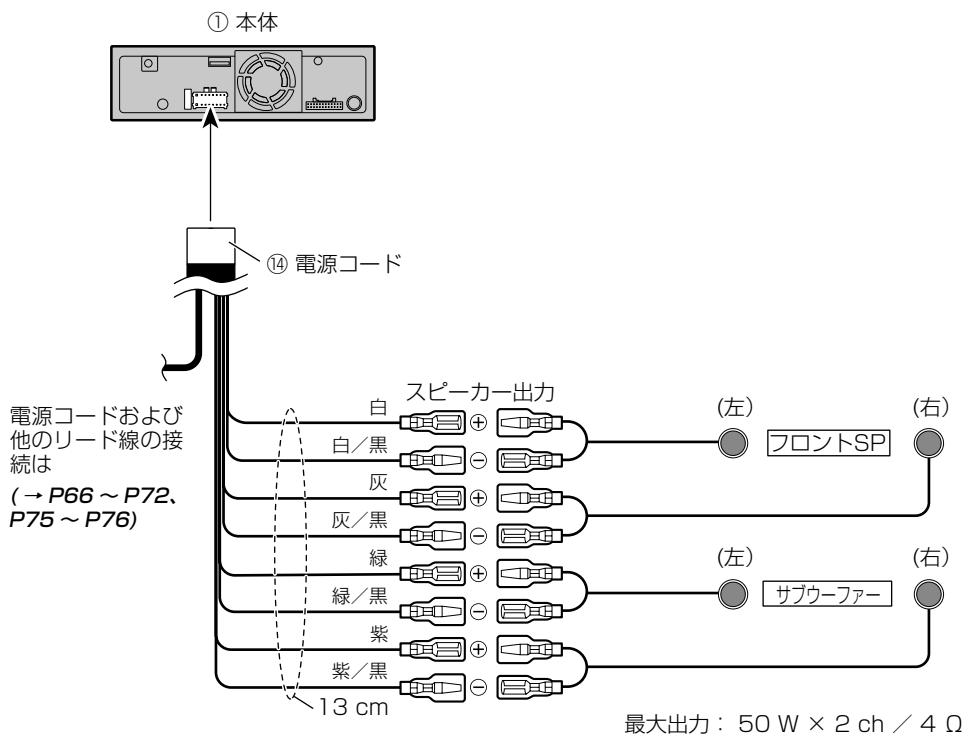
システムリモートコントロール

**STD** :スピーカーモード設定がスタンダードモードのとき  
**NW** :スピーカーモード設定がネットワークモードのとき

## サブウーファーの接続

### ■パターン①

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



本機の接続／取り付け

#### ご注意

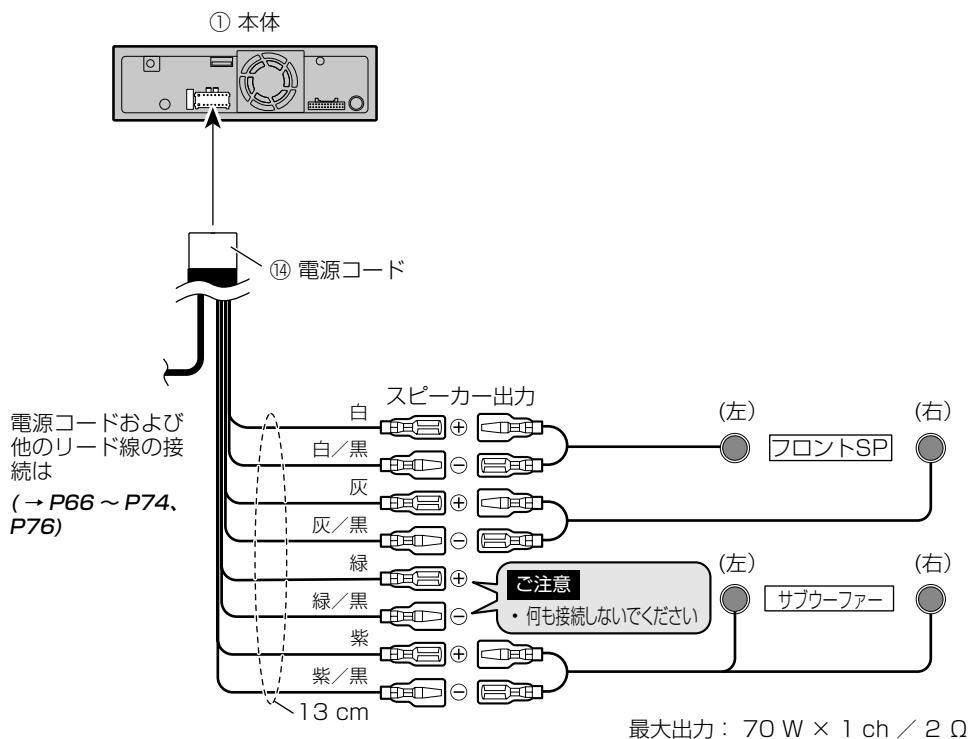
- 本機のリアスピーカー端子にサブウーファーを接続したときは、オーディオ設定メニューのリアスピーカー出力をサブウーファーに設定してください (→ P58)。また、オーディオ設定メニューのサブウーファーのオン/オフの設定をオンに設定してください (→ P57)。

#### メモ

- 上記の接続例は、4 Ωのサブウーファー 2 個を 2 ch / 4 Ωとして使用しています。

## ■ パターン②

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



本機の接続／取り付け

### ご注意

- 本機のリアスピーカー端子にサブウーファーを接続したときは、オーディオ設定メニューのリアスピーカー出力をサブウーファーに設定してください (→ P58)。また、オーディオ設定メニューのサブウーファーのオン/オフの設定をオンに設定してください (→ P57)。

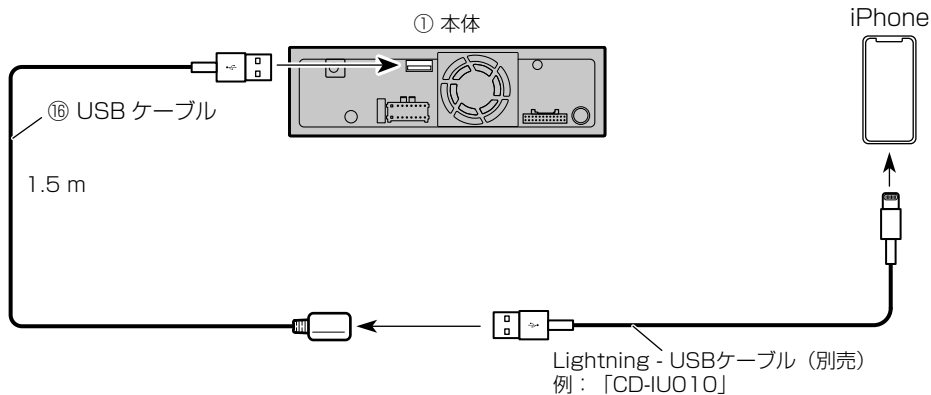
### メモ

- 上記の接続例は、4 Ωのサブウーファー 2 個を並列接続して 1 ch / 2 Ωとして使用しています。

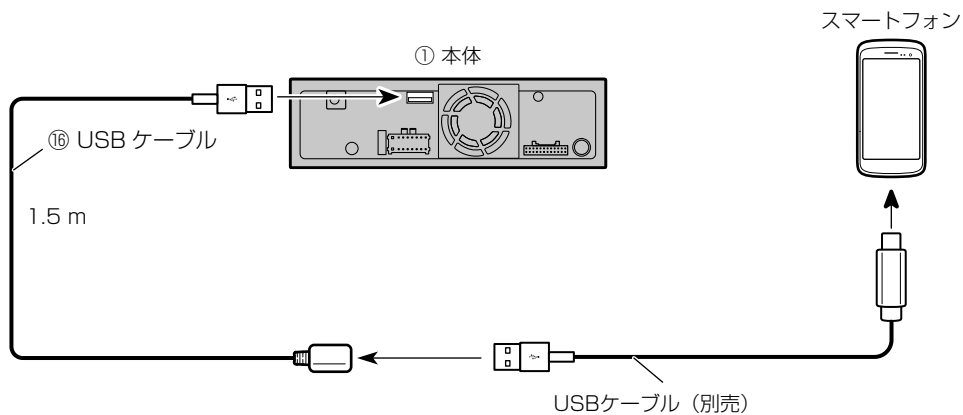
## iPhone / スマートフォンの接続

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

### ■ iPhone を接続する場合



### ■ スマートフォンを接続する場合



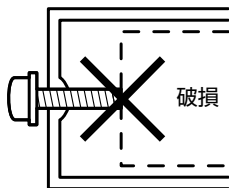
# 車に本機を取り付ける

## 取り付けの前に知ってほしいこと

### ■ 取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できず外れたりして危険です。

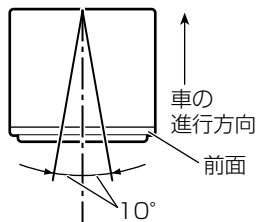
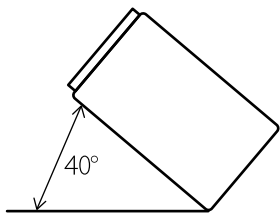
ケース



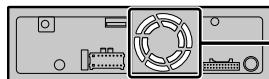
- 車種により製品取り付けの際に車両側の一部加工が必要となる場合があります。その場合加工後は加工した箇所は復元は出来ません。ご了承ください。

詳しくは販売店にご相談ください。

- 本機の性能を十分に発揮するために、できるだけ水平に取り付けてください。また、取り付ける車両の特性上、取り付け角度が傾いてしまう場合は、水平に対して上の傾き 40 度以内の角度で取り付けてください。左右の傾きは車の進行方向に対して本体の前面が 10 度以内の角度で取り付けてください。

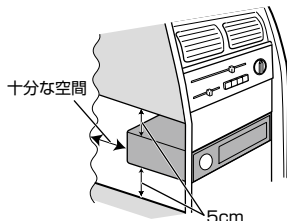


- 放熱を妨げないために、下図の囲んだ部分を塞がないように配置してください。



この部分を塞がないでください。

- 取り付け時は、放熱をよくするために、機器の背面に十分な空間を確保してください。通風孔をふさぐことのないように、ケーブル類はまとめてください。



- 本機を車に取り付ける際に、本機を無理に押し込まないでください。

USB 端子を損傷するおそれがあります。

## ■ 取り付けのポイント

### 取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けてください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

### 取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

## 本機の取り付け

ディスプレイ位置を調整して取り付けることができます。

ディスプレイは運転の妨げにならない位置に取り付けてください。

ディスプレイの取り付け位置は、取り付け前に「ディスプレイの角度と取り付け寸法について」(→P83)を参照してください。

本製品は、ディスプレイを本体と分離して設置することもできます。詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

### ご注意

- がたつきや飛び出し防止のため、市販の取り付けケースは使用しないでください。

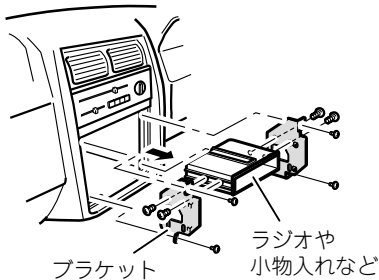
### メモ

- 本製品のディスプレイには飛散防止フィルムが貼られています。本フィルムを剥がしたり、別のフィルムを貼り付けたりすることはできません。また、本フィルムの縁に糊が付着している場合がありますが、ご使用上問題ありません。

## 1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



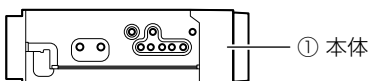
### ご注意

- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

## 2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットにあったネジ穴を使用して取り付けてください。ネジ穴は下図を参照してください。

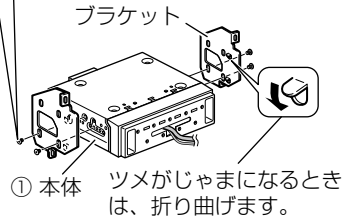
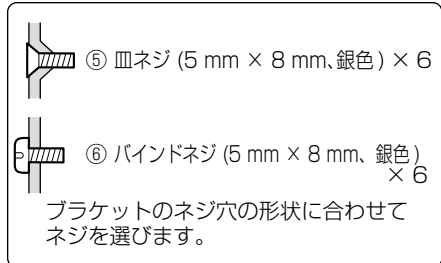


### メモ

- 車種によっては、ネジ穴をずらして取り付け位置を調整できます。

## 3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

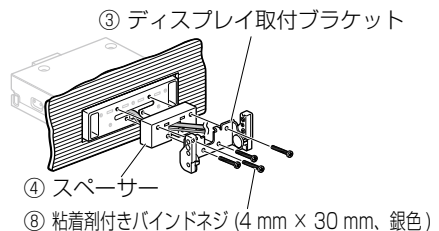
左側、右側、それぞれ3カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



### ご注意

- 本機を車に取り付ける際に、本機を無理に押し込まないでください。USB端子を損傷するおそれがあります。

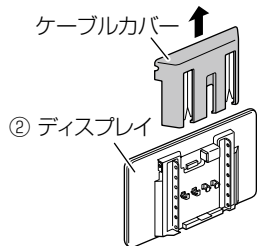
## 4 ③ ディスプレイ取付ブラケットと④ スペースを⑧ 粘着剤付きバインドネジ (4 mm × 30 mm, 銀色) 4本を使って取り付ける



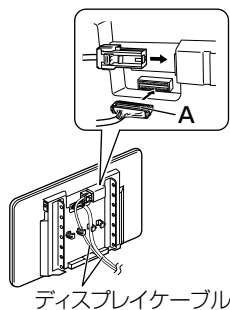
### ご注意

- ③ ディスプレイ取付ブラケットの取り付け位置は、中央、左、右の3カ所から選べます。運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車種によっては、② ディスプレイを取り付けるために前後位置の調整が必要な場合があります。
- ② ディスプレイの取り付け位置を前方にする場合は、④ スペースを使用してください。後方にする場合は、④ スペースを使用せずに取り付けをしてください。

## 5 ② ディスプレイ背面から、ケーブルカバーを取り外す



## 6 本体のディスプレイケーブルをディスプレイ背面のコネクタに接続する

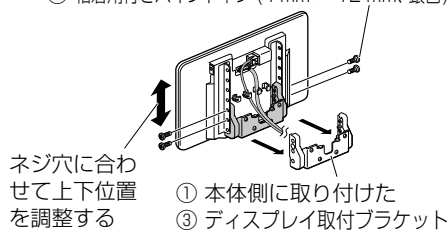


### ご注意

- ・突起部分 (A) を上にしてコネクタに接続してください。無理に上下逆さまに差し込むと、ケーブルが破損することがあります。

## 7 ② ディスプレイを ③ ディスプレイ取付ブラケットに取り付けて、ディスプレイの上下位置を調整し、 ⑦ 粘着剤付きバインドネジ (4 mm × 12 mm、銀色) 4本で固定する

⑦ 粘着剤付きバインドネジ (4 mm × 12 mm、銀色)



ネジ穴に合わせ上下位置を調整する

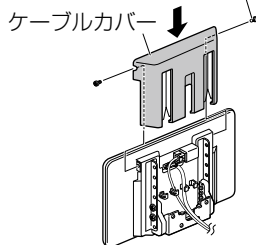
- ① 本体側に取り付けた
- ③ ディスプレイ取付ブラケット

### メモ

- ・ディスプレイケーブルは、本体の中にできるだけ押し込んでからディスプレイを取り付けてください。

## 8 ⑨ セレクション付ネジ (2 mm × 4 mm、黒色) 2本を使って、ケーブルカバーを ② ディスプレイに取り付ける

⑨ セレクション付ネジ (2 mm × 4 mm、黒色)



### ご注意

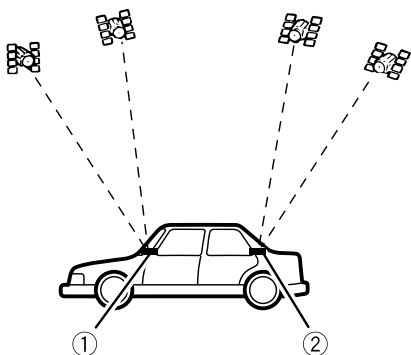
- ・ディスプレイケーブルを背面のフックに固定する際、無理にねじったり曲げたりしないでください。
- ・ケーブルカバーを取り付ける  
⑨ セレクション付ネジ (2 mm × 4 mm、黒色) は小さなネジである為、紛失にご注意ください。

### メモ

- ・ケーブルカバーの取り付け作業の際は、着磁したドライヤーを使用することをお奨めします。
- ・ケーブルカバーを取り付ける際は、ディスプレイを適度に手前に傾けると取り付けやすくなります。

# GPS アンテナの取り付け

## ■ 取り付け上のご注意



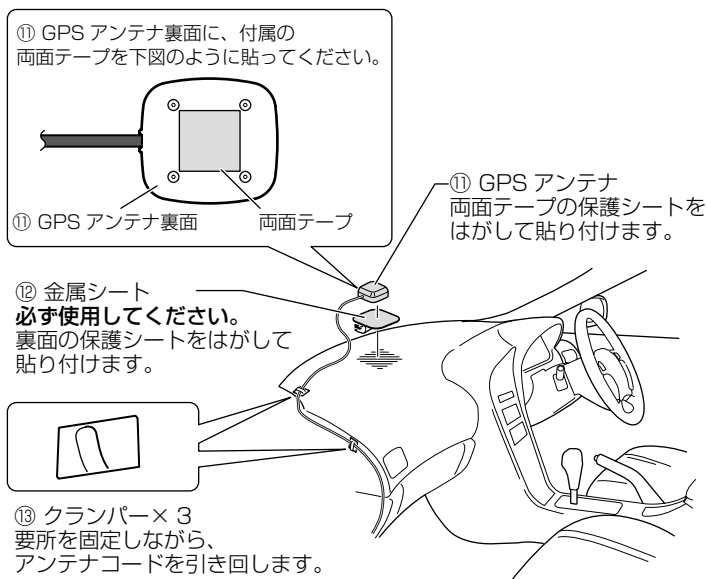
### ご注意

- GPSアンテナは、ダッシュボード(①)またはリアシエルフ(②)上に取り付けてください。
- 付属のGPSアンテナは車室内取り付け専用です。電波を通さないガラスを使用した車種の場合は、別売のGPSアンテナ(車室外取付用)をご使用ください。
- GPSアンテナは、ワイパーやピラーなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。
- GPSアンテナは、グローブボックス内などには設置しないでください。
- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナの取り付けには、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。
- 付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- GPSアンテナは、本体から30 cm以上離して設置してください。また、余ったGPSアンテナコードをまとめて置くときも、本体から30 cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下する場合があります。
- GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。コードが抜けてしまうことがあります。

## ■ 取り付け例 (ダッシュボード上)

車室内のなるべく水平な場所で、アンテナが空からの電波を受けやすい場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に貼り付けます。GPSアンテナの接続状態と受信状態を確認することができます(→P61)。

本機の接続／取り付け





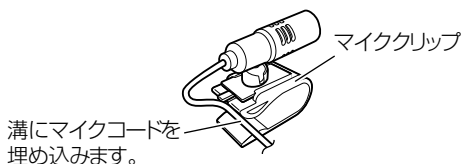
## ハンズフリー通話用マイクの取り付け

### ■ 取り付け上のご注意

- ・ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。
- ・マイクコードの配線の引き回しによっては、長さが足りずサンバイザーへの取り付けができない場合があります。その場合は、配線の引き回し位置を変えて取り付けてください。

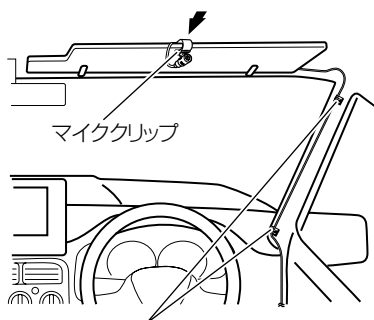
### ■ サンバイザーにはさんで取り付ける場合

#### 1 マイククリップの溝にマイクコードを埋め込む



#### 2 サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、通話相手側へ音声が届きにくくなります。

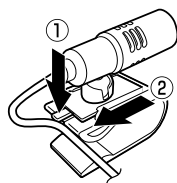


市販のクランパーなどで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。

### ■ ステアリングポストに取り付ける場合

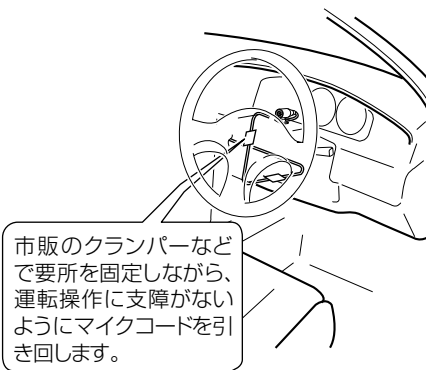
#### 1 マイククリップを取り外す

①のロックボタンを押しながら②の方向にスライドします。



#### 2 ステアリングポストにマイクを取り付ける

ステアリングポストに付属の両面テープで貼り付けます。



### ■ マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイクの可動部を矢印の方向に動かして調節します。



# 動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認および設定を行ってください。

## 1 接続・取り付けをもう一度確認する

### ご注意

- ・ 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、確認してください。

## 2 車のエンジンをかける

## 3 ケーブルやリード線の接続及び取り付けを確認する (→P61)

GPS アンテナや取り付け位置などの確認を行ってください。正しく接続されていない場合やしつかりと固定されていない場合は接続および取り付けをやり直してください。

## 4 初期設定および組み合わせた製品の設定をする

初期設定	初期設定をしていない場合は行ってください。初期設定については、「初めて電源を入れるとき」(→P15)を参照してください。
組み合わせた別売品	AUX (外部入力) : P49、59 バックカメラ : P49、59 ステアリングリモコン : P50 リアモニター : P26

### メモ

- ・ 組み合わせた別売品の取扱説明書も併せてご覧ください。

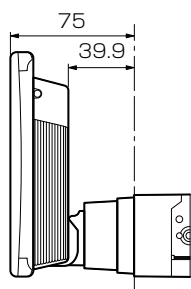


## ■ディスプレイ取り付け寸法・調整可能な位置

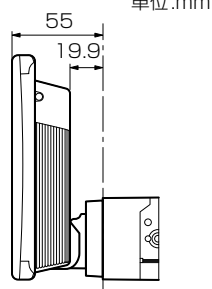
ディスプレイの前後左右寸法を確認して、取り付けてください。

### 前後位置

④ スパースーありの場合



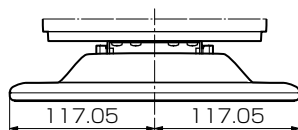
④ スパースーなしの場合



単位:mm

### 左右位置

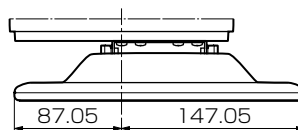
Center 単位:mm



Left 単位:mm

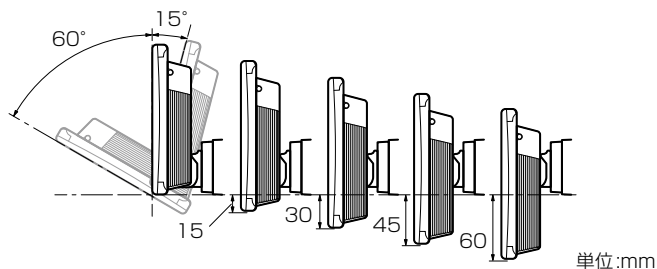


Right 単位:mm



## ■ディスプレイ角度と上下位置

ディスプレイの角度、上下位置の寸法を確認して、取り付けてください。



単位:mm

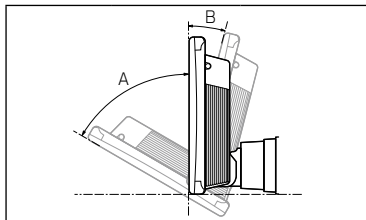
### ご注意

- 角度を調整するときは、指を挟まないように注意してください。特にお子様にはご注意ください。
- 上下・前後位置に応じて、調整できない角度があります。詳細については、「ディスプレイの角度調整範囲」を参照してください (→ P85)。

## ■ディスプレイの角度調整範囲

ディスプレイの角度調整範囲は表の寸法になります。

### 角度 (④ スペースありの場合)



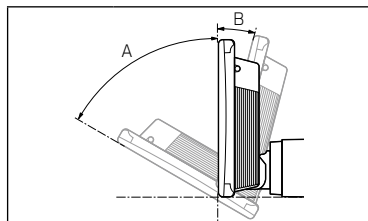
ディスプレイ 上下位置 単位 mm	A	B
0	0° ~ 60°	0° ~ -15°
-15	0° ~ 30°	
-30		
-45		
-60		

	ディスプレイ角度が 60° の場合					ディスプレイ角度が 30° の場合					ディスプレイ角度が -15° の場合				
	A	A'	B	B'	C	A	A'	B	B'	C	A	A'	B	B'	C
0	54.16	160.00	-14.03	41.89	35.13	107.22	126.41	-10.89	58.21	36.97	139.22	39.24	7.48	74.54	15.44
-15						94.23	118.91	-23.88	50.71	29.47	124.73	43.12	-7.01	78.42	19.33
-30						81.24	111.41	-36.87	43.21	21.97	110.24	47.01	-21.50	82.30	23.21
-45						68.25	103.91	-49.86	35.71	14.48	95.75	50.89	-35.99	86.19	27.09
-60						55.26	96.41	-62.85	28.21	6.97	81.26	54.77	-50.48	90.07	30.97

単位 :mm

本機の接続  
取り付け

## 角度 (④ スペーサーなしの場合)



ディスプレイ 上下位置 単位 mm	A	B
0	0° ~ 60°	0° ~ -15°
-15	0° ~ 30°	
-30		
-45		
-60		

	ディスプレイ角度が 60° の場合					ディスプレイ角度が 30° の場合					ディスプレイ角度が -15° の場合				
	A	A'	B	B'	C	A	A'	B	B'	C	A	A'	B	B'	C
0	54.16	140.00	-14.03	21.89	15.13	107.22	106.41	-10.89	38.21	16.97	139.22	19.24	7.48	54.54	-4.56
-15						94.23	98.91	-23.88	30.71	9.47	124.73	23.21	-7.01	58.42	-0.68
-30						81.24	91.41	-36.87	23.21	1.97	110.24	27.01	-21.50	62.30	3.21
-45						68.25	83.91	-49.86	15.71	-5.53	95.75	30.89	-35.99	66.19	7.09
-60						55.26	76.41	-62.85	8.21	-13.03	81.26	34.77	-50.48	70.07	10.97

単位 :mm

本機の  
接続／  
取り付け

### ご注意

- 空白欄の角度での調整はできません。
- 上記の可動範囲は本機として可能な可動範囲です。車両へ取り付け後の可動範囲は車両によって異なります。

## 故障かな？と思ったら

### 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



### それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(→ P91)をお読みになり、修理を依頼してください。ディスプレイと本体を一緒にお出してください。

## ■ 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	コネクタが奥までしっかり挿入されているか、アース線がボディの金属部にしっかり接続されているかどうか、もう一度確認してください(→ P66 ~ 76)。
	ヒューズが切れている。	切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください(→ P68)。
電源を入れると、バックカメラの映像が表示される。 車のシフトレバーをバックに入れるとバックカメラの映像が消える。	バックカメラの極性が合っていない。	システム設定の <b>防ズブ極性設定</b> をLowに設定してください(→ P49)。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください(→ P14)。
	ミュートがONになっている。	ミュートを解除してください(→ P58)。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→ P54)。
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください(→ P66 ~ 76)。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→ P54)。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→ P54)。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。 パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください(→ P70)。
Ⓢ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	キー操作が無効な操作をしている。	この操作はできません。
音や映像が途切れる。	本機が確実に固定されていない。	本機を確実に固定してください。
画像の一部が隠れる、画面が伸びる、アスペクト比が合わない。	ディスプレイに対しての設定が正しくない。	ディスプレイに合った設定にしてください(→ P60)。

## ■ ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください(→P27)。
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください(→P27)。
	周りに障害物があるなど、受信状態がよくない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります(→P65)。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手で選局してください(→P27)。
ラジオが受信できない。 FMは受信するが、AMが受信できない。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください(→P68)。
受信感度が悪い。	自動車のアンテナがのびていない。	アンテナを確実に伸ばしてください。

## ■ USB 機器、スマートフォン (USB 接続で MTP 接続モード: オン → P48)

症状	原因	処置
USB 機器を認識しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定が正しくない。</li> <li>接続するケーブルが正しく接続されていない。</li> </ul>	お使いになる USB 機器側で MTP 接続モードへ切りかえてください。モードの切りかえ方法については、お使いになる USB 機器の説明書をご覧ください。接続するケーブルの接続状態を確認してください。
ファイルを再生できない。	再生できないファイルです。	対応フォーマットを確認してください(→P95)。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたファイルを使用してください(→P95)。
聴きたいファイルが見つからない。	ファイルに正しい拡張子が付いていない。	ファイルに正しい拡張子を付けてください(→P95)。
ミュージックブラウザモード中のランダム再生が解除される。	エンジンスイッチを OFF にするとミュージックブラウザモードは解除されます。	ミュージックブラウザモードが解除されてしまった場合は、曲のリストで tag にタッチしてから曲を選ぶと再びミュージックブラウザモードになります(→P35)。

## ■ iPhone (USB 接続) / スマートフォン (USB 接続で MTP 接続モード: オフ → P48)

症状	原因	処置
再生できない。	接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルを外し、もう一度接続してください(→P76)。
	本機で対応していない iPhone / スマートフォンを使用している。	本機で対応している iPhone を使用してください(→P11)。 Android 8.0 以降搭載の Android スマートフォンをご使用ください。



## ■ Bluetooth (iPhone / スマートフォン含む)

症状	原因	処置
Bluetooth 接続ができない。	Bluetooth 機器登録をしていない。 接続する機器を変えた。	接続したい機器を本機に機器登録してください。 接続したい機器に切りかえてください。
音が出ない、音が小さい。	Bluetooth Audio 機器側の音量が小さい。	Bluetooth Audio 機器側の音量を上げてください。
HFP 接続はできるが、SPP 接続ができない (アプリ機能が使えない)。	Bluetooth 機器が正しく動作していない。	Bluetooth 機器の Bluetooth 通信機能を OFF → ON してください。それでも正常にならない場合は、Bluetooth 機器を再起動してください。
HFP 接続ができない	Bluetooth 機器が認識されていない。	車のエンジンスイッチを OFF → ON (ACC OFF → ON) してください。 接続ができない登録済みの機器を削除し、もう一度登録・接続を行ってください。
接続中の Bluetooth Audio 機器との接続が一時的に中断する。	Bluetooth 機器が正しく動作していない。	以下を試してください。自動的に再接続を行います。 ・ AV ソースを切りかえる ・ ACC を OFF / ON にする

## ■ WebLink

症状	原因	処置
音が出ない	接続したい機器の Bluetooth 接続がされていない。	接続したい機器を本機に Bluetooth 接続してください (→ P22)。

## こんなメッセージが表示されたら

### ■ 共通項目

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
AMP Error	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチを OFF → ON (ACC OFF → ON) してもメッセージが消えない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
Product overheat. System will be shut down automatically in 15 seconds.Restart the product by ACC-Off/On may fix this problem. If this message keeps showing up, it is possible that some problem occurred in the product.	本機の温度が高くなっているとき。	本機の温度が下がるまで、エンジンスイッチを OFF (ACC オフ) にしてください。

## ■ USB 機器、スマートフォン (USB 接続で MTP 接続モード: オン → P48)

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
再生できないファイルです	ファイルが本機で再生できないとき。 曲が入っていないとき。 セキュリティ機能付きの USB 機器を接続したとき。	本機で再生できるファイルに切りかえてください。 オーディオファイルを USB 機器に転送し、本機に接続してください。 USB 機器の説明書にしたがって、セキュリティを解除してから使用してください。
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
再生できない USB です	接続された USB 機器が本機に対応していないとき。 接続された USB 機器のフォーマットが、FAT16、FAT32、NTFS でないとき。	USB Mass Storage Class 対応の、USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB 機器を接続してください。 フォーマットが FAT16、FAT32、NTFS の USB 機器を接続してください。
USB を確認してください	USB コネクタまたは USB 延長ケーブルがショートしたとき。 規定以上の電流を消費する USB 機器を接続したとき。	USB コネクタまたは USB 延長ケーブルが破損していないか確認してください。 接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。次に、対応する USB 機器を接続してください。
再生できない音声です	ファイルタイプが本機に対応していないとき。	本機で再生できるファイルに切りかえてください。
作成されたデータベースが無効です	データベース構築中に、ビデオメディアや JPEG 画像表示に切りかえたとき。	もう一度データベースを作成してください (→ P35)。

## ■ iPhone (USB 接続)

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
iPhone との通信で問題が発生しました。 再接続してください。	正常に通信できないとき。 iPhone に問題が発生したとき。	コネクタを一度外し、iPhone のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPhone が正常に動作しない場合は、iPhone をリセットしてください。 コネクタを一度外し、iPhone のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPhone が正常に動作しない場合は、iPhone をリセットしてください。
停止	曲が入っていないとき。	iPhone に曲を転送し、本機に接続してください。

## ■ スマートフォン (USB 接続で MTP 接続モード: オフ → P48)

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
停止	曲が入っていないとき。	スマートフォンに曲を転送し、本機に接続してください。

## 保証書とアフターサービス

### ■ 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

### ■ 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### ■ 修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります）。

なお、修理にお出しいただく場合は、ディスプレイと本体を一緒にお出しください。

#### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。尚、生産終了により補修用性能部品の調達や修理後の性能保証などの事情から修理できない場合があります。あらかじめご了承ください。

#### 車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取り付け店にご相談ください。

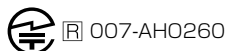
### ■ ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 商標・著作権など

本機は、電波法に基づく工事設計認証を取得した特定無線設備を使用しています。

WML-C95



### Bluetooth



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

### Wi-Fi

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。



Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

### WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

### T-Kernel 2.0

This Product uses the Source Code of T-Kernel 2.0 under T-License 2.2 granted by TRON Forum ([www.tron.org](http://www.tron.org)).

## FLAC について

Copyright © 2000-2009 Josh Coalson

Copyright © 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## DivX



DivX<sup>®</sup>、DivX Certified<sup>®</sup>、関連ロゴは、DivX, LLC の商標であり、使用には許可が必要です。

この DivX Certified<sup>®</sup> デバイスは、最大 576p の DivX<sup>®</sup>-Home Theater 動画ファイル (.avi, .divx) を再生できます。DivX のソフトウェアを無料でお試しください。www.divx.com よりダウンロードして、デジタル動画の作成、再生、ストリーミングをお楽しみください。

## Google、Android、Google Play

Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。

## Android Auto



Android Auto は Google LLC の商標です。

## Apple Music、iPhone、Siri、Lightning



Apple、Apple のロゴ、Apple Music、iPhone、Siri および Lightning は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。日本における iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Made for Apple バッジの使用は、バッジ内に記してある Apple 製品に接続するよう設計され、Apple が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。

Apple は、本製品の機能や安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

このアクセサリを Apple 製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。Siri はマイクを通して機能します。

## App Store

App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービスマークです。Apple、Apple のロゴは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

## iOS

iOS は米国その他の国における Cisco の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

## iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

## Apple CarPlay



Apple CarPlay は、米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Apple CarPlay ロゴの使用は、車両のユーザーインターフェースが、Apple が定める性能基準を満たしていることを示します。Apple は、車両の操作や安全および規制基準への準拠について一切の責任を負いません。本製品を iPhone や iPod と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

## DOLBY®

ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブル D 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。



## WebLink

WebLink™ および WebLink Cast™ は、Abalta Technologies, Inc. の登録商標です。

WebLink でアクセスしたコンテンツや機能については、アプリやコンテンツの提供者の責任であり、この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

WebLink でアクセスした当社以外のコンテンツやサービスの提供は予告なく変更または中止されることがあります。

## YouTube

YouTube は Google LLC の商標です。

## 再生可能なメディアとファイルについて

本機では、次の条件に合ったファイルを再生することができます。

フォーマット	拡張子	対応メディア	
		USB (MSC 接続)	USB (MTP 接続)
MP3	.mp3	○	○
WMA	.wma	○	○
WAV	.wav	○	×
AAC	.m4a	○	○
FLAC	.flac	○	×
DSD	.dff / .dsf	○	×
MPEG-4	.mp4 / .mkv / .mov / .avi / .m4v / .ts / .m2ts / .mts	○	×
MPEG-2	.mpg / .mpeg / .ts / .m2ts / .mts	○	×
DivX	.divx / .avi	○	×
H.264	.mp4 / .mkv / .mov / .flv / .avi / .m4v / .ts / .m2ts / .mts	○	×
H.263	.mp4 / .mov / .avi / .m4v / .3gp	○	×
VC-1	.wmv / .asf / .mkv	○	×
JPEG	.jpg / .jpeg / .jpe	○	×
PNG	.png	○	×
BMP	.bmp	○	×

### ■ 共通

ファイルシステム	FAT16 FAT32 NTFS
最大フォルダー数	1 500
最大ファイル数	15 000

### ■ MP3 (音声ファイル)

ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR) / VBR
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz
ID3 tag	Ver.1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 ミュージックブラウザモード使用の場合 Ver.2.2 / 2.3 / 2.4

#### メモ

・サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応。

### ■ DSD64 / DSD128

サンプリング周波数	DSD64 : 28 822.4kHz DSD128 : 5 644.8kHz
量子化ビット数	1 bit

#### メモ

・ファイルのサンプリング周波数が 48kHz を超える場合は、本機側で 48kHz にダウンコンバートして再生されず。

## ■ WMA (音声ファイル)

ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR) / VBR
サンプリング周波数	32 kHz ~ 48 kHz

## ■ WAV (音声ファイル)

シグナルフォーマット	リニア PCM (LPCM)
量子化ビット数	8bit / 16bit / 24bit / 32bit(intのみ)
サンプリング周波数	16 kHz ~ 192 kHz



- ・ファイルのサンプリング周波数が 48kHz を超える場合は、本機側で 48kHz にダウンコンバートして再生されません。

## ■ AAC (音声ファイル)

ビットレート	16 kbps ~ 320 kbps (CBR)
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz



- ・iTunes でエンコードされた AAC ファイルを再生できます。

## ■ FLAC (音声ファイル)

量子化ビット数	8bit / 16bit / 24bit
サンプリング周波数	8 kHz ~ 192 kHz



- ・ファイルのサンプリング周波数が 48kHz を超える場合は、本機側で 48kHz にダウンコンバートして再生されません。

## ■ MPEG-4 (動画ファイル)

最大解像度	1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	40 Mbps

## ■ MPEG-2 (動画ファイル)

最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	40 Mbps

## ■ DivX (動画ファイル)

最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	40 Mbps

## ■ H.264 (動画ファイル)

最大解像度	1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	40 Mbps



## ■ H.263 (動画ファイル)

最大解像度	1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	20 Mbps

## ■ VC-1 (動画ファイル)

最大解像度	1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート	30 fps
最大ビットレート	45 Mbps

## ■ JPEG (静止画ファイル)

最大解像度	8 192 ピクセル × 7 680 ピクセル
-------	-------------------------

### メモ

- ・解像度が 8 192 ピクセル × 7 680 ピクセルまでのベースライン JPEG と、EXIF2.1 に対応しています (EXIF 形式は、デジタルカメラで一般的に使用されているファイル形式です)。

### ご注意

- ・プログレッシブ JPEG の再生には対応していません。
- ・コンピューターで加工された EXIF ファイルは、再生できないことがあります。

## ■ PNG (静止画ファイル)

最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル
-------	---------------------

## ■ BMP (静止画ファイル)

最大解像度	1 920 ピクセル × 936 ピクセル
-------	-----------------------

### ご注意

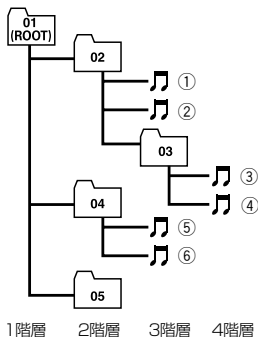
- ・ファイルをエンコードしたアプリによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ファイルをエンコードしたアプリによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります
- ・本機で画像データを含む音楽ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ・本機は、以下の形式には対応していません。
  - Windows Media™ Audio Professional (5.1ch)
  - Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
  - Windows Media Audio Voice
  - Apple ロスレス・エンコーダ
- ・ID3 tag の Ver.1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。ID3 tag の環境によっては正常に表示されない場合があります。
- ・m3u のプレイリストには対応していません。
- ・MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ・iTunes Store で購入された音楽 (.m4p) は、USB 機器に記録して再生できません。
- ・使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- ・表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- ・DivX Ultra と DivX plus HD format には対応していません。
- ・映像データが収録されていないファイルは、DivX ファイルと認識できません。
- ・DivX ファイル内の構成により、特殊再生などが禁止されることがあります。
- ・DivX のパートナーサイト以外からダウンロードした DivX ファイルの再生は保証していません。
- ・2 GB を超える音楽ファイル、16 GB を超える動画ファイルは、再生しない場合があります。

### メモ

- ・パーティションを作った USB メモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- ・本機では、最大で 8 時間までのファイルの表示に対応しています。

## メディア内のフォルダー構成について

- メディア内のフォルダーと圧縮音源ファイルの構成は、下図のようになります（USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります）。



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、①~⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、USB メモリーに書き込まれた順番になります。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
  1. コンピューターで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
  2. それらのファイルをフォルダーに入れる。
  3. フォルダー単位でメディアにコピーする。ただしコンピューターの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。

### ご注意

- 対応した音楽ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの音楽ファイルの再生に対応しています。ただし階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下の通りです。
  - USB：最大 1 500 フォルダー、最大 15 000 ファイル

### A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。

### AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

### AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

音楽の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

### BSM

「Best Stations Memory」の略で、受信状態の良い放送局を探して、プリセットチャンネルに自動的に登録する機能です。

### DivX

DivX は、DivX, LLC. が開発したデジタルビデオフォーマットです。DivX Home Theater Certified デバイスは、高画質な DivX Home Theater 動画再生 (.avi .divx) のテストを受けています。DivX のロゴは、お気に入りの動画を自由に再生できるという安心の証です。

### DRM

DRM は Digital Rights Management の略。デジタルコンテンツにおいてコンテンツホルダーが持つ著作権などの権利が不当に侵害されることを防ぐため、コンテンツの利用や複製を制限する仕組みの総称です。

### DSD

Direct Stream Digital (ダイレクト・ストリーム・デジタル) の略称。音声をデジタル化する方式の 1 つで、音の細かいニュアンスの忠実な再現を目指して開発されたフォーマットです。

### EXIF

「Exchangeable Image File Format」の略です。富士フイルムが提唱した、デジタルカメラ用の画像ファイルの規格です。各社のデジタルカメラでの標準仕様として採用されています。画像データだけでなく、縮小画像（サムネイル）や、画像についての情報、撮影日時などの付加情報を記録できます。

### FLAC

「Free Lossless Audio Codec」の略で、オープンソースとして開発された音声フォーマットです。MP3 や AAC と異なり、可逆圧縮であるため、音質を劣化させることなく圧縮できます。

### H.264

動画圧縮規格の一つです。従来方式である MPEG-2 などの 2 倍以上の圧縮効率を実現し、携帯電話などの低ビットレート用途から、HDTV クラスの高ビットレート用途に至るまで幅広く利用されることを想定しています。

### HFP (Hands Free Profile)

ハンズフリー通話するためのプロファイルです。

### ID3 tag

曲の関連情報を MP3 ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容は ID3 tag 編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

### JPEG

「Joint Photographic Expert Group」の略で、画像圧縮技術に関する基本フォーマットです。

### m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。

## MP3

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮できます。

## MPEG

「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。

## MSC

Mass Storage Classの略。USB機器の典型的な機能や接続・制御仕様の標準を定めたUSBデバイスクラスの一つで、ストレージ（外部記憶装置）について定めた規格です。

## MTP

Media Transfer Protocolの略。パソコンとスマートフォンやデジタルオーディオプレーヤーなどをUSBケーブルで結んで音声や動画などのメディアファイルを転送するプロトコルの一つです。

## PBAP

Phone Book Access Profile (PBAP)仕様は、機器間で電話帳オブジェクトを交換するための手順とプロトコルを定義しています。特に、車載端末デバイスがモバイルデバイスから電話帳オブジェクトを取得します。自動車のハンズフリーの使用例に合わせて設計されています。また、このプロファイルは、サーバー機器に保存されている電話帳オブジェクトへのアクセスを必要とするあらゆるクライアント機器によって使用される可能性があります。

## QWERTY キーボード

一般的な文字配列のキーボードです。

## SPP (Serial Port Profile)

シリアル通信するためのプロファイルです。

## VBR

「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

## WAV

「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

## WebLink

Abalta社の提供する、車載インフォテインメントにスマートフォン・アプリを表示したり、スマートフォンのブラウザをそのまま活用できるようにするテクノロジーです。

## WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードできます。

## YouTube

YouTubeはGoogle社が運営する世界最大の動画共有サービスです。本機ではWebLink HostアプリをインストールしたiPhone／スマートフォンを接続することで視聴することが出来ます。（※3rdパーティアプリはパイオニアの責任範囲外です。仕様が変わることがあります）

## アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルディスプレイは4：3ですが、ワイドディスプレイは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

## ウィジェット

ホーム画面に表示されるメニューやキーのことです。機能によっては通知や情報が表示されます。

## ビットレート

1秒あたりの情報量を表し、単位はbps（bit per second）です。この数字が大きいくほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式（MP3など）での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります（異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません）。

## プライベートモード

通話時、ハンズフリー機能を一時的に使用せず、スマートフォンのスピーカーから音声を出力させる機能です。同乗者に通話内容を聞かれないときなどに使用します。

## フリック入力

キーにタッチした後、入力したい文字が表示された方向にフリックして入力する方法です。

## ミュージックブラウザ

データベースを構築することで、アルバム名、アーティスト名などの項目別リストからお好みの曲を選んで再生できます。

## ミラーリング

iPhone やスマートフォンの画面を連動して表示させることです。iPhone やスマートフォンで操作したり、本機側で操作することができます。

# 仕様

## ■ 共通部

使用電源:	DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式:	マイナスアース方式
最大消費電流:	10.0 A
外形寸法:	
(取付寸法):	178 (W) mm × 50 (H) mm × 153 (D) mm
(ノーズ寸法):	170 (W) mm × 46 (H) mm × 10.5 (D) mm
(ディスプレイ):	234.5 (W) mm × 136.5 (H) mm × 35.5 (D) mm
質量:	
(本体):	0.96 kg (コード含まず)
(ディスプレイ):	0.75 kg (コード含まず)

## ■ ディスプレイ部

画面サイズ:	9.0 型ワイドディスプレイ
アスペクト比:	16 : 9
有効表示面積:	196.608 mm × 114.15 mm
画素数:	1 024(水平) × 600(垂直) × 3(RGB)
方式:	TFT アクティブマトリクス方式
カラーシステム:	PAL / NTSC / PAL-M / PAL-N / SECAM 互換
使用温度範囲:	- 10°C ~ + 60°C

## ■ アンプ / オーディオ部

最大出力:	• 50 W × 4 ch • 50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω (サブウーファー使用時)
定格出力:	22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD, 4 Ω LOAD, Both Channels Driven)
負荷インピーダンス:	4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω (2 Ω × 1ch) 使用可能)
プリアウト最大出力:	2.0 V
イコライザー (13 バンドグラフィックイコライザー):	
周波数:	50 Hz / 80 Hz / 125 Hz / 200 Hz / 315 Hz / 500 Hz / 800 Hz / 1.25 kHz / 2 kHz / 3.15 kHz / 5 kHz / 8 kHz / 12.5 kHz
調整幅:	± 12 dB (2 dB / step)
< スタンダードモード >	
ハイパスフィルター:	ON / OFF
周波数:	25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz / 160 Hz / 200 Hz / 250 Hz
スロープ:	- 6 dB / oct, - 12 dB / oct, - 18 dB / oct, - 24 dB / oct
ローパスフィルター (サブウーファー):	ON / OFF
周波数:	25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz / 160 Hz / 200 Hz / 250 Hz
スロープ:	- 6 dB / oct, - 12 dB / oct, - 18 dB / oct, - 24 dB / oct, - 30 dB / oct, - 36 dB / oct
位相:	NORMAL / REVERSE
スピーカーレベル:	- 24 dB ~ +10 dB (1 dB / step)
タイムアライメント:	0 ~ 350 cm (1.4 cm / step)

## < ネットワークモード >

### ハイパスフィルター (HIGH) :

周波数 : 1.25 kHz / 1.6 kHz / 2 kHz / 2.5 kHz / 3.15 kHz / 4 kHz / 5 kHz / 6.3 kHz / 8 kHz / 10 kHz / 12.5 kHz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct

位相 (HIGH) : NORMAL / REVERSE

### ハイパスフィルター (MID) :

ON / OFF

周波数 : 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz / 160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct

### ローパスフィルター (MID) :

ON / OFF

周波数 : 1.25 kHz / 1.6 kHz / 2 kHz / 2.5 kHz / 3.15 kHz / 4 kHz / 5 kHz / 6.3 kHz / 8 kHz / 10 kHz / 12.5 kHz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct

位相 (MID) : NORMAL / REVERSE

### ローパスフィルター (サブウーファー) :

ON / OFF

周波数 : 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz / 160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ : -6 dB / oct, -12 dB / oct, -18 dB / oct, -24 dB / oct, -30 dB / oct, -36 dB / oct

位相 (サブウーファー) : NORMAL / REVERSE

スピーカーレベル : -24 dB ~ +10 dB (1 dB / step)

タイムアライメント : 0 ~ 350 cm (1.4 cm / step)

## ■ USB 部

---

USB 規格 : USB 1.1、USB 2.0 Full Speed  
USB 2.0 High Speed

最大供給電流 : 1.5 A

USB クラス : MSC (Mass Storage Class)、MTP (Media Transfer Protocol)

ファイルシステム : FAT16、FAT32、NTFS

### < オーディオ >

#### MP3 デコーディング

フォーマット : MPEG-1 & MPEG-2 & MPEG-2.5 AUDIO LAYER-3

#### WMA デコーディング

フォーマット : Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12 (2 ch オーディオ) (Windows Media Player)

#### AAC デコーディング

フォーマット : MPEG-4 AAC (Ver. 12.5 以前の iTunes でエンコードされたもののみ)

FLAC デコーディングフォーマット (MSC モードのみ) : V1.3.0

サンプリング周波数 : 8 kHz ~ 192 kHz

#### WAVE シグナル

フォーマット

(MSC モードのみ) : Linear PCM

サンプリング周波数 : 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 96 kHz / 192 kHz

DSD64・DSD128 フォーマット (MSC モードのみ) : .dff .dsf

### < フォト >

#### JPEG デコーディング

フォーマット

(MSC モードのみ) : .jpeg、.jpg、.jpe

ピクセルサンプリング : 4:2:2、4:2:0

デコードサイズ : 最大 : 7 680 (H) × 8 192 (W)

最小 : 32 (H) × 32 (W)

#### PNG デコーディング

フォーマット

(MSC モードのみ) : .png

デコードサイズ : 最大 : 576 (H) × 720 (W)

最小 : 32 (H) × 32 (W)

BMP デコーディング  
フォーマット  
(MSC モードのみ):.bmp

デコードサイズ:最大: 936 (H) × 1 920 (W)  
最小: 32 (H) × 32 (W)

#### < ビデオ >

H.264 ビデオデコーディングフォーマット: Base Line Profile、Main Profile、High Profile

H.263 ビデオデコーディングフォーマット: Baseline Profile 0 / 3

VC-1 ビデオデコーディングフォーマット: Simple Profile、Main Profile、Advanced Profile

DivX: Home theater

MPEG4 ビデオデコーディングフォーマット: Simple Profile、Advanced Simple Profile

MPEG2 ビデオデコーディングフォーマット: Main Profile

### ■ FM チューナー部

---

受信周波数帯域: 76.0 MHz ~ 99.0 MHz

実用感度: 12 dBf (1.1 μV / 75 Ω、モノラル、S / N : 30 dB)

S / N : 65 dB (IHF-A ネットワーク)

### ■ AM チューナー部

---

受信周波数帯域: 522 kHz ~ 1 629 kHz

実用感度: 25 μV (S / N : 20 dB)

S / N : 60 dB (IHF-A ネットワーク)

### ■ Bluetooth 部

---

Bluetooth バージョン: Bluetooth 5.2 certified

出力: 最大 +4 dBm (Power class 2)

Bluetooth Low

Energy 出力: 最大 +5 dBm

周波数帯域: 2 402 MHz ~ 2 480 MHz

プロファイル: HFP (Hands Free Profile) 1.7.2

PBAP (Phone Book Access Profile) 1.2.3

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 1.3.2

AVRCP (Audio / Video Remote Control Profile) 1.6.2

SPP (Serial Port Profile) 1.2

AVCTP (Audio / Video Control Transport Protocol) 1.4

AVDTP (Audio / Video Distribution Transport Protocol) 1.3

DIP (Device ID Profile) 1.3

GAVDP (Generic Audio / Video Distribution Profile) 1.3

IOP (Interoperability Test Specification)

OPP (Object Push Profile)

RFCOMM (RFCOMM with TS 07.10) 1.2



## ■ Wi-Fi 部

---

対応規格:	IEEE 802.11 b / g / n (2.4 GHz)
対応チャンネル:	1 ~ 11 ch (2.4 GHz)
出力:	最大 + 16 dBm (2.4 GHz)
セキュリティ方式:	OPEN / WPA (Personal) / WPA2 (Personal) / WPA3 (Personal)

## ■ GPS 部

---

レセプションシステム: 72-チャンネル マルチチャンネル レセプションシステム  
アンテナサイズ: 33 mm (W) × 14.7 mm (H) × 36 mm (D)

## ■ 付属品

---

コードユニット:	1 式
RCA ケーブル:	1 式
取付ネジ類:	1 式
ディスプレイ取付ブラケット:	1
USB 延長ケーブル:	1
GPS アンテナ:	1 式
ハンズフリー通話用マイク:	1 式
取扱説明書:	1
保証書:	1

### で注意

- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載しているイラストと実物が、一部異なる場合があります。

# 索引

## 数字

16 : 9 .....	102
9.0 型ワイドディスプレイ .....	102

## A

A2DP .....	31, 99
AAC .....	95, 96, 99
Android Auto .....	44
Apple CarPlay .....	43
AUX .....	37, 49
AVRCP .....	31, 99

## B

Bluetooth	
Bluetooth の設定と接続 .....	22
Bluetooth 接続機器内の音楽を再生する .....	31
Bluetooth 接続し電話を使う .....	38
BMP .....	97
BSM .....	28, 99

## C

CarAVAssist .....	41
-------------------	----

## D

DivX .....	96, 99
DRM .....	46, 99
DSD .....	99
DSD64 .....	95
DSD128 .....	95

## E

EXIF .....	97, 99
------------	--------

## F

FAQ .....	裏表紙 (サポートサイト)
FLAC .....	96, 99

## G

GPS アンテナ .....	80
----------------	----

## H

H.263 .....	97
H.264 .....	96, 99
HFP .....	22, 99

## I

ID3 tag .....	95, 97, 99
iPhone .....	11, 43, 46, 47
iPhone の接続 .....	43, 76

## J

JPEG .....	97, 99
------------	--------

## M

m3u .....	97, 99
MP3 .....	95, 100
MPEG .....	100
MPEG-2 .....	96
MPEG-4 .....	96
MSC .....	95, 100
MTP (USB MTP) .....	48, 100

## P

PBAP .....	39, 100
Phone メニュー .....	38
PNG .....	97

## Q

QWERTY キーボード .....	17, 100
--------------------	---------

## S

SPP .....	22, 100
-----------	---------

## T

TI .....	28
----------	----

## U

USB .....	29, 34, 36
USB 機器 .....	10, 34, 36

## V

VBR .....	95, 96, 100
VC-1 .....	97

## W

WAV .....	96, 100
Weather .....	46
WebLink .....	46, 100
Wi-Fi	
Wi-Fi の設定 .....	24
本機のファームウェア更新 .....	42
Wi-Fi を接続し天気情報を確認する .....	46
WMA .....	96, 100

## Y

YouTube.....46, 100

## あ

アクセスポイント.....25  
アスペクト比.....100  
アフターサービス.....91  
アプリ.....21, 41  
アプリエリア.....18, 19  
アンテナコントロール.....65, 68

## い

イコライザー.....21, 56, 102  
イルミネーション.....53

## う

ウィジェット.....19, 41, 42, 100  
ウィジェットエリア.....18, 19  
運転席位置.....43, 44

## え

エラーメッセージ.....89

## お

オーディオ設定.....54  
お気に入り.....18, 19  
音声認識.....14, 38, 47  
音量調節.....14, 43, 45

## か

外部アンブ.....72  
画質調整.....50  
カスタムメニュー.....60  
カットオフ周波数.....57  
壁紙.....52  
画面の色.....53

## き

基本操作.....16  
共通のタッチキー.....16, 21

## こ

交通情報 (TI).....28  
故障かな?と思ったら.....87  
こんなメッセージが表示されたら.....89

## さ

サウンドレトリバー.....55  
サブウーファー.....57  
サブウーファースの接続.....74  
残響音.....40

## し

システム情報.....61  
システム設定.....48  
システムの接続.....66  
システムリモートコントロール.....69, 72  
車速信号.....71  
出力レベル.....55  
仕様.....102

## す

スタンダードモード.....15  
ステアリングリモコン.....50  
スピーカー出力の接続.....69  
スピーカー出力レベル.....55  
スピーカーモード.....15  
スマートフォンの接続.....44, 76  
スロープ.....57

## せ

静止画.....36  
接続状態.....61  
設定の初期化.....51  
センサー学習.....61

## そ

操作音.....48  
ソース.....21  
ソースレベルアジャスター.....54  
ソフトウェア.....61

## た

タイムアライメント.....56  
タイムバー.....17  
タッチパネル.....16

## ち

着信音量.....40  
駐車アシスト線.....49

## つ

通信サービス利用規約.....26  
通信設定.....60  
通知画面.....20

## て

ディスプレイ角度	84
ディマー設定	51
データの転送	42
テーマ設定	52
デモモード	14, 50
天気情報	46
電源コードの接続	68
電話帳	39
電話の受けかた	40
電話のかけかた	38

## と

動画	36
動作を確認	82
時計	51, 53
取り付け	64, 77, 78, 80, 81
取り付け角度	77
取り付け寸法 (ディスプレイ)	84

## ね

ネットワークモード	15
-----------	----

## は

パーキングブレーキ	9, 65, 71
はじめに	9
バスブースト	58
バックカメラ	26, 49
発着信履歴	38
ハンズフリー	38, 81
ハンズフリーエコー	40
ハンズフリー通話用マイク	66, 81
バンド	27

## ひ

ビットレート	95, 96, 97, 100
ビデオ設定	59

## ふ

ファームウェア	42, 62
フェーダー/バランス	54
部品	64
プライバシーポリシー	26
プライベートモード	40, 101
プリセットダイヤル	39
プリセットチャンネル	27
フリック入力	17, 101
プロファイル	22, 31, 104
分割画面	43, 45

## へ

ベストステーションズメモリー	28
----------------	----

## ほ

放送局	27
ホーム画面	17, 18
保証書	91
本体	64

## み

ミュージックブラウザ	35, 101
ミュート	58
ミラーリング	46, 101

## め

メディア	95
------	----

## も

文字入力	17
------	----

## ら

ライセンス	61, 92
ラウドネス	54
ラジオ	27

## り

リアスピーカー	58
リアモニター	26
リスト	16
リスニングポジション	55

## わ

ワイド画面	60
-------	----







## &lt;各窓口へのお問い合わせ時のご注意&gt;

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

**商品についてのご相談窓口** ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

## ●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

**カスタマーサポートセンター**

※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご活用ください。

## ■お客様サポートサイト

<https://pioneer.jp/rd/support/>



## ■商品についてのよくあるお問い合わせ(FAQ)

<https://pioneer.jp/rd/support/faq/>



## ■電話 《カーオーディオ、カーナビゲーション商品》

※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】

**0120-944-111(無料)**

【携帯電話・PHSから】

**050-3820-7540(IP電話・有料)**

または 0570-037-600(ナビダイヤル・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報に関するお問い合わせはこちらの窓口で承っております

## ■ファックス

**0570-037-602(ナビダイヤル・有料)**

**修理についてのご相談窓口** ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

**修理受付窓口**

## ■修理受付サイト

受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/repair/>



## ■電話

【固定電話から】

**0120-5-81028(無料)**

【携帯電話・PHSから】

**050-3820-7550(IP電話・有料)**

または 0570-037-610(ナビダイヤル・有料)

## ■ファックス

**0120-5-81029(無料)**

**部品のご購入についてのご相談窓口** ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

## ●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

**部品受注センター**

## ■部品受注サイト

受付時間、FAXでのご注文はホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/parts/>



## ■電話

【固定電話から】

**0120-5-81095(無料)**

【携帯電話・PHSから】

**050-3820-7551(IP電話・有料)**

または 0570-057-140(ナビダイヤル・有料)

## ■ファックス

**0120-5-81096(無料)**

令和2年10月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.10

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

©パイオニア株式会社 2023

< CRA5427-C >